OKI

MICROLINE 22L

MICROLINE 22L

ユーザーズマニュアル

○このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。プリンタをご使用になる前に必ず本マニュアルをお読みください。
○本マニュアルをプリンタのそばに置いてご使用ください。

株式会社 沖データ

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用になる前に必ず本マニュアルをお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙りが出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。感電、火災、ケガのおそれがあります。
	プリンタを落下させたりカバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、インタフェースケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。感電、火災、ケガのおそれがあります。

⚠警告

	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器に触れないでください。やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。

本書の見方

表記

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 22L → ML22L
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Server 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- WindowsXP、Windows Server 2003、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0 の総称 → Windows
- Windows Server 2003の場合は、［プリンタ］の部分を［プリンタとFAX］と読み替えてください。

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

メモ　プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

高調波電流について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

MICROLINEは株式会社沖データの商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNTは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS、EtherTalk、TrueTypeは、米国Apple Computer Inc.の米国及び、その他の国における登録商標または商標、商品名です。
OKIは沖電気工業株式会社の登録商標または商標です。
平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名，製品名は各社の登録商標または商品名です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

すべての権利は、株式会社沖データに属しています。無断で複製、転記、翻訳等を行なってはいけません。必ず、株式会社沖データの文書による承諾を得てください。

© 2004 Oki Data Corporation

使用許諾契約

本ソフトウェアをお使いになる前に、以下の項目をお読みください。

お客様へのお願い
プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ（以下「沖データ」といいます）は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア（ただし、Adobe Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。）を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして､本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを１部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2) 第１条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
(5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定

沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 契約の有効性

本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

7. 輸出管理

本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

8. 完全な合意

お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

＊＊＊＊＊

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Reader の使用について

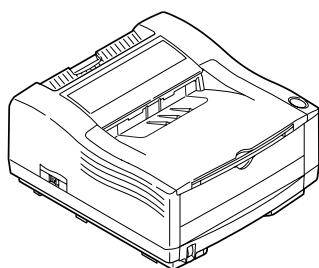
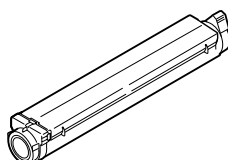
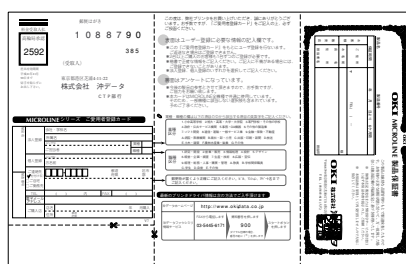
Adobe Reader は沖データがアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Adobe Reader に含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社から Adobe Reader の使用を許諾されることになります。

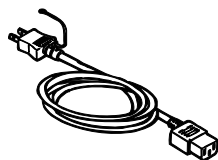
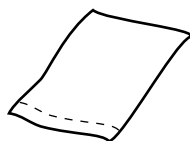
目次

1. プリンタを設置します

製品の確認

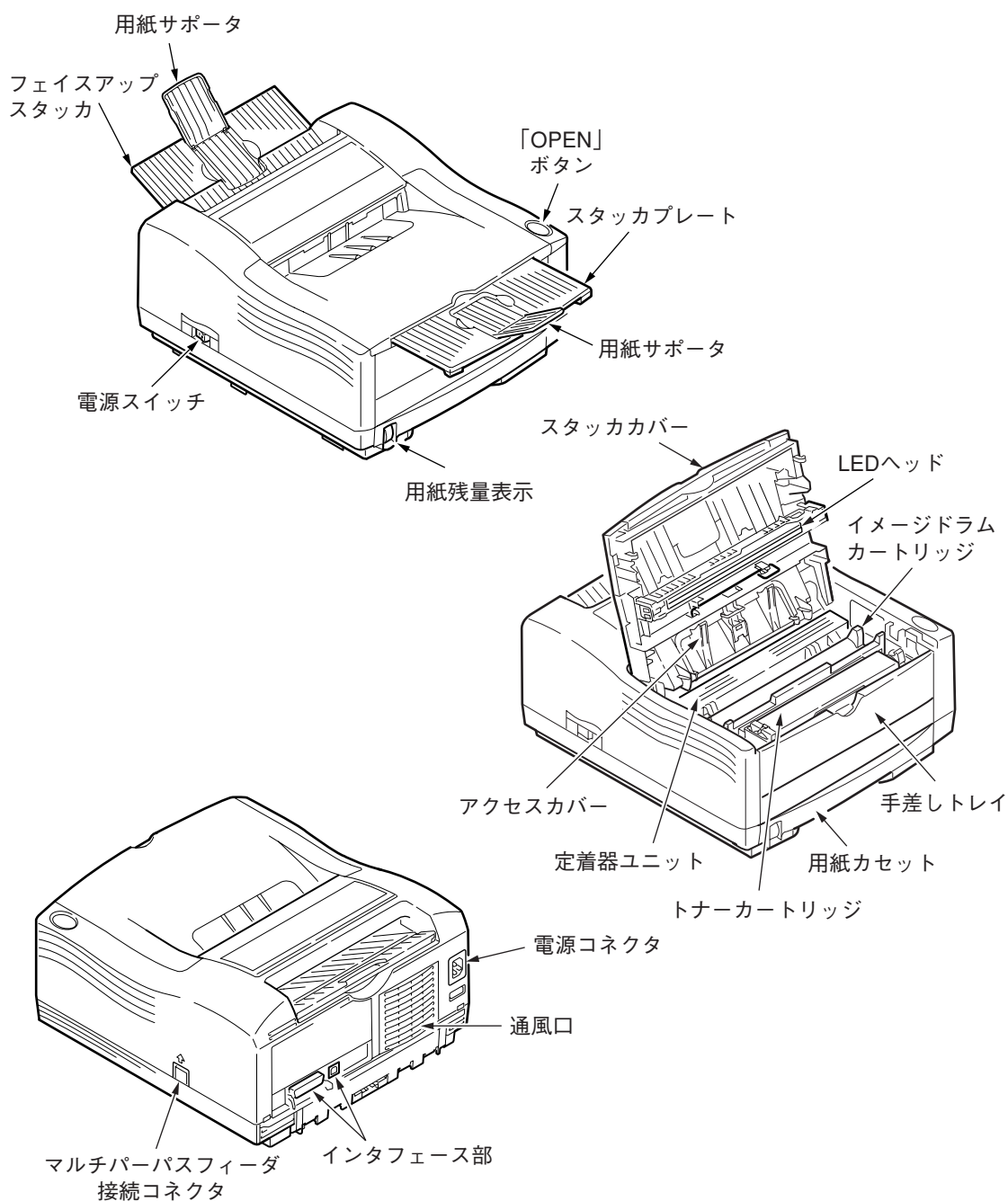
製品がそろっていることを確認してください。

☐ プリンタ（本体）

☐ トナーカートリッジ

☐ 保証書、ご愛用者登録カード

☐ ユーザーズマニュアル

☐ 電源コード

☐ 黒いビニール袋

☐ プリンタソフトウェア CD-ROM

- プリンタケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせて別途購入してください。
- プリンタ内にはイメージドラムカートリッジがセットされています。
- 梱包箱、緩衝材、黒いビニール袋はプリンタを輸送するときに使います。捨てずに保管してください。

プリンタ各部の名前

用紙サポータ
フェイスアップ
スタッカ
「OPEN」
ボタン
スタッカプレート
用紙サポータ
電源スイッチ
用紙残量表示
スタッカカバー
LEDヘッド
イメージドラム
カートリッジ
アクセスカバー
手差しトレイ
定着器ユニット
用紙カセット
トナーカートリッジ
電源コネクタ
通風口
マルチパーパスフィーダ
接続コネクタ
インタフェース部

設置条件

動作環境

・次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
　　周囲温度　10～32℃　　周囲湿度　20～80%RH（相対湿度）　　最高湿球温度　25℃
・結露しないように注意してください。
・周囲湿度が30%以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

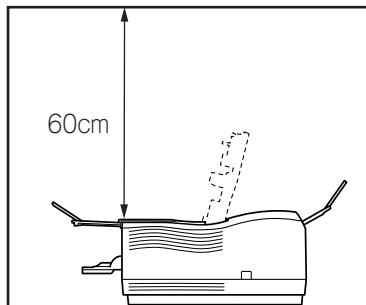
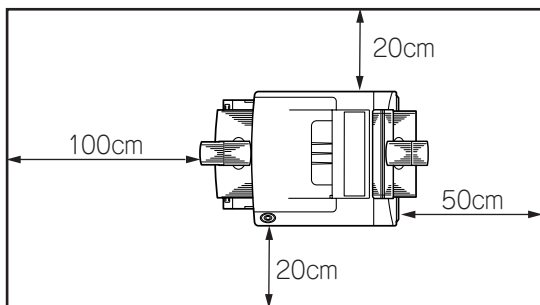
⚠警告

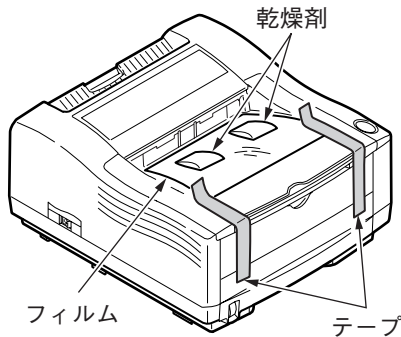
・高温や火気の近くには設置しないでください。
・化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
・アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
・小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
・不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
・湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
・潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
・振動が多い場所には設置しないでください。

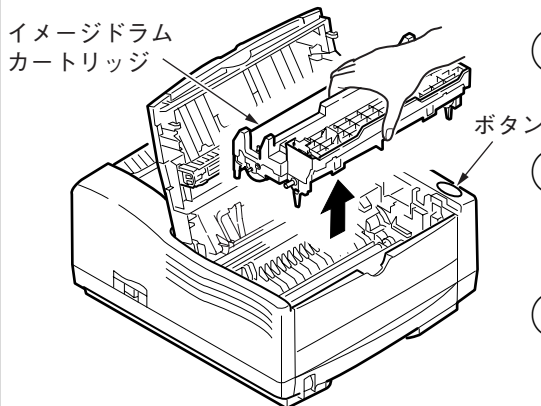
⚠注意

・プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。
・毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
・密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
・強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。
・モニタやテレビから離して設置してください。
・プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。

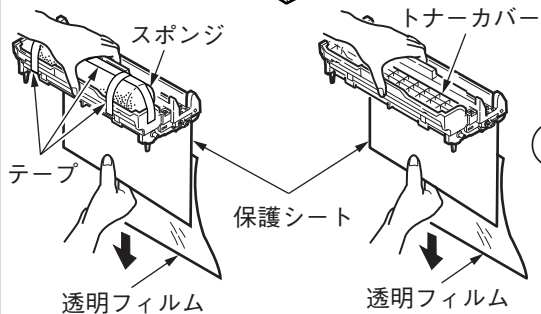
設置スペース

プリンタの足がのる大きさの平らな机の上に置いてください。
プリンタのまわりに十分なスペースをとってください。

付属品を取り付けます

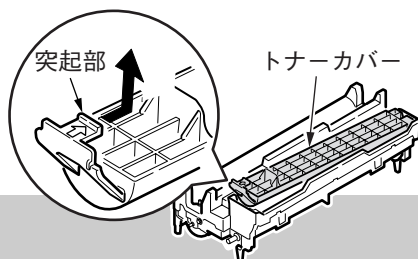
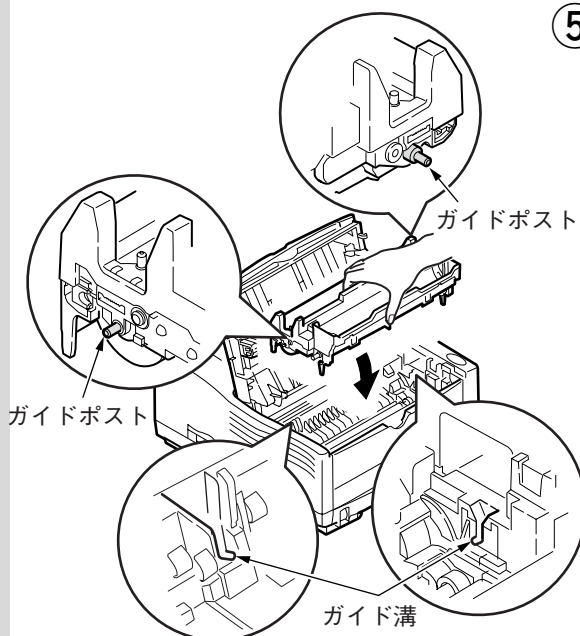
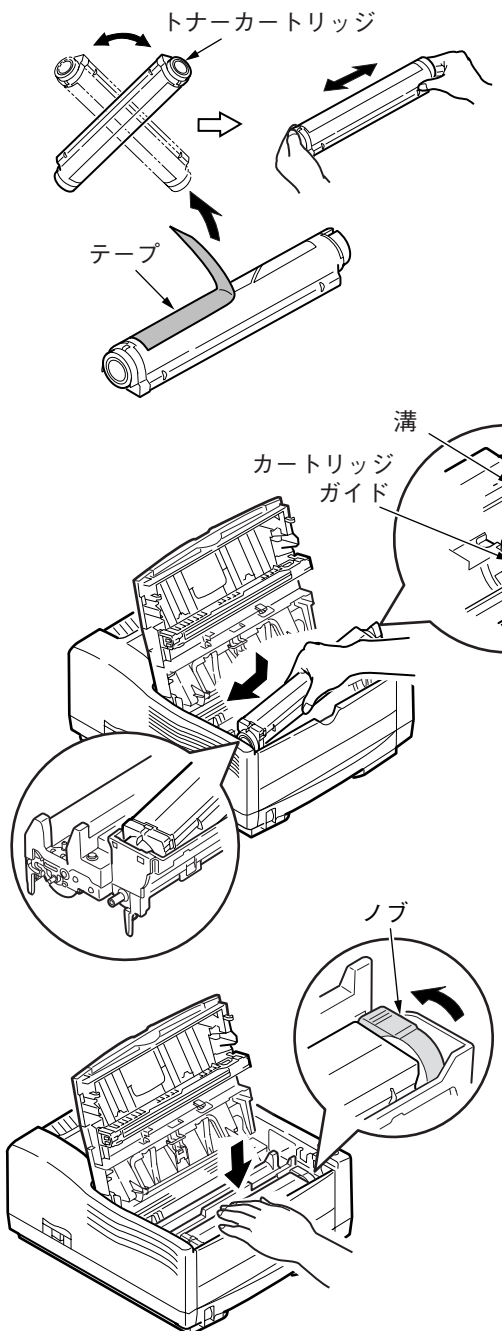
1. 保護具を取り外します。

① プリンタ前部の保護テープ（2ヵ所）をはがします。
乾燥剤とフィルムもいっしょに取り除きます。

2. イメージドラムカートリッジをセットします。

① カバー右側のボタンを押し、スタッカカバーを開きます。

② イメージドラムカートリッジの手前側を少し持ち上げ、そのまま静かに上に取り出します。

③ イメージドラムカートリッジの中央部を手でしっかり押さえ、保護シートを矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。
透明フィルムも一緒に取り除きます。
（透明フィルムは保護シートにテープで止めてあります。）

④ スポンジの場合は、スポンジをとめているテープ（3ヶ所）をはがし、スポンジを取り外します。
トナーカバー（オレンジ色）の場合は、レバー部を矢印方向に押し、取り外します。

メモ スポンジやトナーカバーは不燃物として処理してください。

注 スポンジを外すとき、トナーが飛散する場合があります。大きめの紙の上などで行ってください。

⑤ イメージドラムカートリッジを静かに戻します。左右のガイドポストを本体のガイド溝に合わせ、②と逆の手順でイメージドラムカートリッジの手前側を少し上向きにしてはめ込みます。次に手前側を下向きに回転させ、プリンタ本体にカチッとはまるようにセットします。

注
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

3. トナーカートリッジをセットします。

① トナーカートリッジを包装袋から取り出します。

② 縦と横に数回振ります。

③ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりはがします。

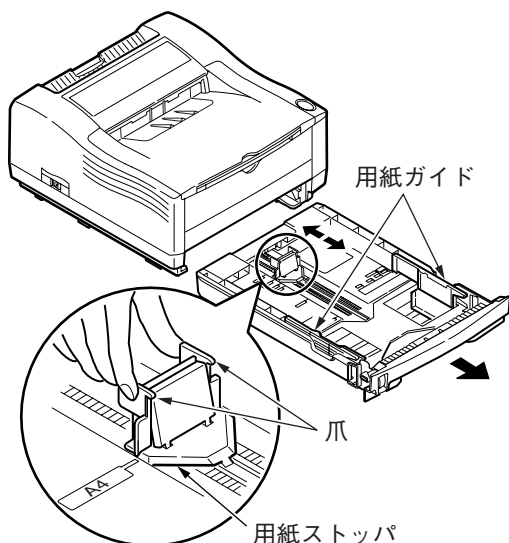
④ トナーカートリッジをテープをはがした面を下にして、ノブが右側になるようにして持ちます。

⑤ トナーカートリッジ右側の溝をイメージドラムカートリッジのカートリッジガイドの突起にあわせながら、矢印の方向へしっかり押さえ込みます。

⑥ トナーカートリッジが浮き上がらないように上の面を手で支えながら、右側のノブを矢印の方向に止まるまでまわします。

⑦ スタッカカバーを閉じます。

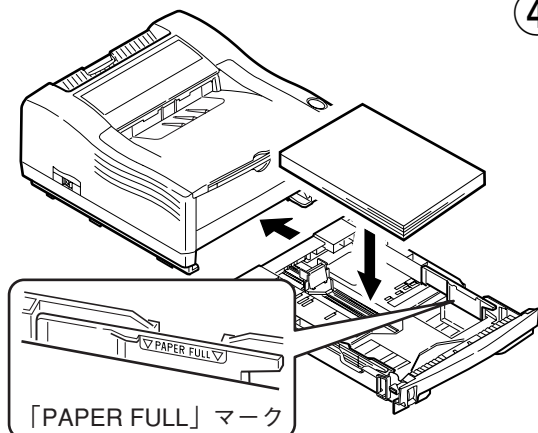
注 トナーカートリッジが正しく固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4. 用紙カセットに用紙をセットします。

① 用紙カセットを引き出します。

② 用紙ガイドと用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

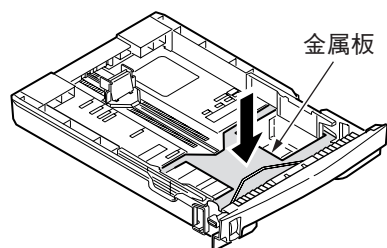
注 用紙ガイド(側面)はカチッと止まる位置にセットしてください。

③ 用紙の上下左右をそろえます。

④ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ストッパ（後ろ）は用紙が曲がるほど強く押し付けないでください。
- 用紙ガイドの「PAPER FULL」マークを越えないようにセットします。（連量55kg紙で250枚　目安として総厚24mm以下）
- 用紙は用紙ストッパの爪（2ヶ所）を乗り越えないようにセットします。

▽PAPER FULL▽

「PAPER FULL」マーク

⑤ 用紙カセットをプリンタに戻します。

注 用紙の下の金属板が上がっている場合、カチッとロックするまで押し下げてからプリンタに挿入してください。金属板が上がったまま挿入すると故障の原因になります。

電源を入れます

電源の条件

・以下の条件を守ってください。

交流（AC）　100V ± 10%

電源周波数　50Hz または 60Hz ± 1Hz

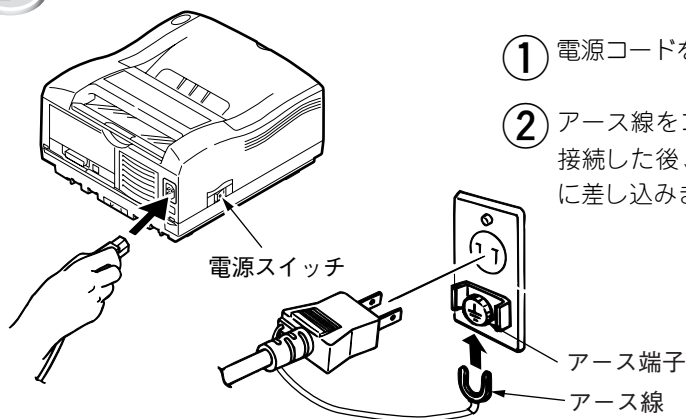
・電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。

・本プリンタの定格電力は 700W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。

⚠警告

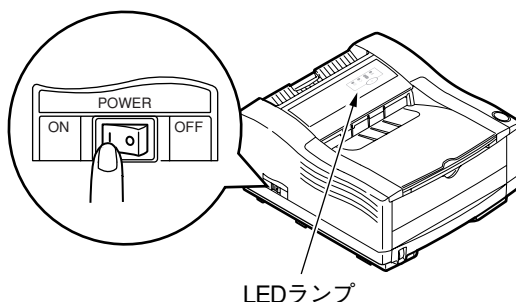
- 電源コード、アース線の取り付け/取り外しは、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには危険ですので絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグをもって行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続する場合は、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格12A以上のものを使用してください。
- 印刷中に電源スイッチを切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。

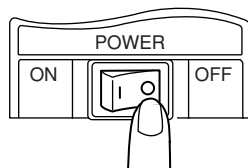
1. 電源コードを接続します。

注 電源スイッチがOFF（○）になっていることを確認してください。

① 電源コードをプリンタに差し込みます。

② アース線をコンセントのアース端子に接続した後、電源プラグをコンセントに差し込みます。

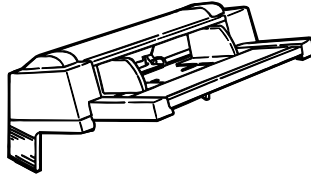
2. 電源スイッチのON（｜）を押します。

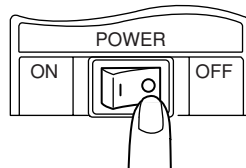
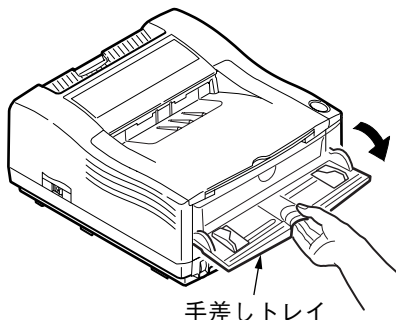
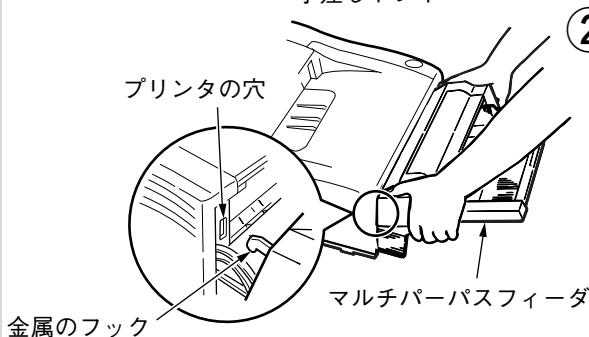
LED ランプが点滅を開始し、完全に起動すると点灯します。

3. 電源スイッチのOFF（○）を押すと電源が切れます。

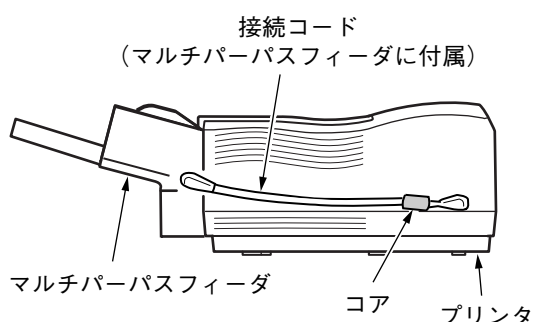
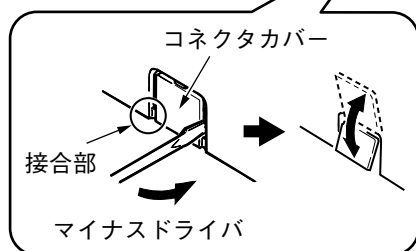
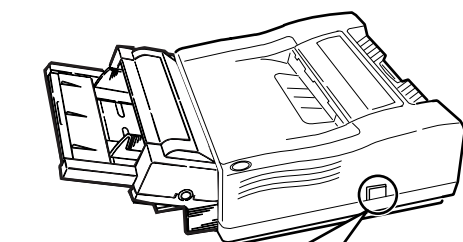
LED ランプが全て消灯します。

注 印刷中は電源を切らないでください。

オプションを取り付けます

マルチパーパスフィーダ

はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートなどを連続給紙するフィーダです。

1. プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

2. マルチパーパスフィーダを取り付けます。

① 手差しトレイを開きます。

② マルチパーパスフィーダの金属のフックをプリンタの穴に差し込み、下に下げます。

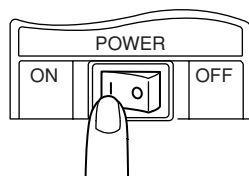
3. 接続コードを取り付けます。

① コネクタカバーとプリンタカバーの間にマイナスドライバを差し込み、そのまま矢印方向にマイナスドライバを倒し、左右の接合部を外します。

② コネクタカバーを手で上下に折り曲げ、コネクタカバーが外れるまで繰り返します。

> 注 マイナスドライバーをねじらないでください。ねじるとプリンタカバーに傷が付きます。

③ マルチパーパスフィーダに付属の接続コードのコア側コネクタの△印をプリンタの⇧印に合わせて差し込みます。

④ 接続コードのもう一方のコネクタの△印をマルチパーパスフィーダの⇧印に合わせて差し込みます。

4. プリンタの電源を ON にします。

5. メニューマップ印刷を行い、マルチパーパスフィーダが正しく取り付けられていることを確認します。

① メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（104ページ）をご覧ください。

② 「メディアメニュー」に「MFP」が表示されていることを確認します。

6. プリンタドライバでマルチパーパスフィーダを設定します。

- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Mac OS Xプリンタドライバは常に［マルチパーパスフィーダ］が［あり］の状態になっています。

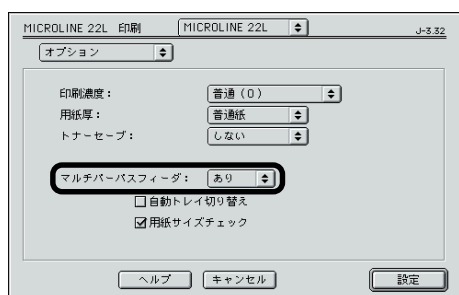
Windowsの場合

（ML22L WindowsXPの画面）

① ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

② ［OKI MICROLINE 22L］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

③ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］で［マルチパーパスフィーダ］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

Macintosh の場合

① ［アップル］メニューの［セレクタ］を選択します。

② ［ML22L(USB)］アイコンを選択します。

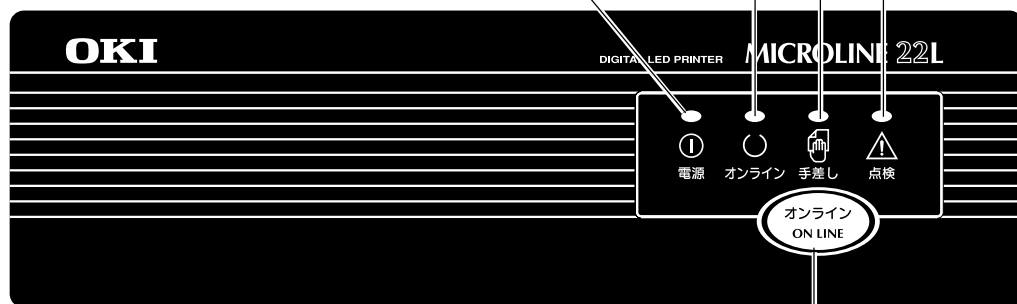
③ 右側のボックスから［プリンタ名］を選択し、［設定］をクリックします。

④ ［印刷ダイアログ］をクリックします。

⑤ ［オプション］パネルの［マルチパーパスフィーダ］で［あり］を選択し、［設定］をクリックします。

⑥ ［保存］をクリックし、セレクタを閉じます。

2. 操作パネルと LED の表示について

操作パネル

LED 表示一覧

ステータス	LED		
	オンライン	手差し	点検
オンライン	点灯	消灯	不定
オフライン	消灯	消灯	不定
データ受信中	点滅 2	消灯	不定
データ受信中または出力処理中	点滅 2	消灯	不定
データあり	点滅 1	消灯	不定
印刷中	点滅 2	消灯	不定
コピー印刷中	不定	消灯	不定
ジョブキャンセル中	点滅 1	消灯	不定
ジョブキャンセル中（JAM）	点滅 1	消灯	不定
ウォーミングアップ中	点滅 1	不定	不定
省電力状態（パワーセーブ）	不定	消灯	消灯
トナーロー	不定	不定	点滅 1 or 点滅 2

ステータス	LED		
	オンライン	手差し	点検
トナー交換	不定	消灯	点滅2
トナーセンサ異常	不定	不定	点滅1
ドラム交換	不定	不定	点滅3
デモプリント中	点滅2	不定	不定
メニューマップ印刷中	点滅2	不定	不定
クリーニングプリント中	点滅2	不定	不定
無効なデータを受信	不定	消灯	点滅2
用紙無し	不定	不定	点滅1
手差し印刷要求	不定	点滅2	不定
用紙要求	消灯	消灯	点滅2
用紙メディアタイプ不一致	消灯	消灯	点滅2
用紙サイズ不一致	消灯	消灯	点滅2
メモリオーバーフロー	消灯	消灯	点滅2
用紙サイズエラー	消灯	消灯	点滅2
給紙JAM	消灯	消灯	点滅2
用紙フィードJAM	消灯	消灯	点滅2
用紙排出JAM	消灯	消灯	点滅2
ドラム交換	消灯	消灯	点滅2
ドラムエラー（ドラム無し）	消灯	不定	点滅2
カバーオープン	消灯	不定	点滅2
プリンタ再起動	消灯	消灯	点滅2
復旧不可能エラー	点滅3	点滅3	点滅3
初期化中	消灯	消灯	消灯
EEPROM初期化中	消灯	消灯	消灯
RAMチェック中	消灯	消灯	消灯
電源投入時	点灯	点灯	点灯

点滅1：ゆっくりな点滅（2秒周期）
点滅2：中くらいの点滅（0.5秒周期）
点滅3：速い点滅（0.1秒周期）

3.USB接続でWindowsにセットアップします

動作環境

注 プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

● WindowsXP

WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェースを搭載している機種

● Windows Server 2003

Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機でUSBインタフェースを搭載している機種
ただし、32ビット版のみの対応です。

● WindowsMe/98

WindowsMe/98日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェースを搭載している機種

● Windows2000

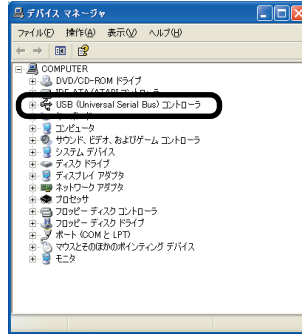
Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェースを搭載している機種

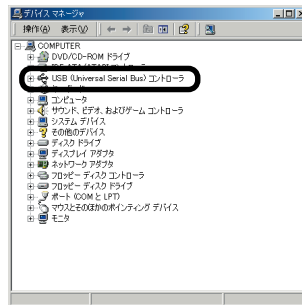
- Windows95/3.1からアップグレードインストールしたWindowsMe/98での動作は保証できません。
- 日本語以外のOSには対応していません。
- MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。
- Windows95/3.1/NT4.0/NT3.51では動作しません。
- 印刷中にUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全てのUSB機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダに「OKI MICROLINE 22L」「OKI MICROLINE 22L（コピー2）」「OKI MICROLINE 22L（コピー3）」と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源をONする順序によって変わります。
- USBハブを使用する場合は、コンピュータと直接接続されたUSBハブに接続してください。

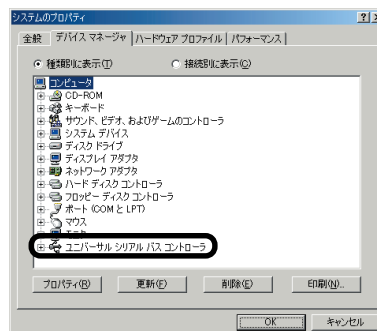
メモ USBインタフェースケーブルはUSB2.0仕様で長さ2m以内のものをお使いください。

メモ　お使いのコンピュータがUSBに対応しているか確認できます。

〈WindowsXP/Server2003〉

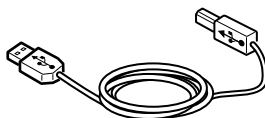
［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［ハードウェア］タブを開き、［デバイスマネージャ］をクリックします。

〈Windows2000〉

［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［ハードウェア］タブを開き、［デバイスマネージャ］をクリックします。

〈WindowsMe/98〉

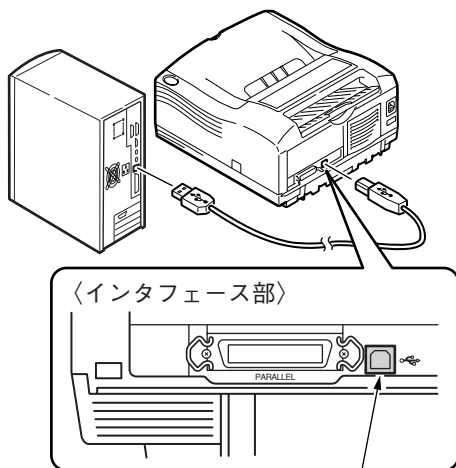
［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［デバイスマネージャ］タブを開きます。

（WindowsMe の画面）

ケーブルを接続します

1. USBケーブルを準備します。

注 プリンタのケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のケーブルを別途用意してください。

2. プリンタとコンピュータの電源をOFFにします。

メモ USBケーブルはコンピュータ、プリンタの電源がONの状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USBドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源をOFFにしておきます。

3. USBケーブルを接続します。

① USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

② USBケーブルをコンピュータのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

メモ USB接続のセットアップ手順は、WindowsXP/Server2003の場合、「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(29ページ)、WindowsMe/98/2000の場合、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(34ページ)をご覧ください。

WindowsXP/Server2003にセットアップします

- WindowsXP/Server2003をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。

- USBインタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアッププログラムでセットアップすると、プリンタとWindowsXP/Server2003を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP/Server2003で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。

以下の説明はWindowsXP Home Editionを例にしています。

初めてセットアップする場合

プラグアンドプレイでセットアップします

1. コンピュータの電源をONにし、Windowsを起動します。

WindowsXP/Server2003のCD-ROMドライブを確認します。

① ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

② ［リムーバブル記憶域があるデバイス］-［CDドライブ（E:）］のカッコ内に表示されている英文字を確認します。

この場合は、［E］がCD-ROMのドライブです。

2. プリンタドライバをインストールします。

① プリンタの電源をONにします。

② 「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら、[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）]を選択し、[次へ] をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞ 「WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」（44ページ）へ進みます。

③ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

④ [次の場所で最適のドライバを検索する] を選択し、[リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索] のチェックを外します。

⑤ [次の場所を含める] にチェックを付け、次のように入力し、[次へ] をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥WIN2KXP¥JPN

⑥ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ⑩へ進みます。

⑦ [完了] をクリックします。

⑧ [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。

⑨「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。
（Windows Server2003の場合、［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ⑥からの続き

⑩「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

⑪［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥WIN2KXP¥JPN

ファイルのコピーが開始されます。

⑫［完了］をクリックします。

⑬［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

⑭「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。
（Windows Server2003の場合、［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

「ステータスモニタをセットアップします」（41ページ）へ進みます。

プリンタのインストールでセットアップします

① コンピュータの電源をONにし、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。

② [コントロールパネルを選んで実行します] の [プリンタとFAX] をクリックします。
(Windows Server2003 の場合、[スタート] - [設定] - [プリンタとFAX] を選択します。)

③ [プリンタのタスク] - [プリンタのインストール] をクリックします。
(Windows Server2003 の場合、[プリンタの追加] をダブルクリックします。)

④ 「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ] をクリックします。

⑤ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

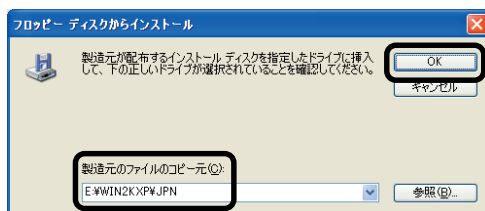
注 [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックは外してください。

⑥ 「次のポートを使用」画面で [USBxxx] (xxxはポートの番号) を選択し、[次へ] をクリックします。

⑦ [ディスク使用] をクリックします。

⑧ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

⑨ [製造元のファイルのコピー元] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

> ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
> E:¥WIN2KXP¥JPN

⑩ プリンタ名を選択し、[次へ] をクリックします。

⑪ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで [はい] を選択し、[次へ] をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない] を選択し、[次へ] をクリックします。

⑫ [テストページを印刷しますか？] で [いいえ] を選択し、[次へ] をクリックします。

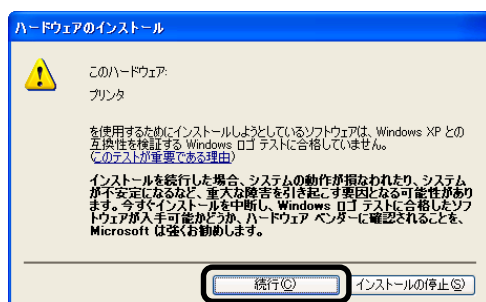
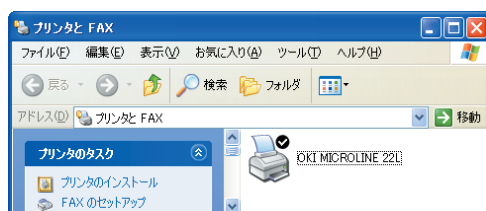
⑬ [完了] をクリックします。

⑭「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタとFAX］フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

「ステータスモニタをセットアップします」(41ページ)へ進みます。

3

WindowsMe/98/2000にセットアップします

注 Windows2000ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

1. コンピュータの電源をONにし、Windowsを起動します。

注 プリンタの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、［キャンセル］をクリックし、プリンタの電源をOFFにしてから次に進んでください。

2. セットアッププログラムを起動します。

① 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

② ［マイコンピュータ］を開きます。

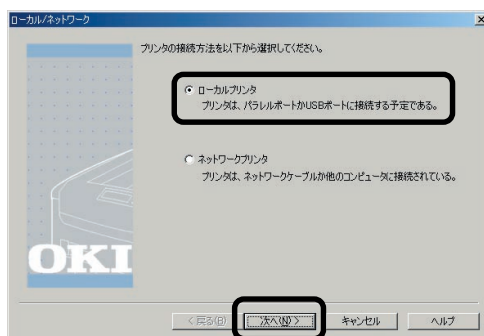
③ ［MICROLINE］アイコンをダブルクリックして開きます。

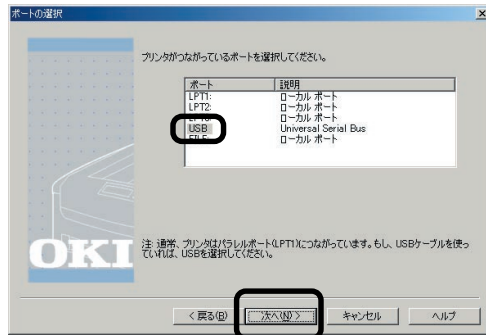
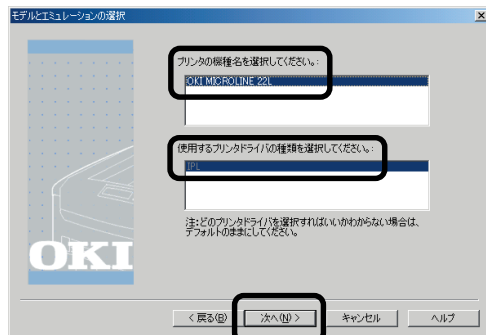
④ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

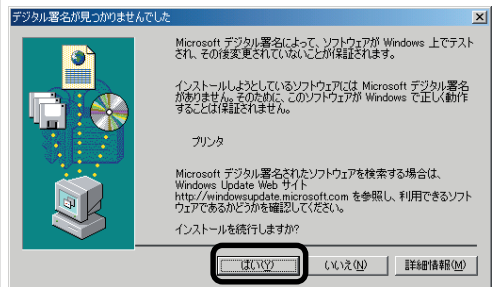
3. プリンタドライバをインストールします。

① 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

② ［プリンタドライバのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

③ ［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

④ ポートで［USB］を選択し、［次へ］をクリックします。

⑤ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

WindowsMe/98 の場合は、ファイルのコピーが行われます。

WindowsMe/98 の場合
☞ **手順 4（36 ページ）**へ進みます。

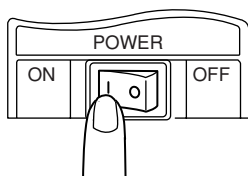
⑥ Windows2000 で「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

ファイルのコピーが行われます。

☞ **手順 4（36 ページ）**へ進みます。

4. USB ドライバをインストールします。

① 「ケーブル接続」の画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

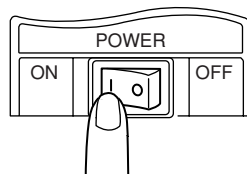
「コンピュータの再起動」画面が表示されたら？
☞ ③へ進みます。

② プリンタの電源を ON にします。

USBドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000の場合
☞ 37ページに進みます。
WindowsMeの場合
☞ 38ページに進みます。
Windows98の場合
☞ 39ページに進みます。

☞ ①からの続き

③ ［再起動する］にチェックを付け、［完了］をクリックします。
Windows が再起動されます。

④ Windows が完全に起動したら、プリンタの電源を ON にします。

USBドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000の場合
☞ 37ページに進みます。
WindowsMeの場合
☞ 38ページに進みます。
Windows98の場合
☞ 39ページに進みます。

Windows2000 の場合

① システム標準の USB ドライバが自動的にインストールされます。1～2分かかることがあります。

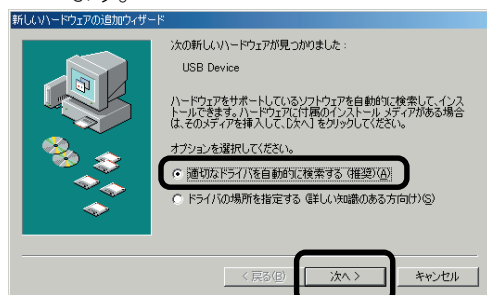
② ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

「ステータスモニタをセットアップします」(41ページ)へ進みます。

WindowsMe の場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従ってUSB ドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(45ページ)をご覧ください。

① [適切なドライバを自動的に検索する(推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

② [完了] をクリックします。
引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら?
☞ ⑤へ進みます。

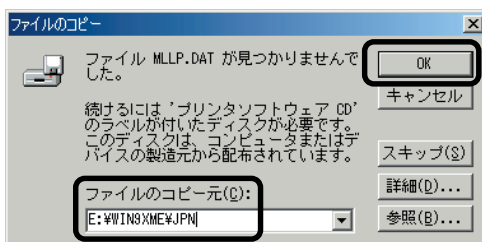
③ 「MICROLINE シリーズ」画面が表示されている場合は、[終了] をクリックします。

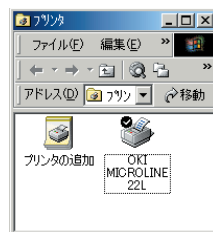
④ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

「ステータスモニタをセットアップします」(41ページ)へ進みます。

☞ ②からの続き

⑤ [ファイルのコピー元] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥WIN9XME¥JPN

ファイルのコピーが開始されます。

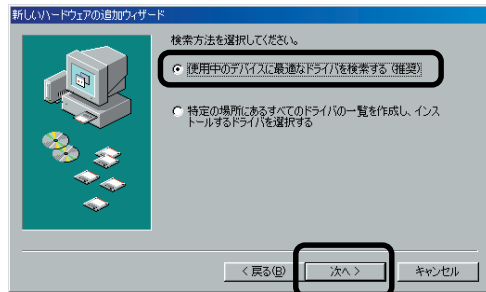
⑥ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

「ステータスモニタをセットアップします」(41ページ)へ進みます。

Windows98 の場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従ってUSB ドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（47ページ）をご覧ください。

① 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

② [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）] を選択し、[次へ] をクリックします。

③ [CD-ROM ドライブ] にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

④ [次へ] をクリックします。
ファイルのコピーが開始されます。

⑤ [完了] をクリックします。
引き続き USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら？
☞ ⑧へ進みます。

⑥ 「MICROLINE シリーズ」画面が表示されている場合は、[終了] をクリックします。

⑦ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

「ステータスモニタをセットアップします」（41ページ）へ進みます。

☞ ⑤からの続き

⑧ 「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、[OK] をクリックします。

⑨ ［ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥WIN9XME¥JPN

⑩ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

「ステータスモニタをセットアップします」(41ページ)へ進みます。

ステータスモニタをセットアップします

注 WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

① 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

② CD-ROMアイコンを開きます。

〈WindowsXP/Server2003の場合〉
［スタート］-［マイコンピュータ］-［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［MICROLINE］アイコンをダブルクリックします。

〈WindowsMe/98/2000の場合〉
［マイコンピュータ］を開き、［MICROLINE］アイコンをダブルクリックします。

③ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

④ ［使用許諾契約］をよく読み［同意する］をクリックします。

⑤ ［ユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

⑥ ［ステータスモニタ］を選択し、［インストール］をクリックします。

⑦ セットアッププログラムが開始されるので、［次へ］をクリックします。

⑧ インストール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

⑨ プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

⑩ ［完了］をクリックします。

⑪ ［終了］をクリックします。

3

セットアップがうまくいかないとき

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合（WindowsMe/98/2000、USB インタフェース）

プリンタドライバが正しくセットアップされていません。以下の手順に従ってセットアップを行います。

① セットアッププログラムを起動します。
② 画面の指示に従ってセットアップし、「ケーブルの接続」画面が表示されたら、USB ケーブルの接続を確認し、電源を ON にします。
「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、Windows を再起動した後、USB ケーブルの接続を確認し、プリンタの電源を ON にします。
③ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「WindowsMe/98/2000 にセットアップします」（34 ページ）をご覧ください。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

① ［スタート］-［設定］-［プリンタ］（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］、Windows Server2003 では［スタート］-［設定］-［プリンタと FAX］）を選択します。
② プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択します。
③ ［詳細］タブの［印刷先のポート］（WindowsXP/2000/Server2003 では、［ポート］タブの［印刷するポート］）で、接続先のポートを下記の設定にします。

WindowsXP/2000/Server2003…USBケーブルで接続する場合	［USBxxx］
WindowsMe/98…USBケーブルで接続する場合	［OP1 USBx］

- WindowsXP/2000/Server2003で、［印刷するポート］に［USBxxx］が表示されないときは、プリンタの電源がONになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度1〜3を行ってください。
- WindowsMe/98で［印刷先のポート］に［OP1 USBx］が表示されないときは、プリンタの電源がOFFになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度セットアップを行ってください。詳細は、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(34ページ)をご覧ください。
- WindowsMe/98でセットアップ中に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合は、「WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(45ページ)、「Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(47ページ)をご覧ください。
- WindowsMe/98の場合、ご利用の環境により［USBxxx］と表示される場合もあります。

セットアッププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合（WindowsMe/98/2000）

WindowsMe/98/2000とUSB接続する場合、プラグアンドプレイでセットアップする必要があります。以下の手順でセットアップを行っているか確認してください。

① プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。
② USBケーブルを接続します。
③ プリンタの電源をONにします。
④ Windowsを起動します。
⑤「新しいハードウェアの追加ウィザード」（Windows2000では「新しいハードウェアの検索ウィザード」）が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「プリンタソフトウェアCD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。

WindowsXP/Server2003で、パソコンを起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示される場合

プリンタドライバをプラグアンドプレイでセットアップしていません。以下の手順に従って、セットアップしてください。

① プリンタドライバを削除します。（49ページ）
②「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」（29ページ）の手順に従ってセットアップします。

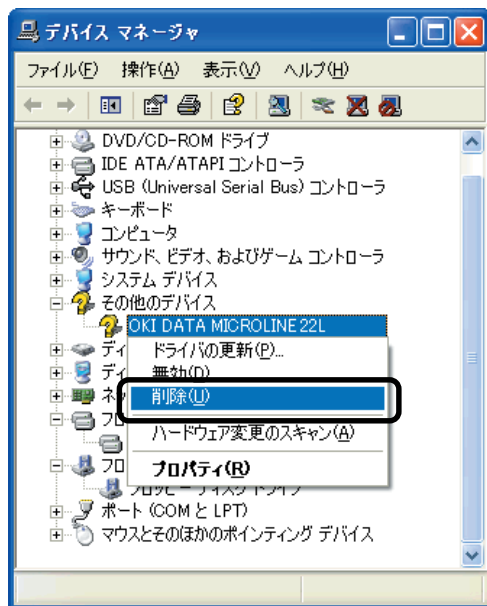
メモ 接続するポートを変えた場合も「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。できるだけ同じポートに接続してください。

WindowsXP/Server2003 で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたプリンタドライバを削除してからセットアップし直してください。

① [スタート] - [マイコンピュータ] をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

② [ハードウェア] タブの [デバイスマネージャ] をクリックします。

③ [その他のデバイス] の「OKI DATA MICROLINE 22L」をマウスの右ボタンでクリックして [削除] を選択します。

[その他のデバイス] が表示されなかったら?

[表示] メニューの [非表示のデバイスの表示] を選択し、[プリンタ] の「OKI DATA MICROLINE 22L」をマウスの右ボタンでクリックして [削除] を選択します。

④ 「デバイスの削除の確認」画面で [OK] をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

⑤ 「システムのプロパティ」画面で [OK] をクリックします。

⑥ Windows を再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞ 「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」(29ページ)へ戻ります。

WindowsMe で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたプリンタドライバを削除してからセットアップし直してください。

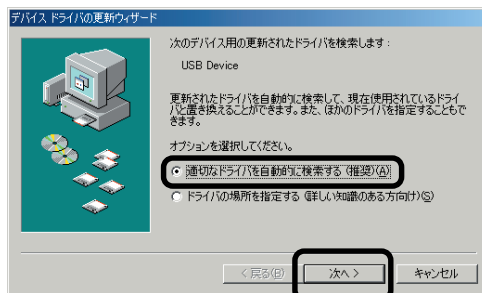
① ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

② ［システム］をダブルクリックします。

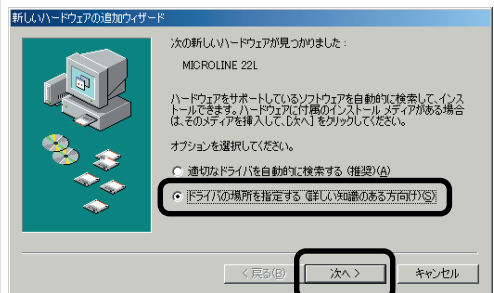
③ ［デバイスマネージャ］タブの［その他のデバイス］で［USB Device］を選択し、プロパティをクリックします。

④ ［ドライバの再インストール］をクリックします。

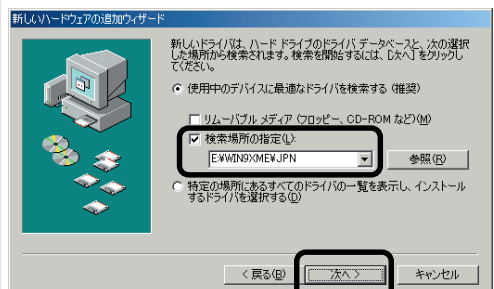
⑤ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

⑥ 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、［適切なドライバを自動的に検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

⑦ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

⑧ ［使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）］を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）」のチェックを外します。

⑨ ［検索場所の指定］にチェックを付け、次のように入力し、［次へ］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥WIN9XME¥JPN

⑩ ［次へ］をクリックします。

⑪ 通常のプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

⑫ ［印字テストを行いますか？］で［いいえ］を選択し、［完了］をクリックします。
ファイルのコピーが開始されます。

⑬ ［完了］をクリックします。

⑭ ［完了］をクリックします。

⑮ 「Oki USB Driverプロパティ」画面で［閉じる］をクリックします。

⑯ 「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックし、［コントロールパネル］を閉じます。

⑰ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

「ステータスモニタをセットアップします」（41ページ）へ進みます。

3

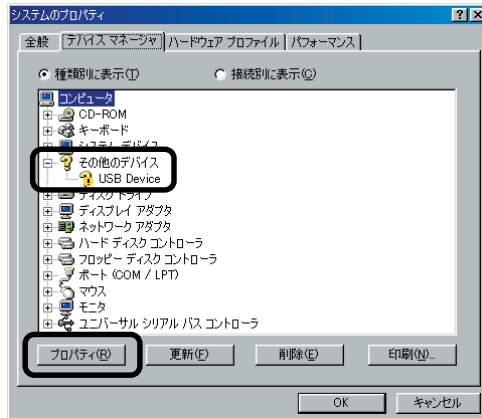
Windows98 で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたプリンタドライバを削除してからセットアップし直してください。

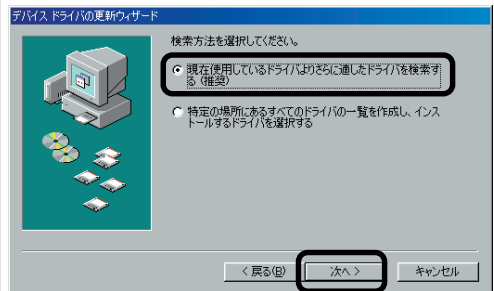
① [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。

② [システム] をダブルクリックします。

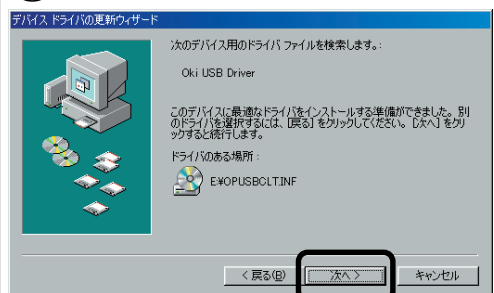
③ [デバイスマネージャ] タブの [その他のデバイス] で [USB Device] を選択し、プロパティをクリックします。

注 [不明なデバイス] と表示されることがあります。

④ [ドライバの再インストール] をクリックします。

⑤「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

⑥ [現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。

⑦「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

⑧ [CD-ROM ドライブ] にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

⑨ [次へ] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⑩ [完了] をクリックします。

⑪「Oki USB Driverプロパティ」画面で [閉じる] をクリックします。

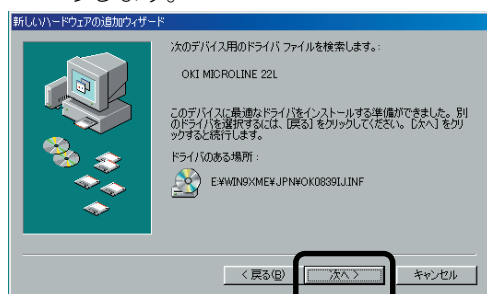
引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

⑫「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

⑬[使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する(推奨)]を選択します。

⑭[検索場所の指定]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

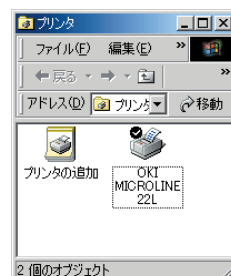
ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥WIN9XME¥JPN

⑮最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ]をクリックします。

⑯プリンタ名を確認し、通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⑰[印字テストを行いますか?]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。ファイルのコピーが開始されます。

⑱[完了]をクリックします。

⑲「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックし、[コントロールパネル]を閉じます。

⑳[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

「ステータスモニタをセットアップします」(41ページ)へ進みます。

プリンタドライバを削除するには

注
- WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

① ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

② ［OKI MICROLINE 22L］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

③ 以降、画面の指示に従います。

注 WindowsXP/2000/Server2003の場合は、④、⑤の作業を行ってください。

④ 「プリンタ」フォルダ（WindowsXP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

⑤ ［ドライバ］タブで、［OKI MICROLINE 22L］を選択し、［削除］をクリックします。

⑥ 引き続き、ステータスモニタを削除します。

〈WindowsXP/Server2003 の場合〉
［スタート］-［マイコンピュータ］-［プログラムの追加と削除］を選択します。

〈WindowsMe/98/2000 の場合〉
［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［アプリケーションの追加と削除］を選択します。

⑦ ［OKI MICROLINE 22L StatusMonitor］を選択し、画面に従い削除します。

3

プリンタドライバをアップデートするには

注
- WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

① コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源をONにします。

② [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。(WindowsXPでは [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] をクリックします。Windows Server2003では [スタート] - [設定] - [プリンタとFAX] を選択します。)

③ [OKI MICROLINE 22L]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

④ [全般] タブの [テストページの印刷] をクリックします (Windows Me/98/95の場合、[全般] タブの [印字テスト] をクリックします。)

⑤ 確認画面が表示されたら、[OK] をクリックします。
テストページが印刷されます。

⑥ プリンタの電源をOFFにします。

⑦ [OKI MICROLINE 22L]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除] を選択します。

⑧ 以降、画面の指示に従います。

注 WindowsXP/2000/Server2003の場合は、⑨～⑩の作業を行ってください。

⑨ 「プリンタ」フォルダ (Windows XP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ) の [ファイル] - [サーバーのプロパティ] を選択します。

⑩ [ドライバ] タブで、[OKI MICROLINE 22L] を選択し、[削除] をクリックします。

⑪ Windowsを再起動します。

⑫ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(29ページ)、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(34ページ)をご覧ください。

・必ずプリンタの電源がONになっていることを確認してください。
・WindowsXPでは、プリンタのインストールでセットアップします。

⑬ ①〜⑤の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。
WindowsMe/98
［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン
WindowsXP/2000/Server2003
［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

注 テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（Windows Me/98の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

USB 接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
Windows95/NT4.0でセットアップできません。	USB接続できるのはWindowsMe/98/2000/XP/Server2003です。Windows95/NT4.0は接続できません。
Windows95/3.1からアップグレードしたWindowsMe/98を使用しています。	動作保証できません。WindowsMe/98をクリーンインストールしたコンピュータを使用してください。
コンピュータがUSBインタフェースに対応していません。	デバイスマネージャでUSBコントローラが表示されるか確認してください。
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	プリンタのメニュー設定で[USB]を「ユウコウ」にしてください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USBケーブルが外れています。	USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に[検索場所の指定]、[場所の指定]が表示されます。	「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例： Windows98/Meの場合 「E:¥WIN9XME¥JPN」 WindowsXP/2000/Server2003の場合 「E:¥WIN2KXP¥JPN」 （ここではCD-ROMドライブがE：の場合を例にしています）
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
WindowsXP/Me/98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されません。	「セットアップがうまくいかないとき」をご覧ください。（42ページ）

4. パラレル接続でWindowsにセットアップします

動作環境

注 プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

● WindowsXP
WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

● Windows Server 2003
Windows Server 2003 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で、双方向パラレルインタフェースを搭載している機種
ただし、32 ビット版のみの対応です。

● WindowsMe/98/95
WindowsMe/98/95 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種
Internet Explorer 4.0 以上がインストールされていること

● Windows2000
Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

● WindowsNT4.0
WindowsNT4.0 日本語版の動作するコンピュータ（PSプリンタドライバはサービスパック5以上）
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 でパラレルインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外のOSには対応していません。
- MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。
- Windows3.1/NT3.51では動作しません。
- WindowsNT4.0は、ARC互換RISCベースのプロセッサ（MIPS®シリーズ、Alpha、PowerPC™など）のシステムには対応していません。

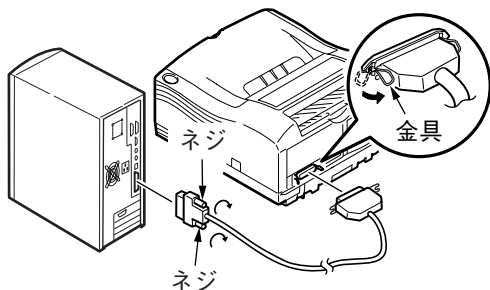
- コンピュータのパラレルポートのBIOS設定を「ECP」モードにすると、データ転送速度が向上する場合があります。設定方法はコンピュータの製造元にお問い合わせください。
- パラレルケーブルはシールドされたものをお使いください。（最長1.8m）

ケーブルを接続します

1. パラレルケーブルを準備します。

注 プリンタケーブルは添付されていません。IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルを別途用意してください。

2. プリンタとコンピュータの電源をOFFにします。

3. コンピュータとプリンタを接続します。

① パラレルケーブルをプリンタのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、金具で固定します。

② パラレルケーブルをコンピュータのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、ネジで固定します。

メモ パラレル接続のセットアップ手順は、WindowsXP/Server2003の場合、「WindowsXP/Server2003にセットアップします」（56ページ）、WindowsMe/98/95/2000/NT4.0の場合、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」（61ページ）をご覧ください。

WindowsXP/Server2003にセットアップします

- WindowsXP/Server2003をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- パラレルインタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアッププログラムでセットアップすると、プリンタとWindowsXP/Server2003を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP/Server2003で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。

以下の説明はWindowsXP Home Editionを例にしています。

初めてセットアップする場合

プラグアンドプレイでセットアップします

1. コンピュータの電源をONにし、Windowsを起動します。

WindowsXP/Server2003のCD-ROMドライブを確認します。

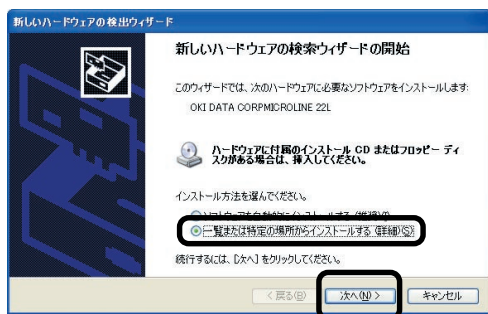
① ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

② ［リムーバブル記憶域があるデバイス］-［CDドライブ（E:)］のカッコ内に表示されている英文字を確認します。

この場合は、［E］がCD-ROMのドライブです。

2. プリンタドライバをインストールします。

① プリンタの電源をONにします。

② 「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら、[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）]を選択し、[次へ]をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞「WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」(66ページ)へ進みます。

③ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

④ [次の場所で最適のドライバを検索する]を選択し、[リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索]のチェックを外します。

⑤ [次の場所を含める]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥WIN2KXP¥JPN

⑥ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ⑩へ進みます。

⑦ [完了]をクリックします。

⑧ [スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

4

⑨「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。
（Windows Server2003の場合、［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ⑥からの続き

⑩「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

⑪［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

> ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
> E:¥WIN2KXP¥JPN

ファイルのコピーが開始されます。

⑫［完了］をクリックします。

⑬［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

⑭「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。
（Windows Server2003の場合、［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

「ステータスモニタをセットアップします」（64ページ）へ進みます。

4

プリンタのインストールでセットアップします

① コンピュータの電源をONにし、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

② [コントロールパネルを選んで実行します]の[プリンタとFAX]をクリックします。
（Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

③ [プリンタのタスク]-[プリンタのインストール]をクリックします。
（Windows Server2003の場合、[プリンタの追加]をダブルクリックします。）

④「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ]をクリックします。

⑤ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックは外してください。

⑥「次のポートを使用」画面で[LPT1]を選択し、[次へ]をクリックします。

⑦ [ディスク使用]をクリックします。

⑧「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

⑨ [製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥WIN2KXP¥JPN

⑩ プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

⑪ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

4

⑫ ［テストページを印刷しますか？］で［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックします。

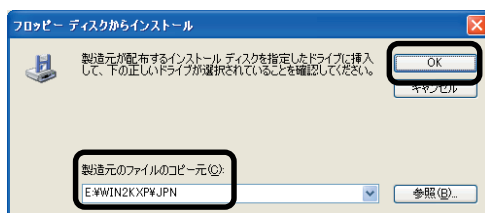
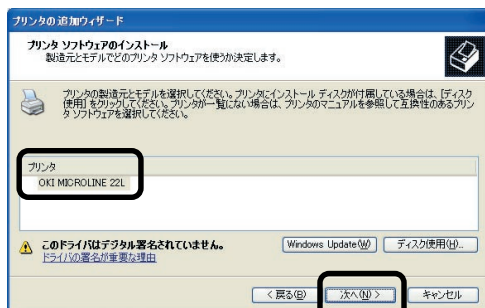
⑬ ［完了］をクリックします。

⑭ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタとFAX］フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

「ステータスモニタをセットアップします」(64ページ)へ進みます。

4

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします

注
- Windows2000/NT4.0ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows95の場合、Internet Explorer4.0以上がインストールされていないと、セットアッププログラムでのセットアップができません。

1. コンピュータの電源をONにし、Windowsを起動します。

注 プリンタの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、［キャンセル］をクリックし、プリンタの電源をOFFにしてから次に進んでください。

2. セットアッププログラムを起動します。

① 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

② ［マイコンピュータ］を開きます。

③ ［MICROLINE］アイコンをダブルクリックして開きます。

④ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

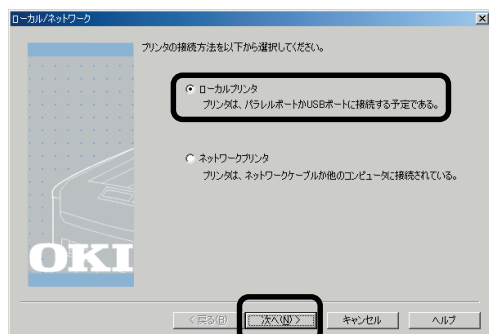
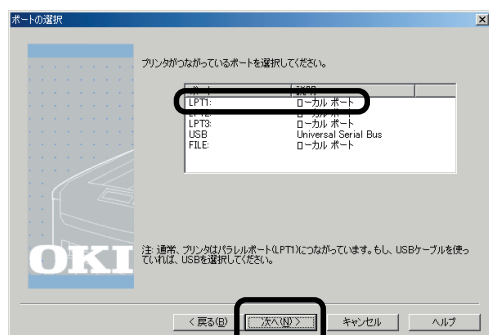
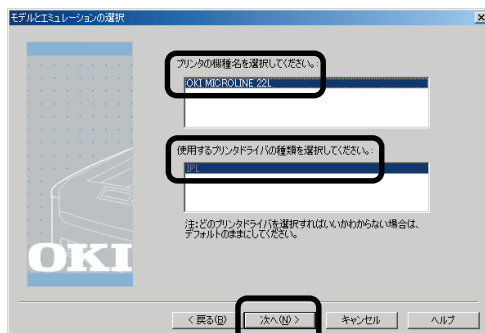
setup

セットアッププログラムが起動します。

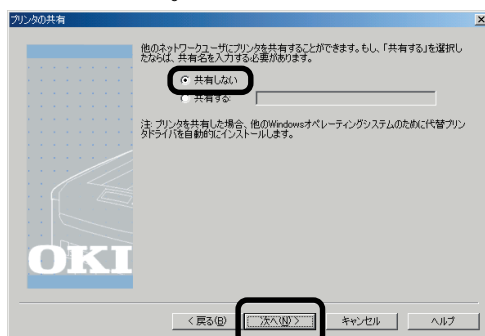
3. プリンタドライバをインストールします。

① 「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

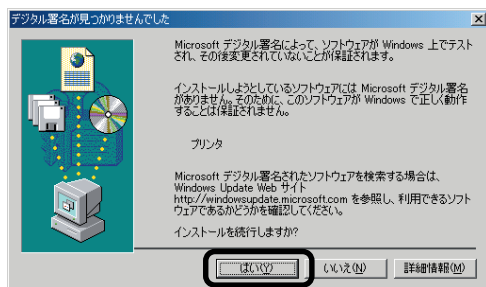
② [プリンタドライバのインストール] を選択し、[選択] をクリックします。

③ [ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

④ ポートで [LPT1] を選択し、[次へ] をクリックします。

⑤ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

⑥ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する] にチェックを付け、[次へ] をクリックします。
WindowsMe/98/95では、ファイルのコピーが行われます。

⑦ Windows2000/NT4.0の場合、「プリンタの共有」画面が表示されたら、[共有しない] を選択し、[次へ] をクリックします。

注 WindowsMe/98/95では表示されません。

WindowsNT4.0では、ファイルのコピーが行われます。

⑧ Windows2000 の場合、「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。

注 WindowsMe/98/95/NT4.0では表示されません。

ファイルのコピーが行われます。

⑨ [完了] をクリックします。

コンピュータの再起動」画面が表示された場合
☞ ⑫へ進みます。

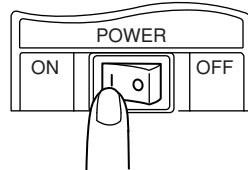
⑩ [終了] をクリックします。

⑪ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

「ステータスモニタをセットアップします」(64ページ)へ進みます。

☞ ⑨からの続き

⑫ 「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、[再起動する] を選択し、[完了] をクリックします。
Windows が再起動されます。

⑬ Windows が完全に起動したら、プリンタの電源を ON にします。

⑭ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

「ステータスモニタをセットアップします」(64ページ)へ進みます。

ステータスモニタをセットアップします

注 WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、WindowsXP Home Edition を例にしています。

① 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

② CD-ROM アイコンを開きます。

〈WindowsXP/Server2003 の場合〉
［スタート］-［マイコンピュータ］-［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［MICROLINE］アイコンをダブルクリックします。

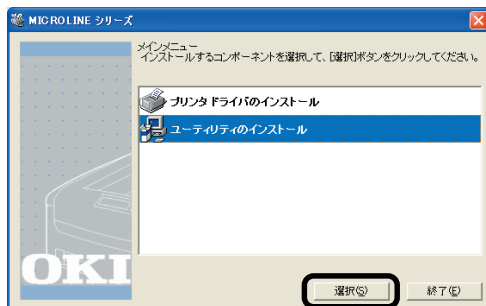
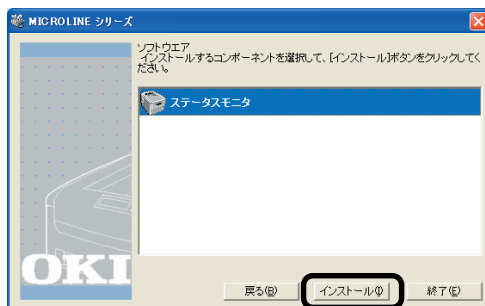
〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0の場合〉
［マイコンピュータ］を開き、［MICROLINE］アイコンをダブルクリックします。

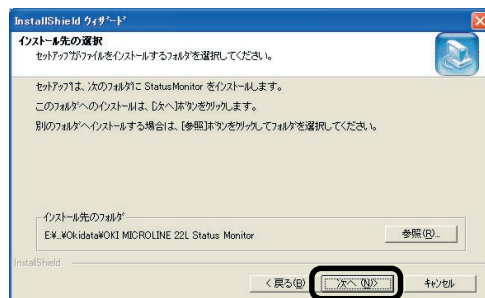
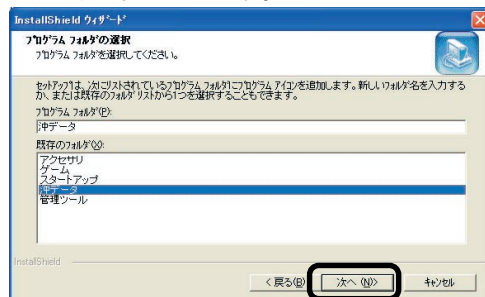
③ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

④ ［使用許諾契約］をよく読み［同意する］をクリックします。

⑤ ［ユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

⑥ ［ステータスモニタ］を選択し、［インストール］をクリックします。

⑦ セットアッププログラムが開始されるので、［次へ］をクリックします。

⑧ インストール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

⑨ プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

⑩ ［完了］をクリックします。

⑪ ［終了］をクリックします。

セットアップがうまくいかないとき

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

① ［スタート］-［設定］-［プリンタ］（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］、Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］）を選択します。
② プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択します。
③ ［詳細］タブの［印刷先のポート］（WindowsXP/2000/Server2003では、［ポート］タブの［印刷するポート］）で、接続先のポートを下記の設定にします。

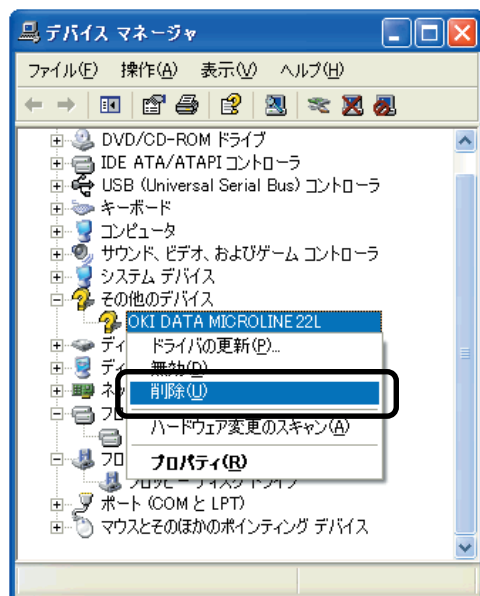
パラレルケーブルで接続する場合	［LPT1］

WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたプリンタドライバを削除してからセットアップし直してください。

① ［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

② ［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックします。

③ ［その他のデバイス］の「OKI DATA MICROLINE 22L」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

［その他のデバイス］が表示されなかったら？

［表示］メニューの［非表示のデバイスの表示］を選択し、［プリンタ］の「OKI DATA MICROLINE 22L」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

④ 「デバイスの削除の確認」画面で［OK］をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

⑤ 「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。

⑥ Windowsを再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」(56ページ)へ戻ります。

4

プリンタドライバを削除するには

注
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

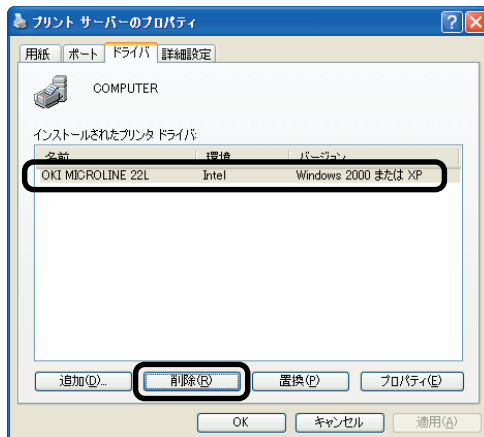
① [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。(WindowsXP では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] をクリックします。Windows Server2003では [スタート] - [設定] - [プリンタとFAX] を選択します。)

② [OKI MICROLINE 22L]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

③ 以降、画面の指示に従います。

注 WindowsXP/2000/Server2003の場合は、④、⑤の作業を行ってください。

④ 「プリンタ」フォルダ (WindowsXP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ) の [ファイル] - [サーバーのプロパティ] を選択します。

⑤ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除] をクリックします。

⑥ 引き続き、ステータスモニタを削除します。

〈WindowsXP/Server2003 の場合〉
[スタート] - [マイコンピュータ] - [プログラムの追加と削除] を選択します。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0の場合〉
[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [アプリケーションの追加と削除] を選択します。

⑦ [OKI MICROLINE 22L StatusMonitor] を選択し、画面に従い削除します。

プリンタドライバをアップデートするには

注
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

① コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源を ON にします。

② ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタと FAX］を選択します。）

③ ［OKI MICROLINE 22L］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

④ ［全般］タブの［テストページの印刷］をクリックします（Windows Me/98/95 の場合、［全般］タブの［印字テスト］をクリックします。）

⑤ 確認画面が表示されたら、［OK］をクリックします。
テストページが印刷されます。

⑥ プリンタの電源を OFF にします。

⑦ ［OKI MICROLINE 22L］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

⑧ 以降、画面の指示に従います。

注 WindowsXP/2000/Server2003の場合は、⑨～⑩の作業を行ってください。

⑨ 「プリンタ」フォルダ（Windows XP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

⑩ ［ドライバ］タブで、［OKI MICROLINE 22L］を選択し、［削除］をクリックします。

⑪ Windowsを再起動します。

⑫ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(56ページ)、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」(61ページ)をご覧ください。

・必ずプリンタの電源がONになっていることを確認してください。
・WindowsXP/Server2003では、プリンタのインストールでセットアップします。

⑬ ①～⑤の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。
WindowsMe/98/95
［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン
WindowsXP/2000/Server2003
［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン
WindowsNT4.0
［このドライバが使うファイル］以下に記載されているバージョン

注 テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（Windows Me/98/95の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

パラレル接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
WindowsNT4.0でセットアップできません。	プラグアンドプレイでセットアップできるのはWindowsMe/98/ 95/2000/XP/Server2003です。WindowsNT4.0はセットアッププログラムからセットアップしてください。(61ページ)
コンピュータが双方向パラレルインタフェースをサポートしていません。	双方向パラレルインタフェースをサポートしているコンピュータを使用してください。
パラレルケーブルが規格に合っていない可能性があります。	IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
パラレルケーブルが外れています。	パラレルケーブルを差し込んでください。
パラレルケーブルに問題があります。	予備のパラレルケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブルなどを使用しています。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に[検索場所の指定]、[場所の指定]が表示されます。	「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例： WindowsMe/98/95の場合 「E:¥WIN9XME¥JPN」 WindowsXP/2000/Server2003の場合 「E:¥WIN2KXP¥JPN」 WindowsNT4.0の場合 「E:¥WINNT¥JPN」 (ここではCD-ROMドライブがE：の場合を例にしています)
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。

4

5.USB 接続で Macintosh にセットアップします

動作環境

注 プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

MacOS8.1、8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- USB拡張ボードには対応していません。
- 日本語以外のOSには対応していません。
- 印刷中にUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全てのUSB機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、デスクトップ・プリンタUtilityに「MICROLINE 22L」、「MICROLINE 22L 1」、「MICROLINE 22L 2」と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源をONする順序によって変わります。
- USBハブをご使用になる場合は、コンピュータと直接接続されたUSBハブに接続してください。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合があります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。

メモ USBインタフェースケーブルは、USB2.0仕様で長さ2m以内のものをお使いください。

ケーブルを接続します

1. USB ケーブルを準備します。

注 USBケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のUSBケーブルを別途用意してください。

2. プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ USBケーブルはコンピュータ、プリンタの電源がONの状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USBドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源をOFFにしておきます。

3. USB ケーブルを接続します。

① USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

② USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします

1. プリンタの電源を ON にします。

2. Macintosh を起動します。

3. プリンタドライバをインストールします。

注

- ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintoshがハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  1. ［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［機能拡張マネージャ］を選択します。
  2. ［セット］を［Mac OS x.x.x基本］（x.x.xはMac OS のバージョン）設定にします。
  3. Macintoshを再起動します。
  4. 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  5. プリンタドライバのインストール後、［機能拡張マネージャ］の［セット］を元の設定に戻して、Macintoshを再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、［省略時セット］を選択してください。

① 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

② ［Driver］フォルダを開きます。

③ ［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

Installer for MacOS

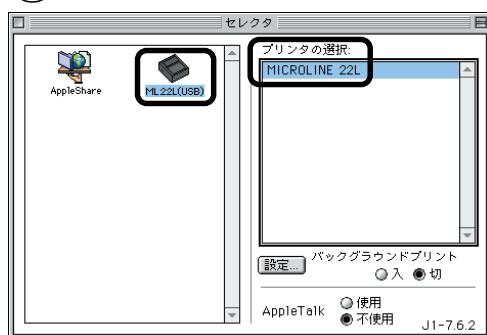
画面に従い、インストールを行ないます。

5

4. 使用するプリンタを選択します。

① ［アップル］メニューの［セレクタ］を選択します。

② ［ML22L（USB)］アイコンをクリックします。

ML22L(USB)

③ プリンタ名を選択します。

注 「プリンタの選択」に表示されたプリンタ名を、必ずクリックして選択してください。プリンタ名を選択してからセレクタを閉じないと、デスクトップアイコンが作成されず、印刷されません。

④ セレクタを閉じます。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

注 セレクタを閉じて、デスクトップ上にプリンタアイコンが作成されたことを確認してから印刷してください。
デスクトップ・アイコンの作成が完了しない状態で、セレクタを開いたまま印刷するとプリンタドライバが壊れて、デスクトップ上に多数のプリンタアイコンが作成される場合があります。
この場合は、次の手順で復旧してください。

① ［アップル］メニュー -［コントロールパネル］-［機能拡張マネージャ］で、［デスクトップ・プリントモニタ］、［デスクトップ・プリンタ・スプーラ］のチェックを外します。
② Macintosh を再起動します。
③ デスクトップ上の不要なプリンタアイコンを削除します。
④ プリンタドライバを再インストールします。
⑤ ［機能拡張マネージャ］の［セット］を元の設定に戻します。
⑥ Macintosh を再起動します。

プリンタドライバを削除するには

1. インストーラで削除（アンインストール）します。

① 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

② ［Driver］フォルダを開きます。

③ ［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

Installer for MacOS

④ 「起動」画面で［続ける］をクリックします。

⑤ 「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

⑥ 「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

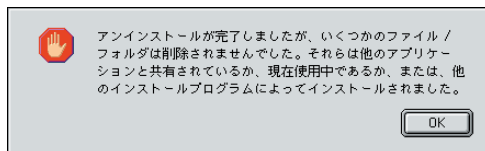
⑦ ◆をクリックし、［アンインストール］を選択します。

⑧ ［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

⑨ ［OK］をクリックします。

⑩ ［終了］をクリックします。

5

プリンタドライバをアップデートするには

① プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」（76 ページ）をご覧ください。

② 新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは「セットアップします」（74 ページ）をご覧ください。

USB 接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USBケーブルを短時間で抜き差ししています。	USBケーブルを抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
USBケーブルが外れています。	USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	プリンタとMacintoshを直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。（74ページ）
プリンタの電源スイッチがOFFになっています。	プリンタの電源をONにしてください。 （17ページ）
デスクトッププリンタアイコンに手のマークがついています。	Macintoshのプリンタメニューの［プリントキューの開始］を選択してください。
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。（74ページ）

6.USB接続でMac OS Xにセットアップします

動作環境

注 Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

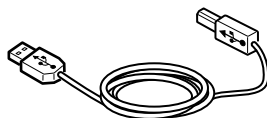
Mac OS X10.1～10.3.2日本語版が動作するMacintoshでUSBインタフェースを搭載している機種

注
- 次の機能は使用できません。
  往復はがき、封筒1、封筒2、封筒3の回転印刷
  とじ代、とじ位置の設定
  ウォーターマーク
  プリンタオプションの自動取得
- カスタム用紙は、Mac OS X 10.2.3以前では使用できません。

メモ USBインタフェースケーブルは、USB2.0仕様で長さ2m以内のものをお使いください。

ケーブルを接続します

1. USB ケーブルを準備します。

注 USBケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のUSBケーブルを別途用意してください。

2. プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

3. USB ケーブルを接続します。

① USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

② USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします

1. プリンタの電源を ON にします。

2. Macintosh を起動します。

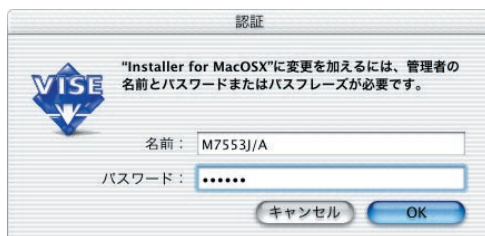
3. プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。

① 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

② [MICROLINE] アイコンをダブルクリックします。

③ [Driver] フォルダ内の [Installer for Mac OS X] をダブルクリックします。

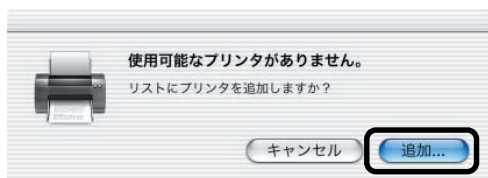
④ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4. プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

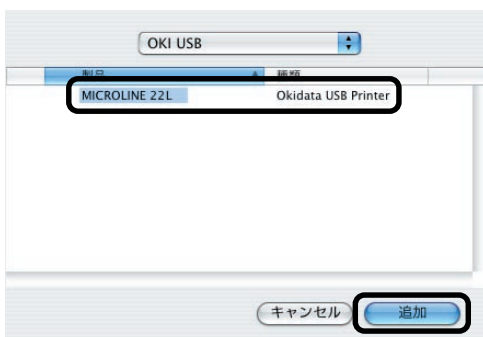
① ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ]（Mac OS X 10.2 では［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］、Mac OS X 10.1.5 以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

プリンタ設定ユーティリティ

② ［追加］（Mac OS X 10.1.5以前の場合は［プリンタを追加］）をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、[追加]をクリックします。

注 インストールしようとしているプリンタの名前がすでに表示されている場合は、プリンタ名を選択して[削除]をクリックします。

③ ［OKI USB］を選択します。（Mac OS X 10.1.5以前の場合は［USB］を選択します。）

④ 表示されているプリンタ名を選択し、［追加］をクリックします。

⑤ ［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

5. 設定を確認します。

① TextEditなどのアプリケーションを起動します。

② ［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

③ ［対象プリンタ］（Mac OS X 10.1.5 以前では［フォーマット］）で追加したプリンタ名を選択します。

④ ［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバを削除するには

1. プリンタリストからプリンタ名を削除します。

① ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ]（Mac OS X 10.2では［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンタ］、Mac OS X 10.1.5以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

② プリンタ名を選択し、[削除]をクリックします。

③ ［プリンタリスト］を閉じます。

2. インストーラでアンインストールします。

① 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

② [MICROLINE]アイコンをダブルクリックします。

③ ［Driver］フォルダを開きます。

④ ［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

⑤ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

⑥ 起動画面で[続ける]をクリックします。

⑦ 「使用許諾契約」画面で、[同意]をクリックします。

⑧ 「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

⑨ ◆をクリックし、[アンインストール]を選択します。

⑩ [アンインストール]をクリックします。

プリンタドライバの削除が行われます。

⑪ ［終了］をクリックします。

6

プリンタドライバをアップデートするには

① ［プリンタ設定ユーティリティ］-［プリンタリスト］のプリンタ名を削除し、インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」（83 ページ）をご覧ください。

② プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくは「セットアップします」（80 ページ）をご覧ください。

USB 接続でセットアップできないときには

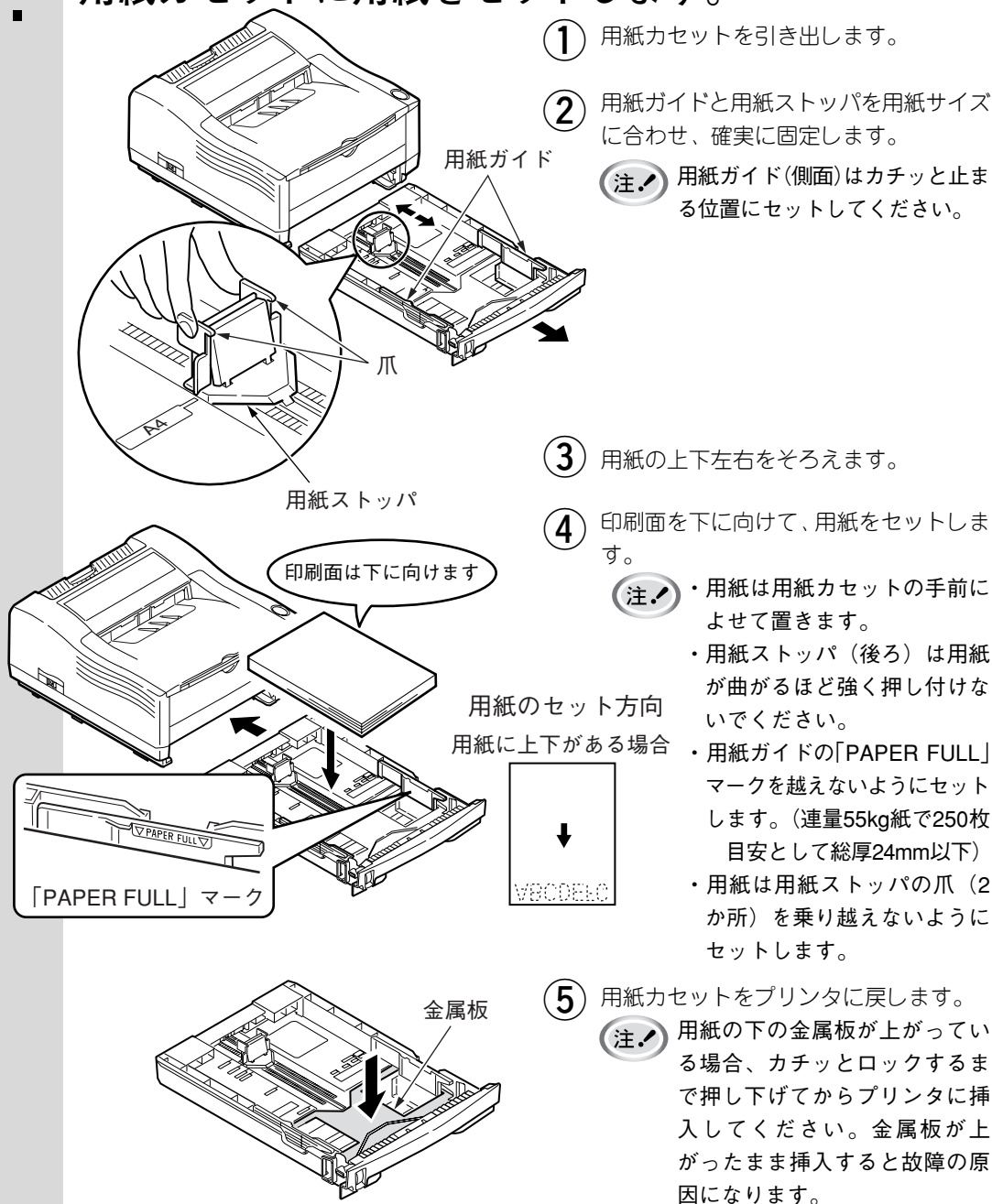
現　象	対処方法
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USBケーブルを短時間で抜き差ししています。	USBケーブルを抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
USBケーブルが外れています。	USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	プリンタとMacintoshを直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。(80ページ)
プリンタの電源スイッチがOFFになっています。	プリンタの電源をONにしてください。 (17ページ)
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。(80ページ)
[オフライン]になっています。	「オンライン」を押して、[オンライン]にしてください。

給紙方法を決めます

用紙の種類, サイズ, 厚さによって給紙方法が異なります。次の手順で全ての条件を満足する方法を確認してください。
用紙の仕様については、「使用できる用紙について」（156 ページ）をご覧ください。

1. 用紙の種類とサイズから給紙方法を確認します。

○：使用できます
×：使用できません

種　類	サイズ	厚さ	給紙方法		
			用紙カセット	マルチパーパスフィーダ	手差し
普通紙	A4 A5 B5 レター エグゼクティブ	連量55〜75kg	○	○	○
		連量76〜90kg	×	○	○
	リーガル(13インチ)	連量55〜75kg	○	×	○
	リーガル(14インチ)	連量76〜90kg	×	×	○
	A6	連量55〜75kg	○	○	○
		連量76〜90kg	×	○	○
	カスタム	連量55〜75kg	○	○	○
		連量76〜90kg	×	○	○
はがき	はがき/往復はがき	—	×	○	○
封筒	封筒1(長形3号) 封筒2(長形4号) 封筒3(洋形4号) Com-9 Com-10 DL C5 Monarch カスタム	—	×	○	○
ラベル紙	A4/レター	—	×	○	○
OHPシート	A4/レター	—	×	○	○

2. 用紙の種類と厚さからプリンタドライバの［用紙厚］の設定値を確認します。

種　類	厚　さ	プリンタドライバの［用紙厚］設定値
普通紙	連量55Kg紙でしわがでるとき	薄い紙
	連量55Kg(64g/m^2)	普通紙
	連量56〜75Kg(65〜87g/m^2)	やや厚い紙
	連量76〜89Kg(88〜104g/m^2)	厚い紙
	連量90Kg(105g/m^2)	より厚い紙
はがき、封筒、ラベル紙	—	より厚い紙
OHPシート	—	OHPシート

カセットから印刷します

普通紙は用紙カセットから印刷します。

1. 用紙カセットに用紙をセットします。

① 用紙カセットを引き出します。

② 用紙ガイドと用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

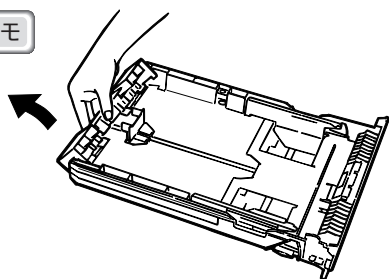
注 用紙ガイド(側面)はカチッと止まる位置にセットしてください。

③ 用紙の上下左右をそろえます。

④ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注
- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ストッパ(後ろ)は用紙が曲がるほど強く押し付けないでください。
- 用紙ガイドの「PAPER FULL」マークを越えないようにセットします。(連量55kg紙で250枚目安として総厚24mm以下)
- 用紙は用紙ストッパの爪(2か所)を乗り越えないようにセットします。

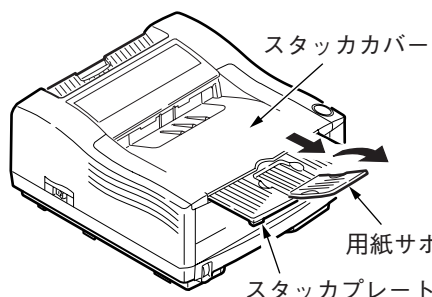
⑤ 用紙カセットをプリンタに戻します。

注 用紙の下の金属板が上がっている場合、カチッとロックするまで押し下げてからプリンタに挿入してください。金属板が上がったまま挿入すると故障の原因になります。

リーガル（13インチ）, リーガル（14インチ）を使用するときは用紙カセット後部を広げます。
閉じるときは、用紙カセット後部の側面を軽く押して中に倒します。

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。
- 用紙ガイドと用紙ストッパは用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙は必ず縦送りでセットしてください。
- サイズ, 紙質, 厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- 用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中は用紙カセットを引き出さないでください。
- 一度印刷した用紙で裏面印刷はしないでください。

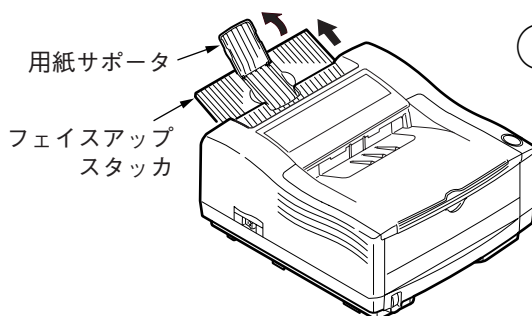
2. 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はスタッカカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量55kg（64g/m^2）紙で約150枚をためることができます。

① プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

② スタッカプレートを引き出し、用紙サポータを起こします。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量55kg（64g/m^2）紙で約50枚ためることができます。

① プリンタ背面のフェイスアップスタッカを引き出し、用紙サポータを起こします。

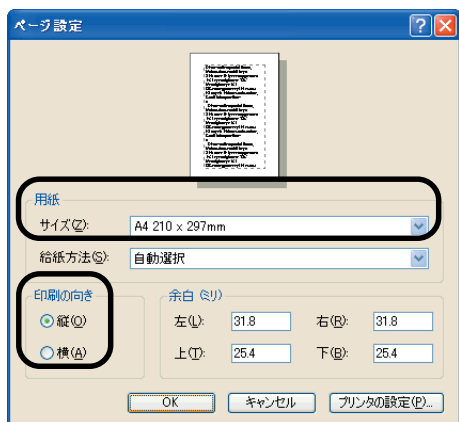
- 印刷中にフェイスアップスタッカを出し入れしないでください。紙づまりの原因になります。
- A5よりも小さい用紙（長さ210mm未満）は、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。
- 薄手の用紙で紙づまりが発生する場合は、フェイスアップで排出してください。

3. アプリケーションを起動します。

Windows または Macintosh で印刷したいファイルを開きます。

4. プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［用紙厚］を選択し、印刷します。

注
- Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］または［TextEdit］を使い、トレイ1でA4サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- ［用紙厚］を適切な値に設定しないと印刷品位が低下したり定着器ユニットを傷めるおそれがあります。詳しくは「給紙方法を決めます」（86ページ）をご覧ください。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（132ページ）をご覧ください。
- Windows の画面や説明は WindowsXP Home Edition を例にしています。

Windows の場合

① ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

② ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

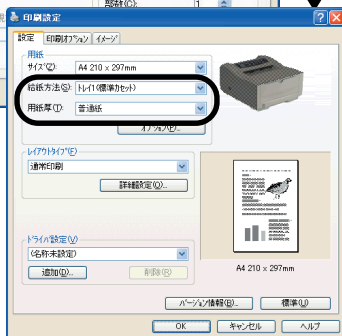
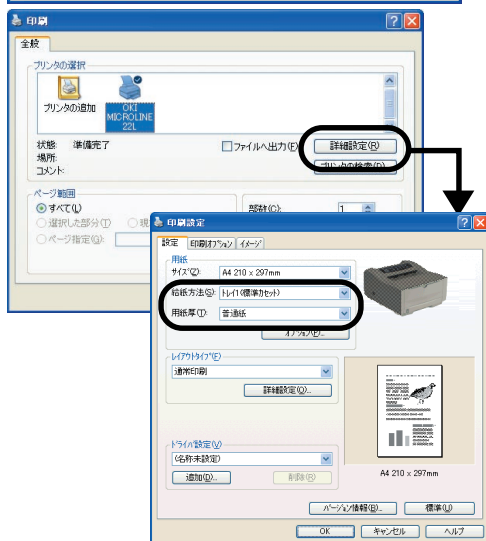
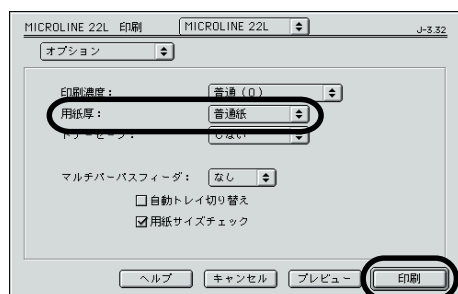
③ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

④ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

⑤ ［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ1（標準カセット）］を選択し、［用紙厚］で［普通紙］を選択します。

⑥ ［OK］をクリックします。（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

⑦ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

7

Macintosh の場合

① ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

② ［用紙］で［A4］、［プリント方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

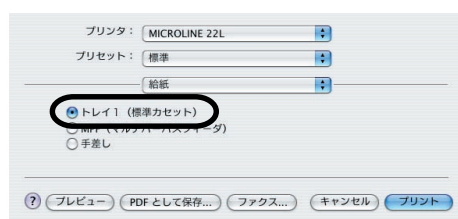
③ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

④ ［給紙方法］で［トレイ１（標準カセット）］を選択します。

⑤ ［オプション］パネルの［用紙厚］で［普通紙］を選択します。

⑥ ［印刷］をクリックし、印刷します。

7

Mac OS X の場合

① ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

② ［用紙サイズ］で［A4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

③ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

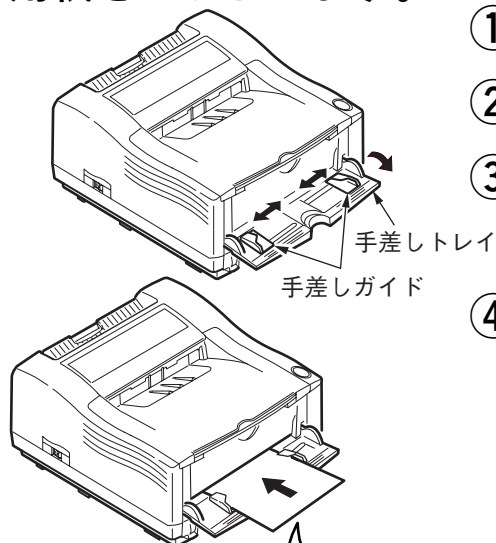
④ ［給紙］パネルで［トレイ1（標準カセット）］を選択します。

⑤ ［プリンタオプション］パネルの［用紙厚］で［普通紙］を選択します。

⑥ ［プリント］をクリックし、印刷します。

手差しトレイから印刷します

はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは手差しトレイから1枚ずつ印刷します。普通紙も印刷できます。

1. 用紙をセットします。

① 手差しトレイを開きます。

② 手差しガイドを用紙サイズに合わせます。

③ 印刷面を上に向けて、用紙を手差しガイドに沿って突き当たるまで差し込みます。

注 用紙は1枚ずつセットしてください。

④ プリンタが用紙の先端を引き込んだら手を離します。

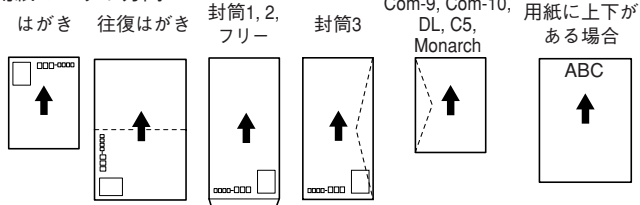
用紙は自動的に約2cm吸入されて固定されます。

メモ セットした用紙を排出するには、「オンライン」ランプが点灯した状態で「オンライン」スイッチを5秒以上押し続けます。

注 一度排出した用紙は再使用しないでください。紙づまりの原因になります。

印刷する面を上に向けて、まっすぐ突き当たるまで差し込みます

用紙のセット方向

はがき　往復はがき　封筒1, 2, フリー　封筒3　Com-9, Com-10, DL, C5, Monarch　用紙に上下がある場合

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。
- 手差しガイドは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙は必ず縦送りでセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm以内に修正してください。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- 吸入しにくいときは、吸入され固定されるまで軽く手で押してください。
- 手差しトレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- 一度印刷した用紙で裏面印刷はしないでください。

2. 用紙の排出先をセットします。

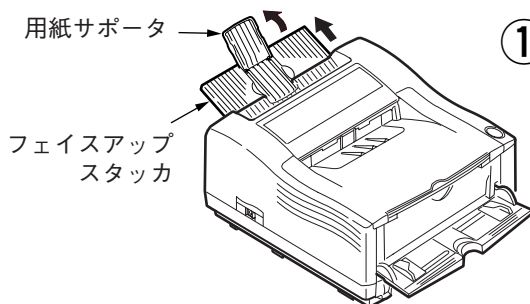
フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はスタッカカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量55kg（64g/m²）紙で約150枚をためることができます。

① プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

② スタッカプレートを引き出し、用紙サポータを起こします。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量55kg（64g/m²）紙で約50枚ためることができます。

① プリンタ背面のフェイスアップスタッカを引き出し、用紙サポータを起こします。

注
- 印刷中にフェイスアップスタッカを出し入れしないでください。紙づまりの原因になります。
- A5よりも小さい用紙（長さ210mm未満）、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート、連量76kg以上の用紙は、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。
- 薄手の用紙で紙づまりが発生する場合は、フェイスアップで排出してください。
- OHPシートは静電気を帯びてくっつきやすくなることがあります。印刷後、必ず1枚ずつフェイスアップスタッカから取り除いてください。

3. アプリケーションを起動します。

Windows または Macintosh で印刷したいファイルを開きます。

4. プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［用紙厚］を選択し、印刷します。

注

- Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］または［TextEdit］を使い、手差しトレイではがきに印刷する場合を例にしています。
- ［用紙厚］を適切な値に設定しないと印刷品位が低下したり定着器ユニットを傷めるおそれがあります。詳しくは「給紙方法を決めます」（86ページ）をご覧ください。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（132ページ）をご覧ください。
- Windowsの画面や説明はWindowsXP Home Editionを例にしています。

Windowsの場合

① ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

② ［サイズ］で［はがき］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

③ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

④ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

⑤ ［設定］タブの［給紙方法］で［手差し］を選択し、［用紙厚］で［より厚い紙］を選択します。

⑥ ［OK］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

⑦ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh の場合

① [ファイル] メニューの [用紙設定] を選択します。

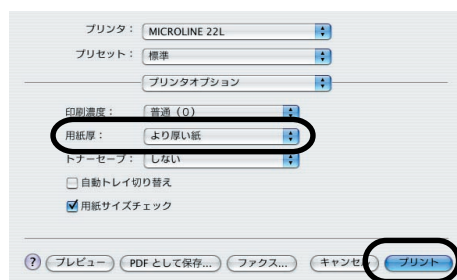
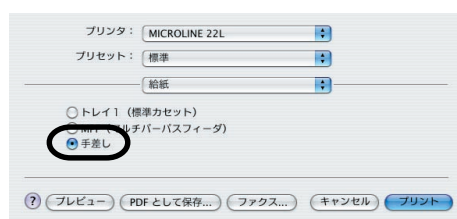
② [用紙] で [はがき]、[プリント方向] で適切な方向を選択し、[OK] をクリックします。

③ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

④ [給紙方法] で [手差し] を選択します。

⑤ [オプション] パネルの [用紙厚] で [より厚い紙] を選択します。

⑥ [印刷] をクリックし、印刷します。

Mac OS X の場合

① ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

② ［用紙サイズ］で［はがき］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

③ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

④ ［給紙］パネルで［手差し］を選択します。

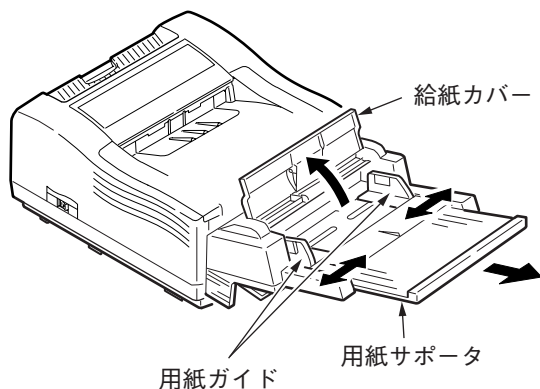
⑤ ［プリンタオプション］パネルの［用紙厚］で［より厚い紙］を選択します。

⑥ ［プリント］をクリックし、印刷します。

マルチパーパスフィーダから印刷します

オプションのマルチパーパスフィーダを装着すると、はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートを連続して印刷できます。普通紙も印刷できます。

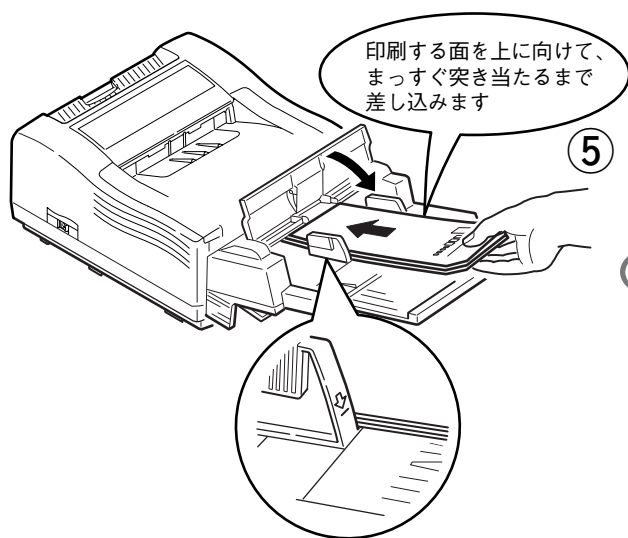
マルチパーパスフィーダの取り付け方法は「マルチパーパスフィーダ」(19 ページ)をご覧ください。

1. マルチパーパスフィーダに用紙をセットします。

① 用紙サポータを引き出します。

メモ A5よりも大きな用紙をセットするときは、用紙サポータをいっぱいに引き出します。

② 給紙カバーを開きます。

③ 用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。

④ 用紙の上下左右をそろえます。

⑤ 印刷面を上に向けて、用紙を用紙ガイドにそってまっすぐ突き当たるまで差し込みます。

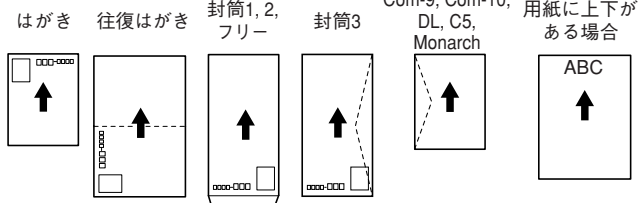
注 封筒以外の用紙は、用紙ガイドの「⇩」マークの線を越えないようにセットします。(連量55kg紙で100枚、はがき50枚　目安として総厚10mm以下)
封筒(85g/m²)は約50枚セットできます。(目安として総厚30mm以下)

⑥ 給紙カバーを閉じます。

用紙のセット方向

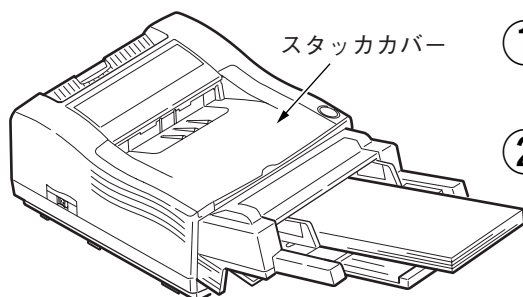
はがき　往復はがき

封筒1, 2, フリー　封筒3

Com-9, Com-10, DL, C5, Monarch　用紙に上下がある場合

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。
- 用紙ガイドは用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙は必ず縦送りでセットしてください。
- サイズ、紙質、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm以下になるように修正してください。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良の原因になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパスフィーダの上に、印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- 一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。
- 接着部に粘着剤がはみ出している封筒、表面にのりが付着した封筒は使用しないでください。

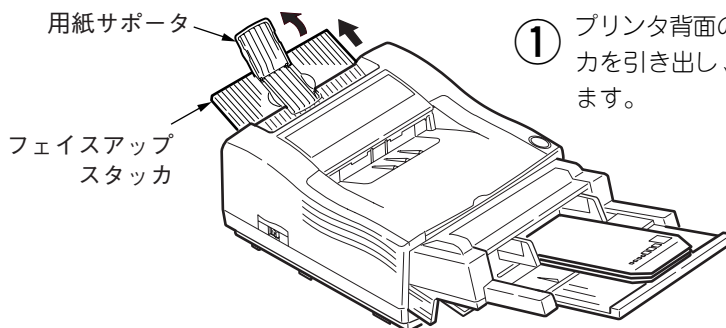
2. 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はスタッカカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量55kg（64g/m²）紙で約150枚をためることができます。

① プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

② スタッカプレートを引き出し、用紙サポータを起こします。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量55kg（64g/m²）紙で約50枚ためることができます。

① プリンタ背面のフェイスアップスタッカを引き出し、用紙サポータを起こします。

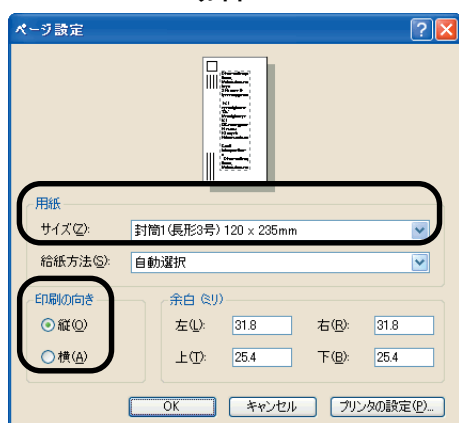
注
- 印刷中にフェイスアップスタッカを出し入れしないでください。紙づまりの原因になります。
- A5よりも小さい用紙（長さ210mm未満）、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート、連量76kg以上の用紙は、紙づまりの原因になりますので、フェイスアップで排出してください。
- 薄手の用紙で紙づまりが発生する場合は、フェイスアップで排出してください。

3. アプリケーションを起動します。

Windows または Macintosh で印刷したいファイルを開きます。

4. プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［用紙厚］を選択し、印刷します。

注
- Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］または［TextEdit］を使い、マルチパーパスフィーダで封筒1（長形3号）に印刷する場合を例にしています。
- ［用紙厚］を適切な値に設定しないと印刷品位が低下したり定着器ユニットを傷めるおそれがあります。詳しくは「給紙方法を決めます」（86ページ）をご覧ください。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（132ページ）をご覧ください。
- Windows の画面や説明は WindowsXP Home Edition を例にしています。

Windows の場合

① ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

② ［サイズ］で［封筒１（長形３号）］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

③ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

④ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

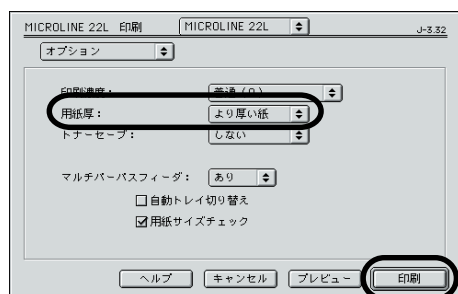
⑤ ［設定］タブの［給紙方法］で［MPF（マルチパーパスフィーダ）］を選択し、［用紙厚］で［より厚い紙］を選択します。

注 ［MPF（マルチパーパスフィーダ）］が選択できないときは、「プリンタドライバでマルチパーパスフィーダを設定します」（21ページ）をご覧ください。

⑥ ［OK］をクリックします。（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

⑦ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

7

Macintosh の場合

① ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

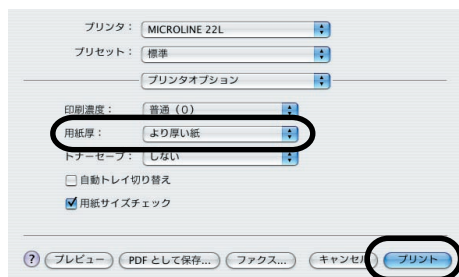
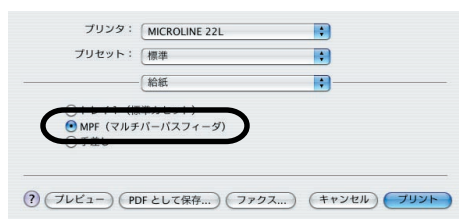
② ［用紙］で［封筒1（長形3号）］、［プリント方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

③ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

④ ［給紙方法］で［MPF（マルチパーパスフィーダ）］を選択します。

⑤ ［オプション］パネルの［用紙厚］で［より厚い紙］を選択します。

⑥ ［印刷］をクリックし、印刷します。

Mac OS X の場合

① ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

② ［用紙サイズ］で［封筒１（長形３号）］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

③ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

④ ［給紙］パネルで［MPF（マルチパーパスフィーダ）］を選択します。

⑤ ［プリンタオプション］パネルの［用紙厚］で［より厚い紙］を選択します。

メモ
- 封筒1〜3、封筒フリーで、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、180゜逆に印刷される制限があります。
- 封筒1〜3、封筒フリーで、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［方向］で横方向（中央のアイコン）を選択します。

⑥ ［プリント］をクリックし、印刷します。

メニューマップ印刷をします

プリンタが正常に動作することを確認します。

① トレイにA4用紙をセットします。

注 A4用紙以外で印刷を行うと、全ての内容が印刷されないことがあります。

②「オンライン」スイッチを押し、「オンライン」ランプが消灯することを確認します。

③「オンライン」スイッチを２秒以上５秒以下押します。

メモ 「オンライン」スイッチを5秒以上押し続けると、クリーニングページになります。

メニューマップ印刷が開始されます。

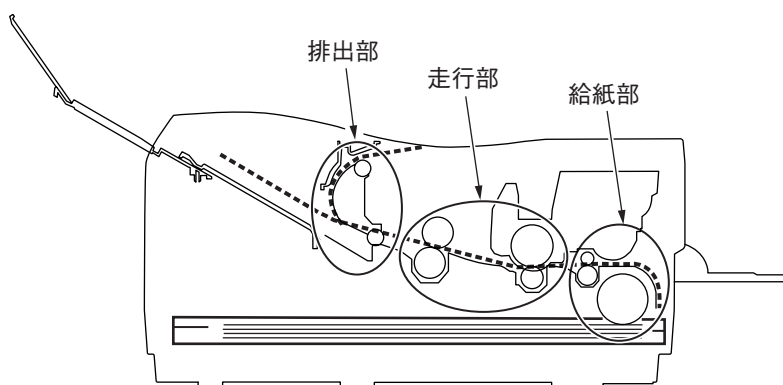
（サンプル）

MenuMap　　MICROLINE 22L

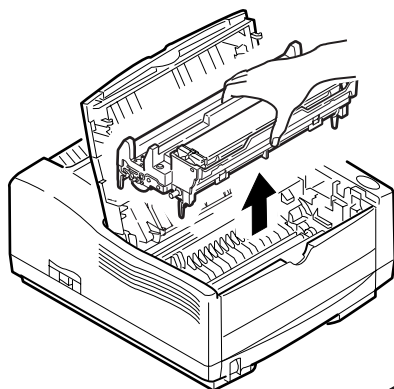
Printer Serial Number: Printer Asset Number:
CU version:J1.00 [I00.95 S2.4.1h B02.00 PPC405PS 266MHz 163 00000000 00000000 00000000 F32]
PU version:00.01.65 [PI02.08]
IPL version : 01.58
Total Memory Size:8 MB
JP1

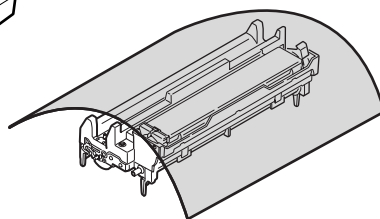
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ ﾒﾆｭｰ	
ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂ	
DEMO1	
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	
ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	ﾄﾚｲ1
ｼﾞﾄﾞｳ ﾄﾚｲ ｷﾘｶｴ	ｵﾌ
ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸｼﾞｭﾝｼﾞｮ	ｼﾀ ﾎｳｺｳ
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	
ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4 ｻｲｽﾞ
ﾄﾚｲ1 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ
ﾄﾚｲ1 ﾒﾃﾞｨｱｳｴｲﾄ	ﾌﾂｳｼ
ﾃｻｼ ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4 ｻｲｽﾞ
ﾃｻｼ ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ
ﾃｻｼ ﾒﾃﾞｨｱｳｴｲﾄ	ﾌﾂｳｼ
ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ ｾｯﾃｲﾀﾝｲ	ﾐﾘﾒｰﾄﾙ
ｶｽﾀﾑﾖｳｼ ﾊﾊﾞ	210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ
ｶｽﾀﾑﾖｳｼ ﾅｶﾞｻ	297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ
ｼｽﾃﾑ ｺｳｾｲ ﾒﾆｭｰ	
ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｲｺｳｼﾞｶﾝ	15 ﾌﾝ
ｱﾗｰﾑ ｶｲｼﾞｮ	ｵﾝ
ﾃｻｼ ﾀｲﾑｱｳﾄ	60 ﾋﾞｮｳ
ﾀｲﾑｱｳﾄ ｲﾝｻﾂ	40 ﾋﾞｮｳ
ﾄﾅｰﾌｿｸ ｲﾝｻﾂｹｲｿﾞｸ	ｹｲｿﾞｸ
ｼﾞｬﾑ ﾘｶﾊﾞｰ	ｵﾝ
ｾﾝﾄﾛ ﾒﾆｭｰ	
ｾﾝﾄﾛ	ﾕｳｺｳ
ｿｳﾎｳｺｳ	ﾕｳｺｳ
ECP	ﾕｳｺｳ
ACK ﾊﾊﾞ	ｾﾏｲ
ACK/BUSY ﾀｲﾐﾝｸﾞ	ACK IN BUSY
I-PRIME	3 ﾏｲｸﾛﾋﾞｮｳ
USB ﾒﾆｭｰ	
USB	ﾕｳｺｳ
ｿﾌﾄ ﾘｾｯﾄ	ﾕｳｺｳ
ｼﾘｱﾙﾅﾝﾊﾞ	ﾕｳｺｳ
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾒﾆｭｰ	
EEPROM ﾘｾｯﾄ	
ﾄﾞﾗﾑｶｳﾝﾄ ﾘｾｯﾄ	
ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｷﾉｳ	ﾕｳｺｳ
ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0
ｲﾝｻﾂ ﾉｳﾄﾞ	0
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ﾍﾟｰｼﾞ	
ｼﾞｭﾐｮｳ ﾒﾆｭｰ	
ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ 100 %
ﾄﾅｰ ｻﾞﾝﾘｮｳ	ﾉｺﾘ 100 %

9. 紙づまりになったとき

紙づまりが発生すると操作パネルに［ヨウシサイズ　エラー］、［ヨウシジャム］、［ハイシジャム］メッセージが表示されます。次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1. プリンタの電源をOFFにし、スタッカカバーを開きます。

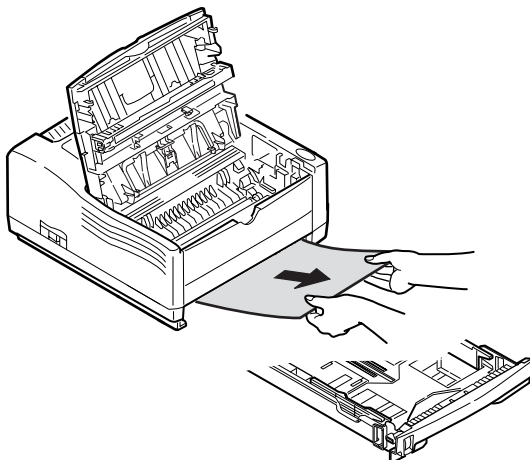
⚠警告	やけどのおそれがあります。		定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

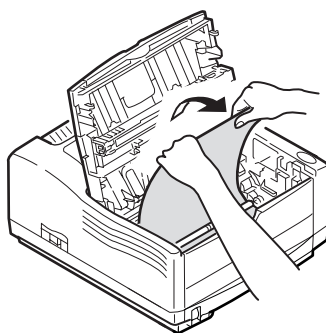
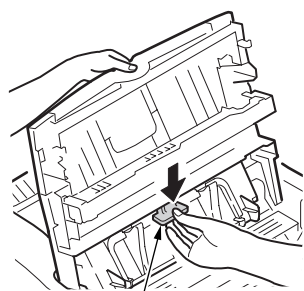
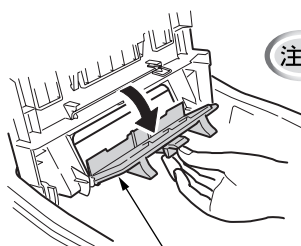
2. イメージドラムカートリッジを取り出します。

① イメージドラムカートリッジを取り出します。

② 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5分間以上は放置しないでください。

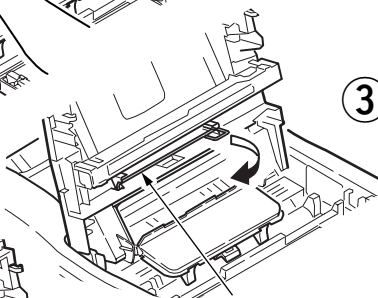
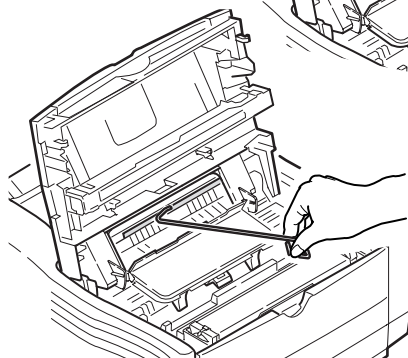
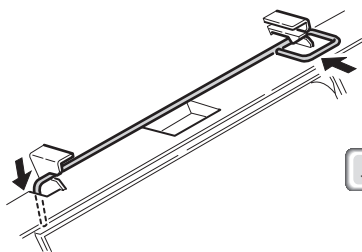
3. つまった用紙を取り除きます。

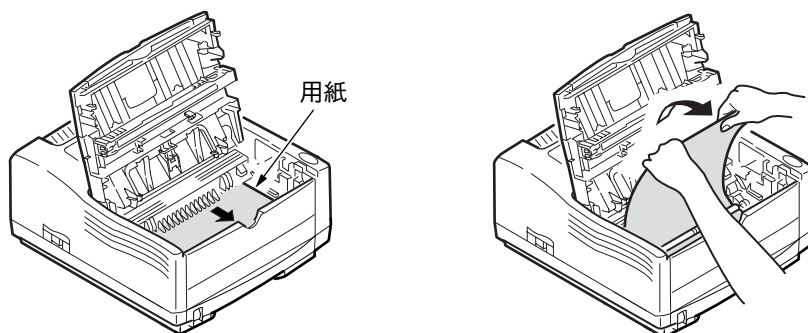
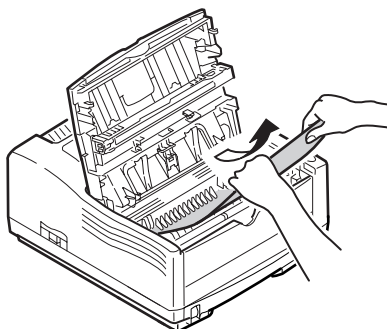
用紙カセット部（ヨウシジャム）

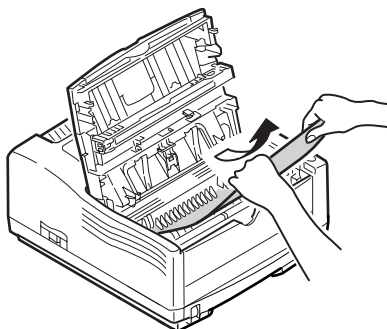
用紙カセットを引き出し、つまっている用紙を取り除きます。

プリンタ内部（ヨウシジャム、ヨウシサイズエラー）

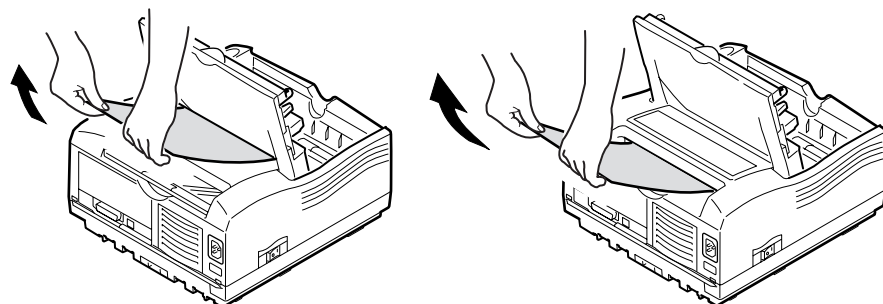
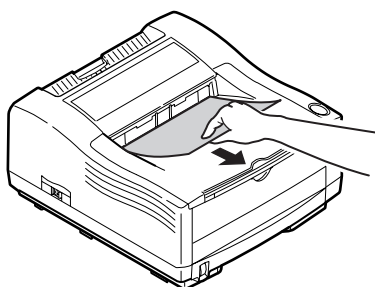
用紙の先端が見えている場合は、つまっている用紙の先端をつかみ、ゆっくり引き出します。

用紙の先端が見えていない場合は、下記の手順でつまっている用紙を引き出します。

① ロックレバーを押し下げ、アクセスカバーを開きます。

注 アクセスカバーを開くときは、スタッカカバーを手で押さえてロックレバーを押してください。

② つまっている用紙の先端が見えた場合は、用紙を引き出します。

③ 先端が見えない場合は、スタッカカバー裏面にある用紙除去棒を使って、用紙の先端を引き出します。

④ アクセスカバーを閉じます。

メモ 用紙除去棒は、使い終わった後、元の場所に取り付け直してください。

用紙の先端も後端も見えない場合は、つまっている用紙を矢印の方向にずらしてから用紙の先端部をつかみ、ゆっくり引き出します。

用紙の後端が見えている場合は、つまっている用紙の後端部をつかみ、ゆっくり引き出します。

用紙排出部（ハイシジャム）

用紙後端がプリンタ内部に見えている場合は、つまっている用紙の後端をつかみ、ゆっくり引き出します。

注 用紙排出部でつまった場合でも、スタッカカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ内側に用紙を引き出してください。無理に後ろに引き出すと定着器ユニットを傷めるおそれがあります。

用紙の後端が見えず、用紙先端が排出部に見えている場合は、用紙の先端をつかんでゆっくり引き出します。

用紙が取り出せない場合は、無理に引き出さず、次のようにして用紙を取り除きます。

① イメージドラムカートリッジをプリンタから取り外した状態でスタッカカバーを閉じます。

② モータが回転を始めたら、用紙先端をつかんで引き出します。

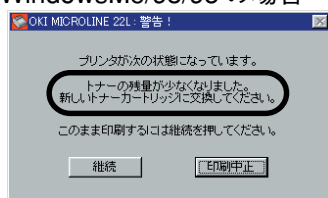
注 マルチパーパスフィーダ（オプション）から給紙したときに紙づまりが発生した場合は、それぞれの用紙走行部に用紙が残っていないかチェックしてください。また、スタッカカバーをいったん開閉しないとアラーム表示を解除できません。

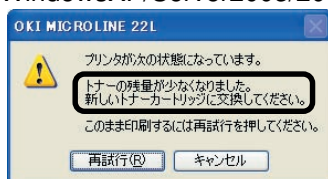
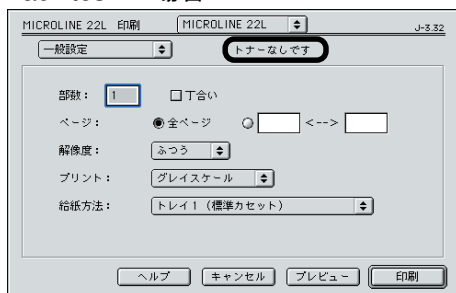
4. イメージドラムカートリッジを戻し、スタッカカバーを閉じます。

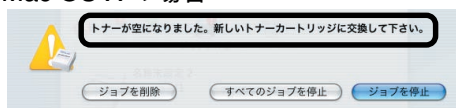
トナーカートリッジを交換します

トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると、コンピュータの画面に［トナーカートリッジ交換］のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジに交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、カートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、A4用紙で5%の印刷密度（1ページの印刷範囲でトナーのついている面積）で、約2,500枚です。ただし、新しいイメージドラムカートリッジに1本目のトナーカートリッジを取りつけたときの寿命は約半分の枚数になります。
上記に対し、あきらかに［トナーカートリッジ交換］のメッセージ表示が早い場合、トナーカートリッジにトナーが残っている可能性があります。イメージドラムにトナーカートリッジを取り付けた状態で、トナーカートリッジを軽くたたいてください。

WindowsMe/98/95 の場合

印刷時に［トナーの残量が少なくなりました］のメッセージが表示されます。

WindowsXP/Server2003/2000/NT4.0 の場合

Macintosh の場合

［プリント］ダイアログに［トナーなしです］のメッセージが表示されます。

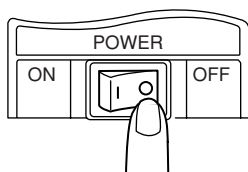
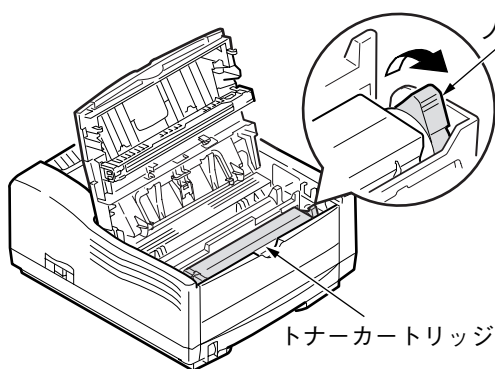
Mac OS X の場合

印刷時に［トナーが空になりました］のメッセージが表示されます。

・開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
・商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

トナーカートリッジを交換します

1. プリンタの電源をOFFにし、スタッカカバーを開きます。

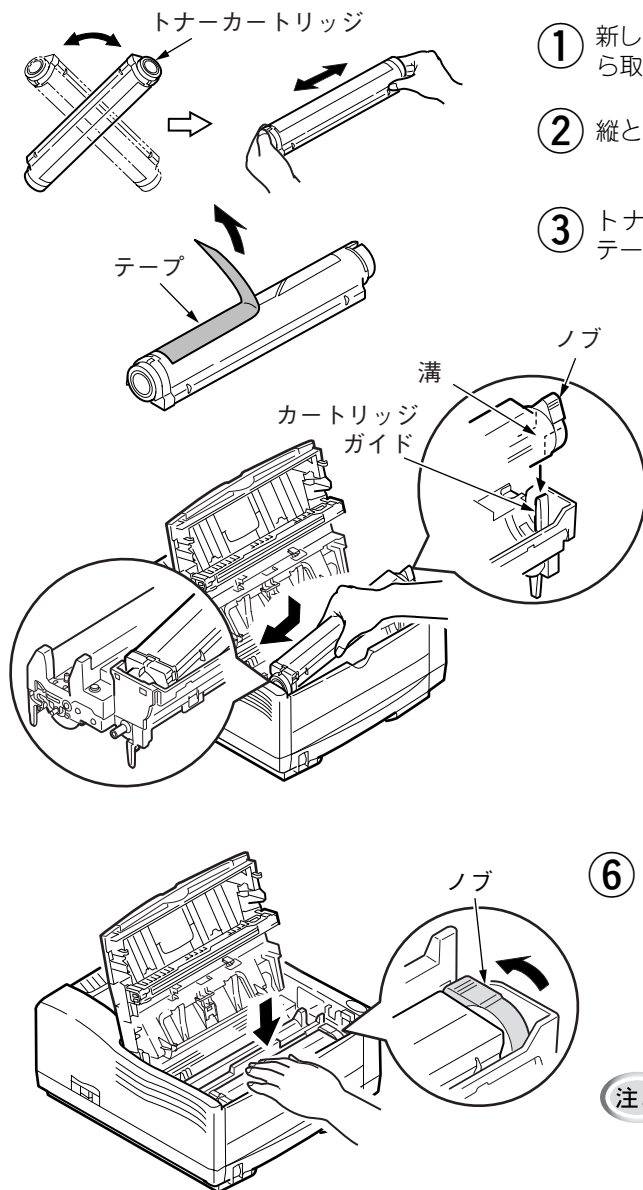
⚠警告	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2. 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

① トナーカートリッジのノブを矢印の方向に止まるまで回します。

② トナーカートリッジを取り出します。

メモ
・使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(171ページ)をご覧ください。
・やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	使用済みのトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発ややけどのおそれがあります。

3. 新しいトナーカートリッジをセットします。

① 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

② 縦と横に数回振ります。

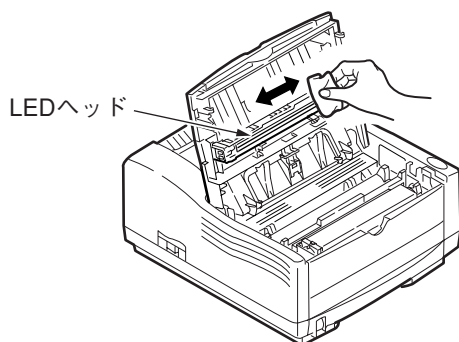
③ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

④ トナーカートリッジをテープをはがした面を下にして、ノブが右側になるようにして持ちます。

⑤ トナーカートリッジ右側の溝をイメージドラムカートリッジのカートリッジガイドの突起にあわせながら、矢印の方向にしっかり押さえ込みます。

⑥ トナーカートリッジ右側の溝をイメージドラムカートリッジのカートリッジガイドの突起にあわせながら、矢印の方向にしっかり押さえ込みます。

注 トナーカートリッジが正しく固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4. LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーでLED ヘッド全体を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

メモ LEDレンズクリーナは、別売の交換用トナーカートリッジに添付されています。

5. イメージドラムカートリッジを取り外し、LED レンズクリーナまたは水を含ませ固くしぼった布で紙粉受けの紙粉を拭き取ります。

注 紙粉取りフィルムを曲げないように軽く拭いてください。紙粉を用紙走行路や転写ローラ表面に付着させないように拭き取ってください。

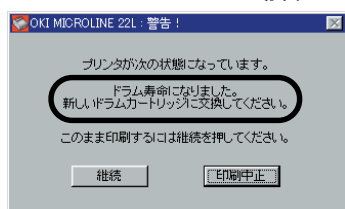
6. イメージドラムカートリッジを取り付け、スタッカカバーを閉じます。

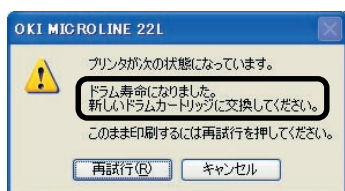
注 トナーカートリッジの交換後に、操作パネルの［トナー　ロー］または［トナーコウカン／シテテクダサイ］の表示が消えないことがありますが、故障ではありません。表示はしばらく印刷すれば消えます。表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジを外し、数回振ってセットし直してください。

イメージドラムカートリッジを交換します

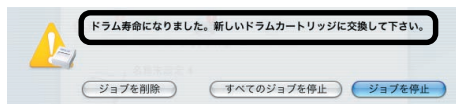
イメージドラムカートリッジの交換の目安

イメージドラムカートリッジが寿命に近づくと、コンピュータの画面に［ドラム寿命］のメッセージが表示されますので、新しいイメージドラムカートリッジに交換してください。
イメージドラムカートリッジ交換の目安は、A4サイズの用紙で約25,000枚です。ただし、これは連続で印刷した場合の枚数です。一度印刷するとイメージドラムカートリッジは空回転をするため、1枚ずつ印刷する場合には、イメージドラムカートリッジの寿命は約半分になります。

WindowsMe/98/95の場合

印刷時に［ドラム寿命になりました］のメッセージが表示されます。

WindowsXP/Server2003/2000/NT4.0の場合

Macintoshの場合

［プリント］ダイアログに［ドラム寿命です］のメッセージが表示されます。

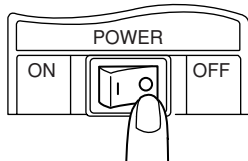
Mac OS Xの場合

印刷時に［ドラム寿命になりました］のメッセージが表示されます。

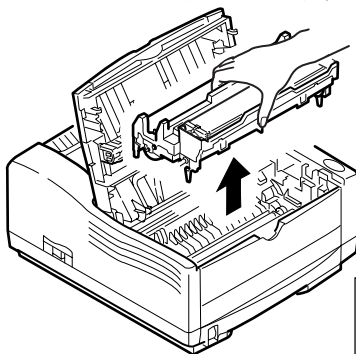
- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- イメージドラムカートリッジ交換直後は一時的に印刷が薄くなることがあります。しばらく印刷をすると回復します。
- 長期間使用すると、ごくまれに印刷濃度が濃くなってくることがあります。プリンタドライバで印刷濃度を調整してください。詳しくは「印刷濃度を濃くしたい、薄くしたい」（145ページ）をご覧ください。イメージドラムカートリッジを交換したときは、設定を元に戻してください。
- イメージドラムカートリッジの交換と同時にトナーカートリッジも交換します。

イメージドラムカートリッジを交換します

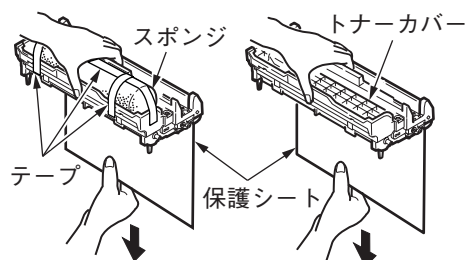
1. プリンタの電源をOFFにし、スタッカカバーを開きます。

⚠警告	やけどのおそれがあります。	

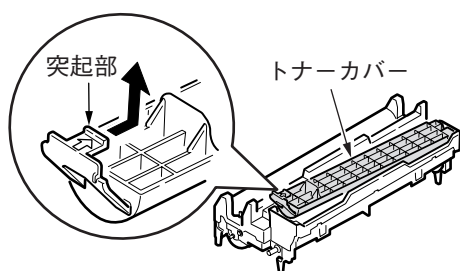
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2. 使用済みのイメージドラムカートリッジを取り出します。

イメージドラムカートリッジの手前（トナーカートリッジ側）を軽く持ち上げ、そのまま上方に引き抜きます。
イメージドラムカートリッジを取り出すと、トナーカートリッジも一緒に取り出されます。

メモ
- 使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」（171ページ）をご覧ください。
- やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

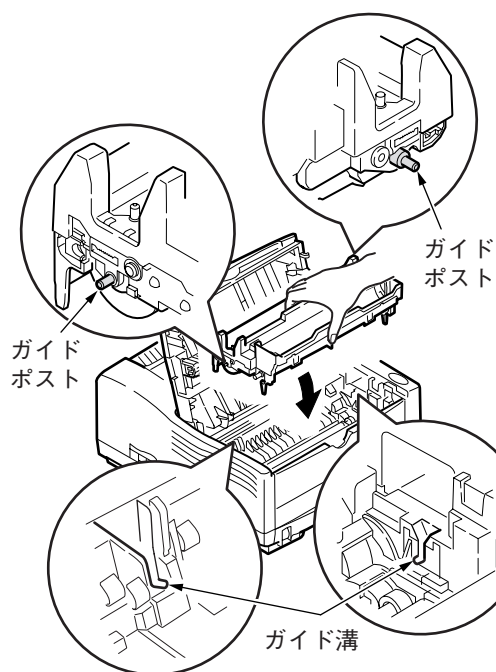
⚠警告	使用済みのイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発ややけどのおそれがあります。

3. 新しいイメージドラムカートリッジをセットします。

① 新しいイメージドラムカートリッジを包装袋から取り出します。

② イメージドラムカートリッジの手前側を少し持ち上げ、そのまま静かに上に取り出します。

③ イメージドラムカートリッジの中央部を手でしっかり押さえ、保護シートを矢印の方向に引き抜きます。

④ スポンジの場合は、スポンジをとめているテープ（3ヶ所）をはがし、スポンジを取り外します。
トナーカバー（オレンジ色）の場合は、突起部を矢印方向に押し、取り外します。

メモ　スポンジやトナーカバーは不燃物として処理してください。

注　スポンジを外すとき、トナーが飛散する場合があります。大きめな紙の上などで行ってください。

⑤ イメージドラムカートリッジを静かに戻します。左右のガイドポストを本体のガイド溝に合わせ、②と逆の手順でイメージドラムカートリッジの手前側を少し上向きにしてはめ込みます。次に手前側を下向きに回転させ、プリンタ本体にカチッとはまるようにセットします。

注
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

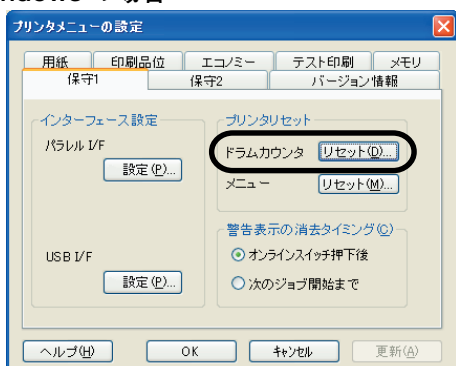
4. トナーカートリッジを取り付けます。

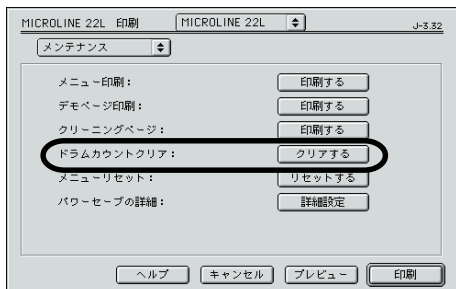
詳細は「トナーカートリッジを交換します」（112 ページ）をご覧ください。

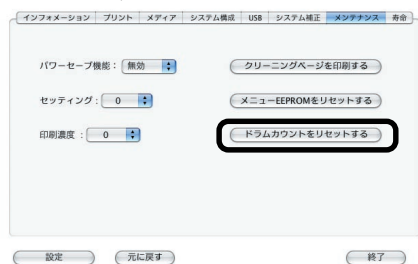
5. スタッカカバーを閉じます。

6. ドラムカウントをクリアします。

・コンピュータとプリンタが接続されていないと設定できません。
・イメージドラムカートリッジを交換したとき以外にこの操作を行うと、ドラム寿命が正しく表示されなくなります。

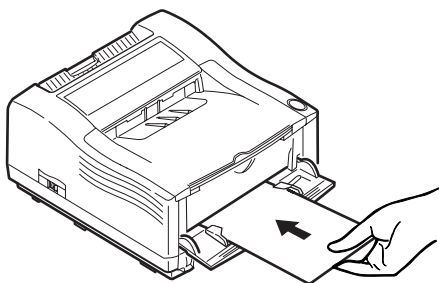
Windows の場合

① [スタート]-[プログラム](WindowsXP/Server2003 では [すべてのプログラム])- [沖データ] - [OKI MICROLINE 22L] - [OKI MICROLINE 22L ステータスモニタ] を選択します。
② [OKI MICROLINE 22L ステータスモニタ]画面の右上の[□]アイコンをクリックし最大化します。
③ [プリンタの設定] タブの [メニュー設定] をクリックします。
④ [保守 1] タブの [プリンタリセット] のドラムカウンタ [リセット] をクリックします。

Macintosh の場合

① [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。
② [メンテナンス] パネルの [ドラムカウントクリア] の [クリアする] をクリックします。

Mac OS X の場合

① [アプリケーション] - [OKI DATA] - [ML22L メニューセットアップ] をダブルクリックします。
② [メンテナンス] タブで [ドラムカウンタをリセットする] をクリックします。

クリーニングページをします

イメージドラムに付着した汚れを取り除きます。周期的な黒・白斑点が入る場合に行ってください。

1. 手差しトレイにA4用紙をセットします。

① 用紙を手差しガイドに沿って突き当たるまで差し込みます。

② プリンタが用紙の先端を引き込んだら手を離します。

注 用紙フィーダにセットされている用紙は取り除いてください。

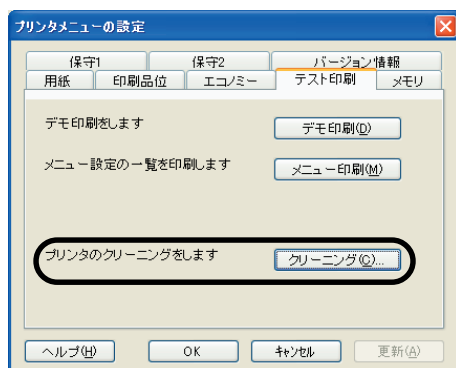
2. クリーニングページをします。

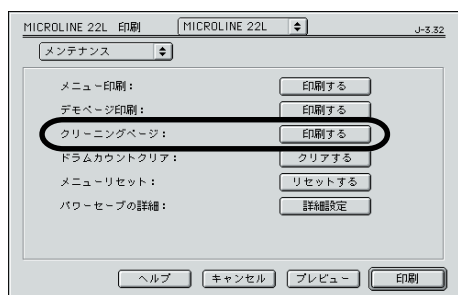
① 「オンライン」スイッチを押し、「オンライン」ランプが消灯することを確認します。

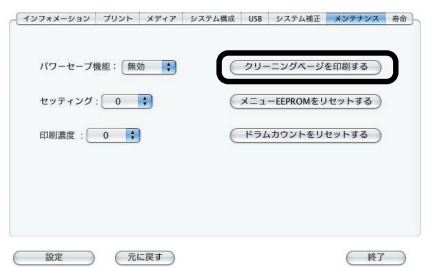
② 「オンライン」スイッチを5秒以上押し続けます。

クリーニングページが印刷されます。

クリーニングページは、コンピュータから行うこともできます。
手差しトレイにA4用紙をセットし、以下の手順で行ってください。

Windowsの場合

① [スタート]-[プログラム](WindowsXP/Server2003では[すべてのプログラム])-[沖データ]-[OKI MICROLINE 22L]-[OKI MICROLINE 22Lステータスモニタ]を選択します。
② [OKI MICROLINE 22Lステータスモニタ]画面の右上の[□]アイコンをクリックし最大化します。
③ [プリンタの設定]タブの[メニュー設定]をクリックします。
④ [テスト印刷]タブの[クリーニング]をクリックします。

Macintosh の場合

① ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
② ［メンテナンス］パネルの［クリーニングページ］の［印刷する］をクリックします。

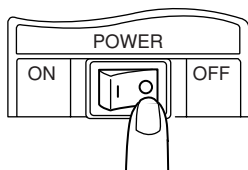
Mac OS X の場合

① ［アプリケーション］-［OKI DATA］-［ML22L メニューセットアップ］をダブルクリックします。
② ［メンテナンス］タブで［クリーニングページを印刷する］をクリックします。

紙粉受けの紙粉を拭き取ります

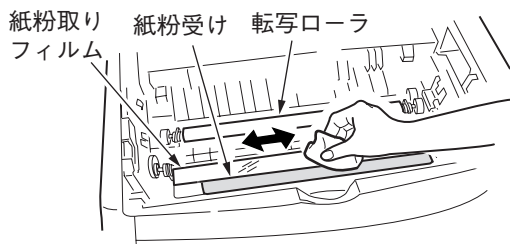
用紙走行路の紙粉受けに紙粉が溜まった場合に行ってください。
トナー交換の周期が目安です。

1. プリンタの電源をOFFにし、スタッカカバーを開きます。

⚠警告	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2. イメージドラムカートリッジを取り出します。

・取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙などをかぶせ、強い光に当てないようにしてください。
・取り出したイメージドラムカートリッジのイメージドラム（緑色の筒の部分）は非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。また、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明でも5分以上は放置しないでください。

3. LED レンズクリーナまたは水を含ませ固くしぼった布で紙粉受けの紙粉を拭き取ります。

・紙粉を用紙走行路や転写ローラに付着させないよう軽く丁寧に拭き取ってください。
・紙粉取りフィルムは変形させないよう注意してください。

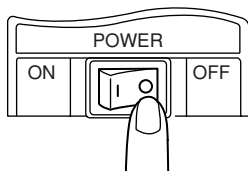
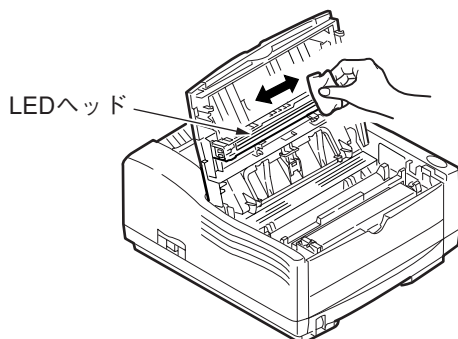
4. イメージドラムカートリッジをプリンタに戻し、スタッカカバーを閉じます。

LEDヘッドを清掃します

印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

1. プリンタの電源をOFFにし、スタッカカバーを開きます。

⚠警告	やけどのおそれがあります。	

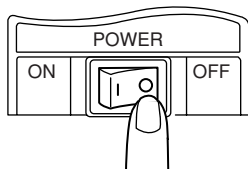
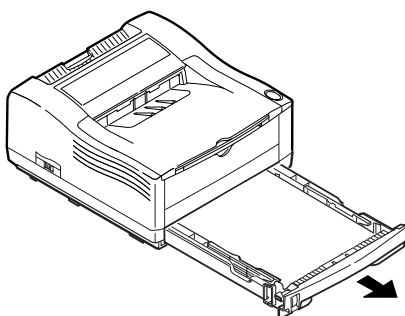
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2. LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで、LEDヘッドのレンズ面全体を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

メモ LEDレンズクリーナは、別売の交換用トナーカートリッジに添付されています。

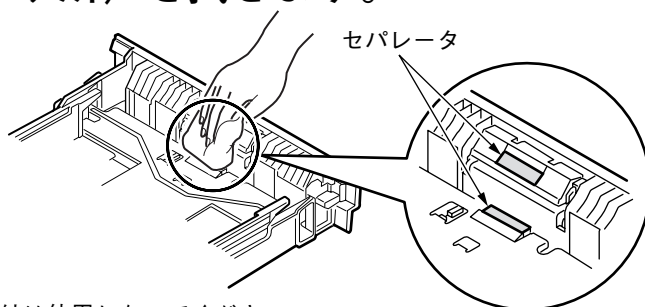
3. スタッカカバーを閉じます。

用紙カセットのセパレータを清掃します

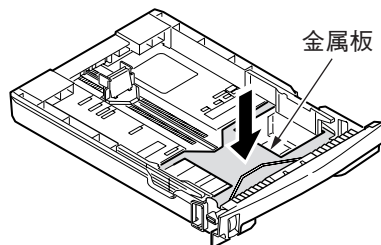
用紙カセットからの給紙が正しく行われない場合に行ってください。

1. プリンタの電源を OFF にします。

2. 用紙カセットをプリンタから引き出します。

3. 用紙カセットから用紙を取り出します。

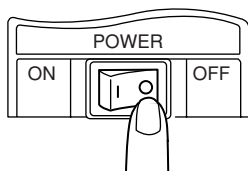
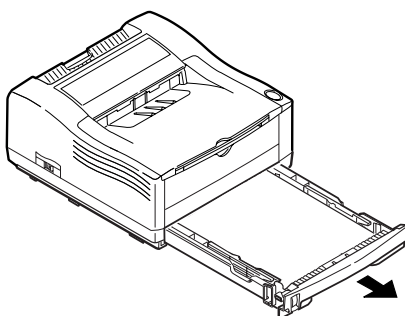
4. 水を含ませてかたく絞った布で、用紙カセットのセパレータ（2ヶ所）を拭きます。

注

- 水以外は使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。
- 拡張給紙ユニットからの給紙が正しく行われない場合は、拡張給紙ユニットのセパレータを同様に清掃してください。

5. 用紙カセットに用紙を入れ、プリンタに戻します。

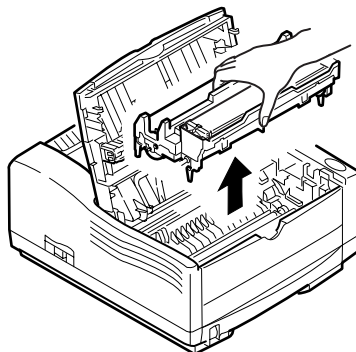
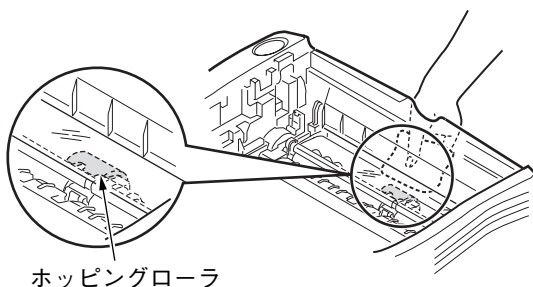
注 用紙の下の金属板が上がっている場合、カチッとロックするまで押し下げてからプリンタに挿入してください。金属板が上がったまま挿入すると故障の原因になります。

ホッピングローラを清掃します

用紙カセットからの給紙が正しく行われない場合に行ってください。

1. プリンタの電源を OFF にします。

2. 用紙カセットをプリンタから引き出します。

3. スタッカカバーを開き、イメージドラムカートリッジを取り出します。

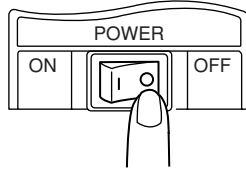
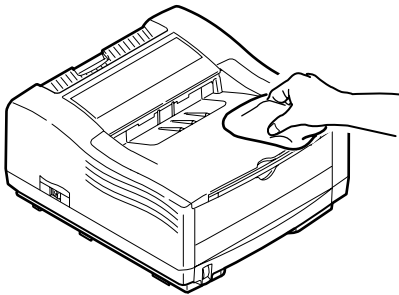
・取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙などをかぶせ、強い光に当てないようにしてください。
・取り出したイメージドラムカートリッジのイメージドラム（緑色の筒の部分）は非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。また、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明でも5分以上は放置しないでください。

⚠警告	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

4. 水を含ませてかたく絞った布で、用紙カセットの取り付け口からホッピングローラを拭きます。

注
・水以外は使用しないでください。
・本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。

5. イメージドラムカートリッジと用紙カセットをプリンタに戻し、スタッカカバーを閉じます。

プリンタ表面を清掃します

1. プリンタの電源を OFF にします。

2. プリンタの表面を拭きます。

① 水または中性洗剤を含ませてかたく絞った布で拭きます。

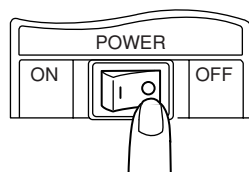
② 柔らかい乾いた布で拭きます。

注
- 水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。

プリンタを輸送するとき

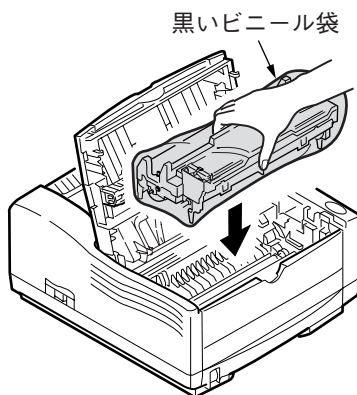
プリンタは精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

1. プリンタの電源をOFFにし、次の部品を取り外します。

- ·電源コード、アース線
- ·プリンタケーブル
- ·用紙カセットに入っている用紙

2. スタッカカバーを開け、イメージドラムカートリッジを取り出します。

⚠警告	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3. イメージドラムカートリッジをトナーカートリッジごと黒いビニール袋に入れ、プリンタに戻します。

注
- 黒いビニール袋はプリンタに同梱されています。
- いったんトナーカートリッジを装着した後にトナーカートリッジを外しますと、ドラムの口が開いたままになり輸送等の揺れによりドラムの口からトナーがこぼれ飛粉する場合があります。また、イメージドラムカートリッジを黒いビニール袋に入れないで輸送すると、トナーがこぼれ、プリンタ内部を汚すおそれがあります。必ず黒いビニール袋を使用してください。

4. 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れます。

注 プリンタ購入時についていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

・この章では、Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS Xでは［TextEdit］を例にしています。
・アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
・プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
・プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

プリンタドライバの初期設定を変更したい

アプリケーションから正しく印刷できない場合は、プリンタドライバの初期設定を変えてみてください。

Windows の場合

注 WindowsNT4.0はコンピュータの管理者の権限が必要です。

① ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server2003 では［スタート］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

② プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95 の場合
［OKI MICROLINE 22L］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003 の場合
［OKI MICROLINE 22L］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］をクリックします。

WindowsNT4.0 の場合
［OKI MICROLINE 22L］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

③ 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

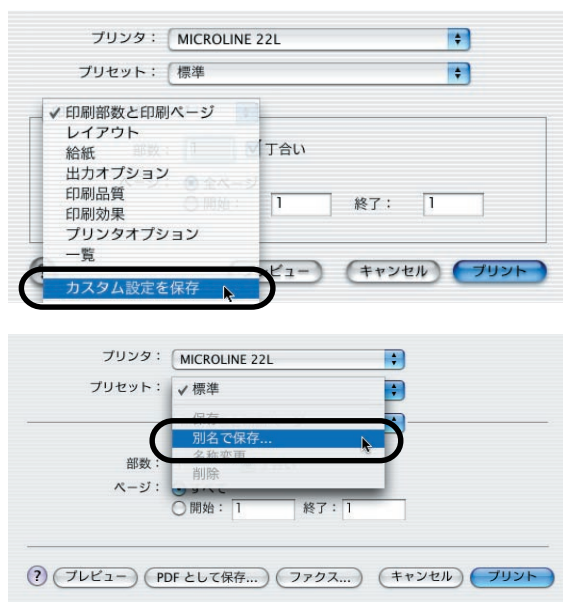
Macintosh の場合

① [アップル] メニューの [セレクタ] を選択します。
② 左画面で [ML22L(USB)] をクリックします。
③ [設定] をクリックします。

④ [用紙設定ダイアログ] をクリックし、各設定を変更し、[設定] をクリックします。
⑤ [印刷ダイアログ] をクリックし、各設定を変更し、[設定] をクリックします。
⑥ [保存] をクリックします。

PICT 解像度
プリンタドライバがアプリケーションに通知する解像度を選択します。アプリケーションによっては印刷品位と印刷時間に影響します。

[印刷部数]、[ページ（印刷範囲）]、[用紙厚] は変更できません。

Mac OS X の場合

① アプリケーションを起動します。
② [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。
③ 各設定を変更します。
④ Mac OS X 10.1.5以前の場合は、[カスタム設定を保存] を選択します。

Mac OS X 10.2以降の場合は、[プリセット] で [別名で保存] を選択し、「プリセットを保存」画面で適当な設定名を入力し、[OK] をクリックします。

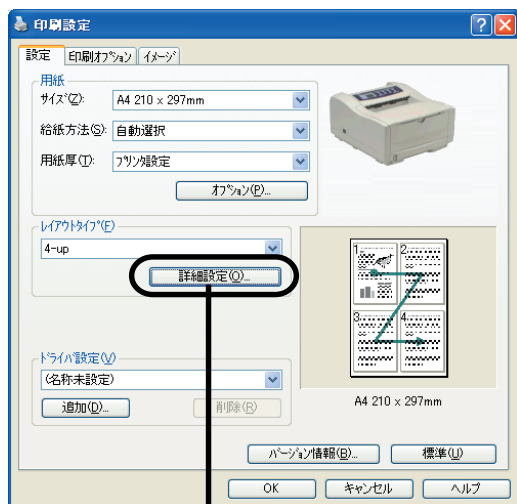
⑤ [キャンセル] をクリックします。

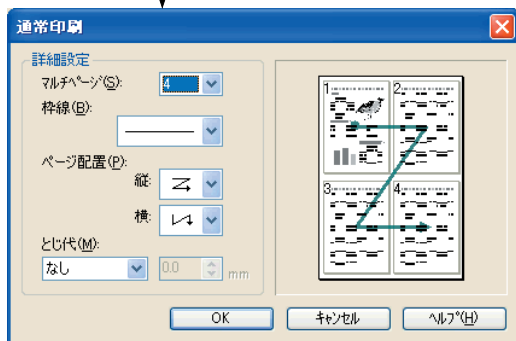
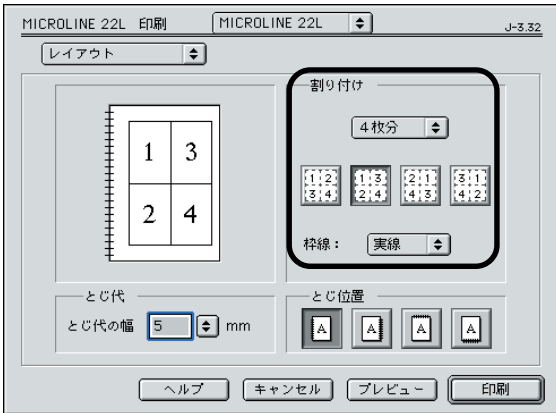
注 印刷時に [プリセット] で保存した設定名（Mac OS X 10.1.5以前の場合は [カスタム]）を選択してください。

複数ページを１枚に印刷したい

複数ページを１枚の用紙に縮小して印刷できます。

・この機能は、1枚の用紙に複数ページのデータを縮小して印刷するので、用紙の中央が正確に合わない場合や印刷が薄くなる場合があります。
・Windowsの場合、この機能が使用できるのは「A4・A5・A6・B5・レター・リーガル(13インチ)・リーガル(14インチ)」のみです。
・Macintoshの［レイアウト］パネルは［プリント］ダイアログでも選択できます。
・とじ代の値を変更すると、とじ代の幅に合わせてページ全体を縮小して印刷するため他の辺の余白も大きくなります。

Windows の場合

通常印刷
詳細設定
マルチページ(S):
枠線(B):
ページ配置(P):
縦:
横:
とじ代(M):
なし
0.0
mm
OK
キャンセル
ヘルプ(H)

① アプリケーションを起動します。
② ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
③ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
④ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［n-up］（n は１枚に印刷するページ数）を選択します。
⑤ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［枠線］、［ページ配置］、［とじ代］を設定します。とじ代は上下左右に０～30mm まで設定できます。

Macintosh の場合

① アプリケーションを起動します。
② [ファイル]メニューの[用紙設定]を選択します。
③ [レイアウト] パネルの [割り付け]、[枠線] を選択します。

割り付け
　割り付けるページ数,配置を選択します。
枠線
　各ページを枠線で囲むことができます。

④ 必要に応じて [とじ代] を設定します。

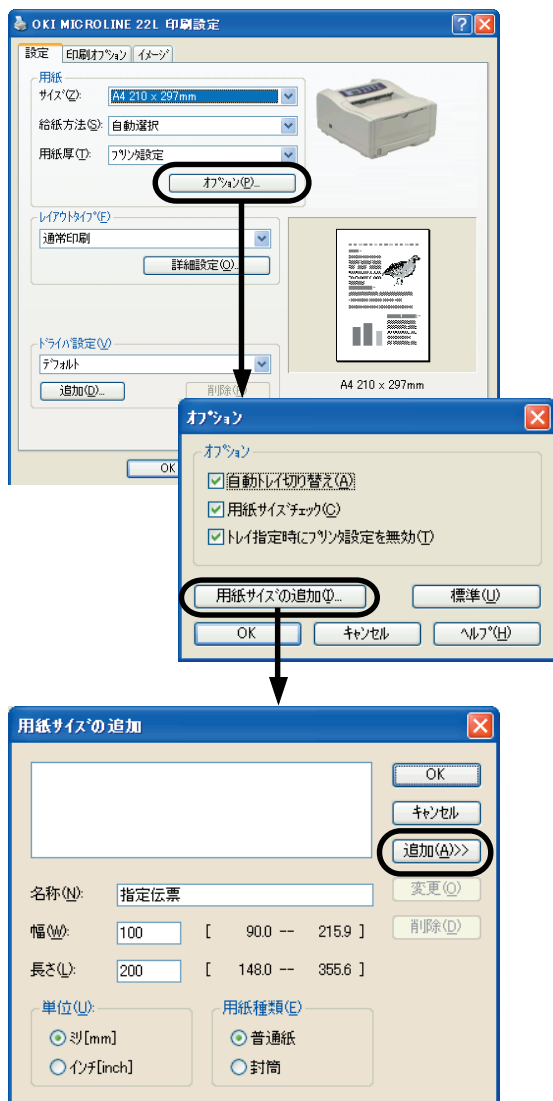
Mac OS X の場合

① アプリケーションを起動します。
② [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。
③ [レイアウト] パネルの [ページ数/枚]、[レイアウト方向]、[枠線] を選択します。

任意の用紙サイズに印刷したい

独自の用紙サイズを定義して通常の用紙サイズと同じように使用できます。

・用紙サイズは必ず縦長に設定してください。
・WindowsNT4.0はコンピュータの管理者の権限が必要です。

［設定できるサイズ］
幅　：90～215.9mm
長さ：148～355.6mm
※マルチパーパスフィーダは、長さ148～297mm

Windows の場合

① ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server2003 では［スタート］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

② プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95 の場合

［OKI MICROLINE 22L］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003 の場合

［OKI MICROLINE 22L］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

WindowsNT4.0 の場合

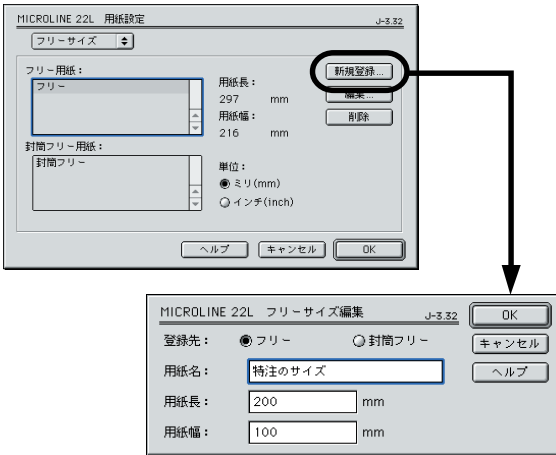
［OKI MICROLINE 22L］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

③ ［設定］タブの［オプション］-［用紙サイズの追加］をクリックします。

④ ［名称］,［幅］,［長さ］,［用紙種類］を入力し、［追加］をクリックします。

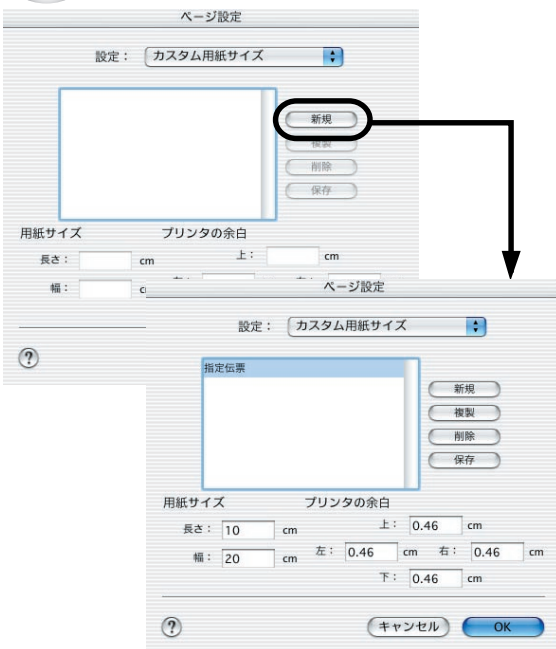
⑤ ［OK］をクリックします。

作成した用紙は、［用紙］タブの［用紙サイズ］リストの下の方に表示されます。合計32個まで定義できます。

Macintosh の場合

① アプリケーションを起動します。
② ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。
③ ［フリーサイズ］パネルを選択し［新規登録］をクリックします。
④ ［登録先］，［用紙名］，［用紙長］，［用紙幅］を入力し、［OK］をクリックします。

作成した用紙は、［用紙設定］ダイアログの［一般設定］パネルの［用紙］リストの下の方に表示されます。フリー用紙、封筒フリー用紙をそれぞれ8個まで定義できます。

Mac OS X の場合

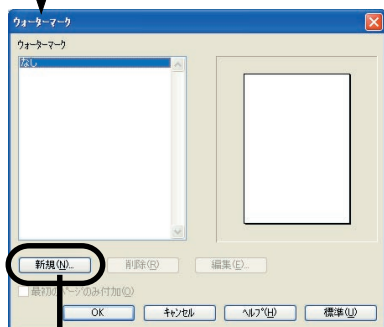
注 Mac OS X 10.2.3以前のバージョンでは利用できません。

① アプリケーションを起動します。
② ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。
③ ［カスタム用紙サイズ］パネルの［新規］をクリックします。
④ 「カスタム用紙サイズ編集」画面で、［カスタム用紙サイズの名前］，［幅］，［長さ］を入力します。
⑤ ［OK］をクリックします。

作成した用紙は、［ページ属性］パネルの［用紙サイズ］リストの下の方に表示されます。

ウォーターマークを印刷したい

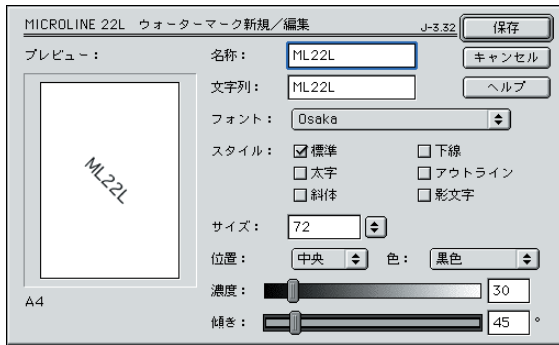
アプリケーションから印刷される内容とは独立して［見本］や［社外秘］などの文字を重ね印刷できます。

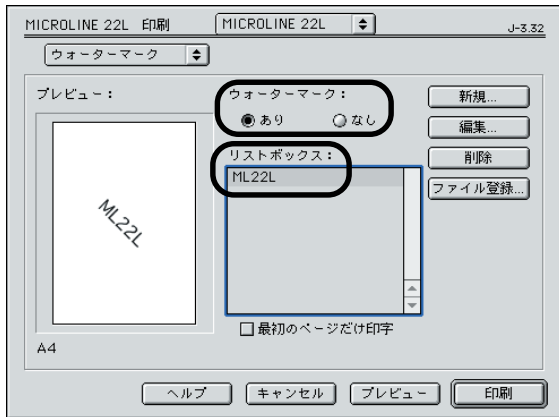
注 Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows の場合

① アプリケーションを起動します。
② ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
③ ［プロパティ］（WindowsXP では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

④ ［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックし、［新規］をクリックします。

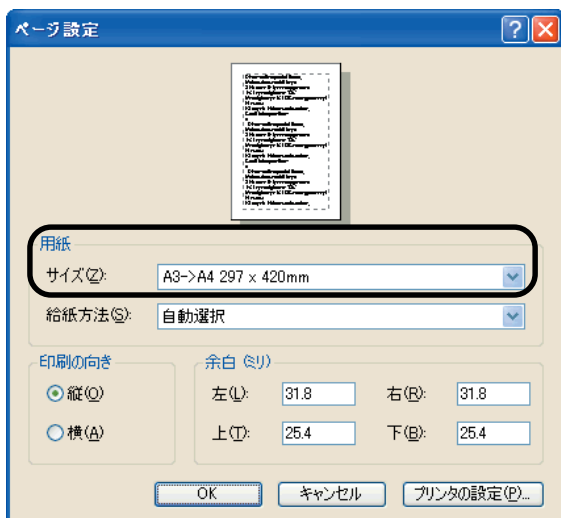
⑤ ［文字列］を入力し、［フォント］、［スタイル］他を設定し、［OK］をクリックします。

Macintosh の場合

① アプリケーションを起動します。
② [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。
③ [ウォーターマーク] パネルの [新規] をクリックします。
④ [名称]、[文字列] を入力し、[フォント]、[スタイル] 他を設定し、[保存] をクリックします。

11

⑤ [ウォーターマーク] パネルの [ウォーターマーク] で [あり] を選択します。

A3, B4 サイズの文書を A4 で印刷したい

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- Windowsのプロパティの［印刷オプション］タブの［拡大・縮小］（またはMacintoshの［用紙設定］ダイアログの［一般設定］パネルの［拡大/縮小率］）はデータを縮小するもので、用紙サイズを変換するものではありません。
- Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- 用紙サイズを変換できるのは［A3→A4］、［B4→B5］のみです。

Windows の場合

① アプリケーションを起動します。
② ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。
③ ［サイズ］で［A3→A4 297 × 420mm］または［B4→A4 250 × 354mm］を選択します。

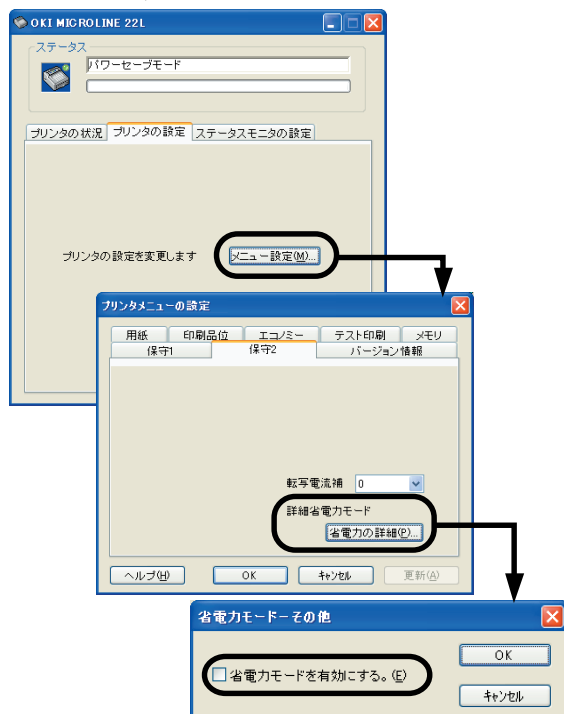
Macintosh の場合

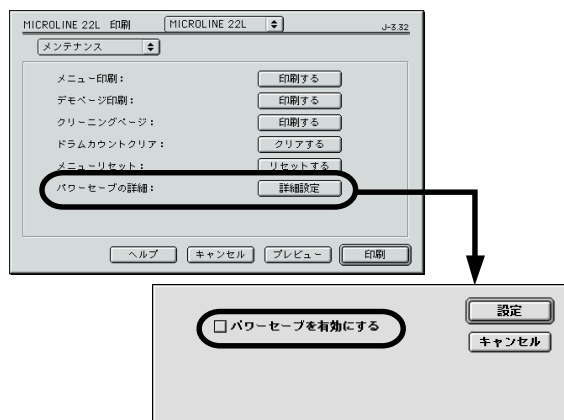
① アプリケーションを起動します。
② ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。
③ ［一般設定］タブの［用紙］で［A3 → A4］または［B4 → A4］を選択します。

印刷開始までの時間を短くしたい

省電力モードを無効にすると、印刷開始までの時間を短くできる場合があります。

 コンピュータとプリンタが接続されていないと設定できません。

Windows の場合

① ［スタート］-［プログラム］（WindowsXP では［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［OKI MICROLINE 22L］-［OKI MICROLINE 22L ステータスモニタ］を選択します。
② 「ステータスモニタ」画面の右上の［□］アイコンをクリックし最大化します。
③ ［プリンタの設定］タブの［メニュー設定］をクリックします。
④ ［保守 2］タブの［省電力の詳細］をクリックします。
⑤ ［省電力モードを有効にする］のチェックを外し、［OK］をクリックします。
⑥ 「プリンタメニューの設定」画面で［OK］をクリックします。

Macintosh の場合

① アプリケーションを起動します。
② ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
③ ［メンテナンス］パネルの［パワーセーブの詳細］で、［詳細設定］をクリックします。
④ ［パワーセーブを有効にする］のチェックを外し、［設定］をクリックします。

メモ ［省電力モードを有効にする］または［パワーセーブを有効にする］のチェックを外すと、定着器を常に印刷可能温度に保つため電力を消費します。プリンタを使用しない場合は電源をOFFにしてください。

Mac OS X の場合

① ［アプリケーション］-［OKI DATA］-［ML22L メニューセットアップ］をダブルクリックします。

② ［メンテナンス］タブで［パワーセーブ機能］を［無効］にします。

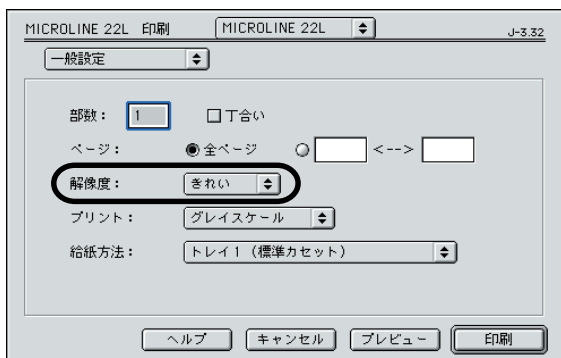
高解像度で印刷したい

高解像度で印刷できます。

・［きれい］を指定すると複雑なファイルを印刷できない場合があります。このようなときは［ふつう］で印刷してください。
・高解像度に設定すると印刷時間が長くなる場合があります。このプリンタは印刷処理をコンピュータ側でも行っています。処理速度の速いコンピュータを使用すると印刷時間を短くできます。
・Macintoshのアプリケーションによっては、プリンタドライバが通知するPICT解像度によって印刷品位が変わる場合があります。このようなときは「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（128ページ）でPICT解像度を変更してください。

Windows の場合

① アプリケーションを起動します。
② ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
③ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
④ ［印刷オプション］タブの［印刷品位］で［きれい］を選択します。

Macintosh の場合

① アプリケーションを起動します。
② ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
③ ［一般設定］パネルの［解像度］で［きれい］を選択します。

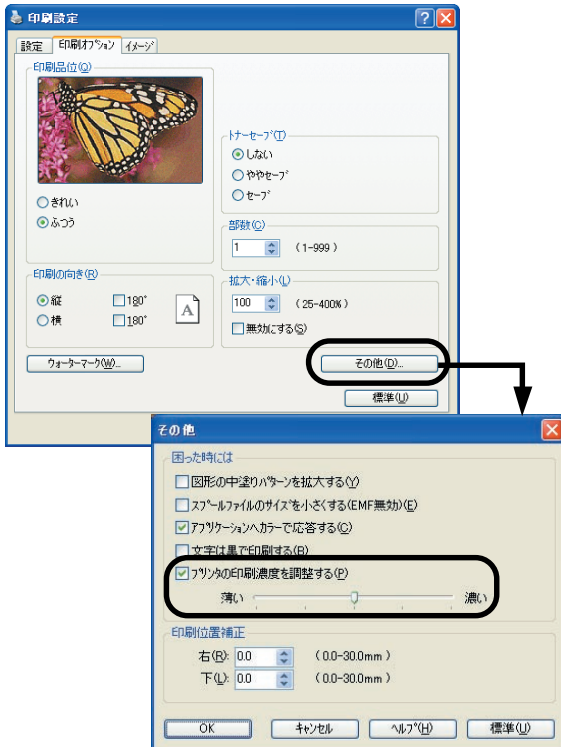
Mac OS X の場合

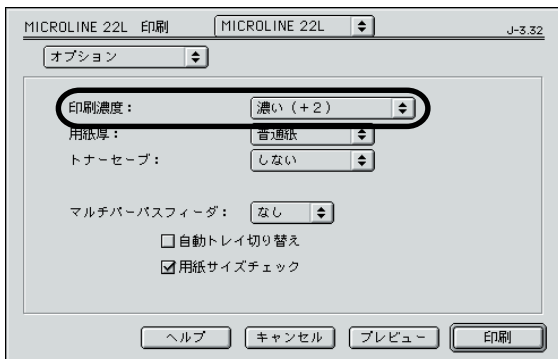
① アプリケーションを起動します。
② [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。
③ [印刷品質] パネルの [印刷品位] で [きれい] を選択します。

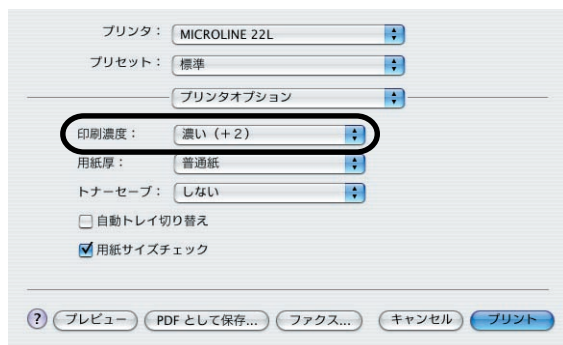
印刷濃度を濃くしたい、薄くしたい

印刷濃度を5段階に変更できます。小さな文字がつぶれたり、イメージデータが濃くなるときは［薄い］の方向に設定してください。細い線が途切れる場合は［濃い］の方向に設定してください。

- Macintoshでは常にプリンタドライバの設定が優先されます。
- Windowsでは［プリンタの印刷濃度を調整する］にチェックを付けると、プリンタドライバの設定が優先されます。

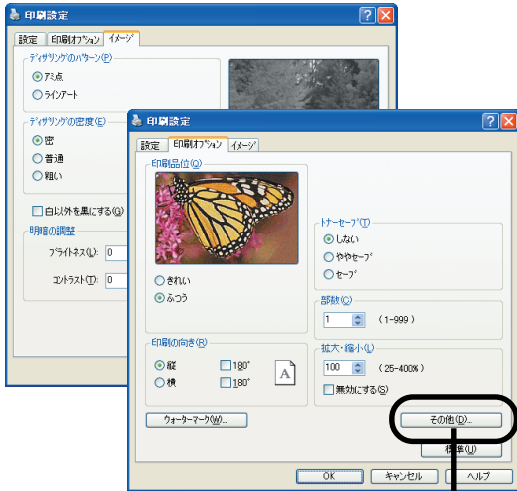
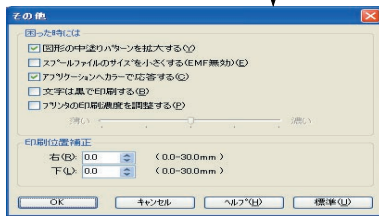
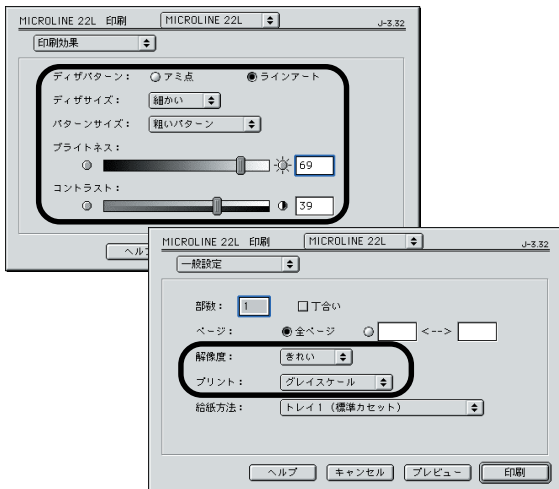
Windows の場合

① アプリケーションを起動します。
② ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
③ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
④ ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックし、［プリンタの印刷濃度を調整する］にチェックし、［濃い］または［薄い］を選択します。

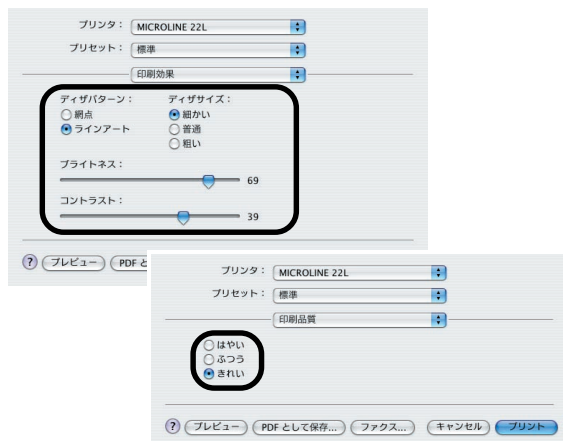
Macintosh の場合

① アプリケーションを起動します。
② ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
③ ［オプション］パネルの［印刷濃度］で、［濃い］または［薄い］を選択します。

Mac OS X の場合

① アプリケーションを起動します。
② [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。
③ [プリンタオプション] パネルの [印刷濃度] で、[濃い] または [薄い] を選択します。

画像印刷の仕上りを変えたい

プリンタドライバの設定によって画像の印刷結果が総合的に決まります。希望する結果が得られるまでこれらの設定をいろいろ変更してください。

Windows の場合

① アプリケーションを起動します。
② ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。
③ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）
④ ［イメージ］タブの［ディザリングのパターン］，［ディザリングの密度］，［明暗の調整］，［印刷効果］を選択します。
⑤ ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックし、［図形の中塗りパターンを拡大する］を選択します。
⑥ ［印刷オプション］タブの［印刷品位］を選択します。

Macintosh の場合

① アプリケーションを起動します。
② ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
③ ［印刷効果］パネルの［ディザパターン］,［ディザサイズ］,［パターンサイズ］,［ブライトネス］,［コントラスト］を選択します。
④ ［一般設定］パネルの［解像度］，［プリント］を選択します。

Mac OS X の場合

① アプリケーションを起動します。
② [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。
③ [印刷効果] パネルの [ディザパターン], [ディザサイズ], [パターンサイズ], [ブライトネス], [コントラスト] を選択します。
④ [印刷品質] パネルで、[はやい], [ふつう] または [きれい] を選択します。

プリンタの状態を確認したい

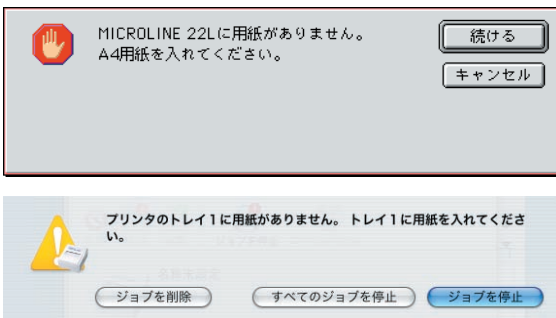
コンピュータとプリンタが接続されていないと確認できません。

Windows の場合

① ［スタート］-［プログラム］（WindowsXP では［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［OKI MICROLINE 22L］-［OKI MICROLINE 22L ステータスモニタ］を選択します。
「OKI MICROLINE 22L ステータスモニタ」が起動します。

② 「OKI MICROLINE 22L ステータスモニタ」画面の右上の［□］アイコンをクリックして最大化します。

より詳しい状態が表示されます。

Macintosh、Mac OS X の場合

必要に応じてMacintoshの画面にプリンタの状態が表示されます。

ここで説明する処置をしても良くならない場合は、お客様相談センター（162ページ）へご連絡ください。

故障かな？と思ったとき

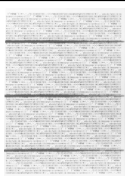
現　象	原　因	処　置
電源をONにしても、LEDランプが点灯しない。	電源コードが抜けています。	電源をOFFにしてから、電源コードをしっかり差し込んでください。
	停電しています。	コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。
印刷処理を開始しない。	プリンタケーブルが外れています。	プリンタケーブルを差し込んでください。
	プリンタケーブルが規格に合っていない可能性があります。	IEEEstd1284-1994準拠パラレルケーブルまたはUSB2.0仕様のUSBケーブル（2m以下）を使用してください。
	プリンタドライバが選択されていません。	プリンタドライバを選択してください。Windowsの場合は「通常使うプリンタ」にしてください。
	プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	プリンタケーブルを接続した出力ポートを選択してください。
印刷処理が中断する。	プリンタケーブルが断線しています。	プリンタケーブルを取り替えてください。
	コンピュータのタイムアウトにかかっています。	タイムアウトを長く設定してください。
異常音がする。	プリンタが傾いています。	安定した水平な場所に設置してください。
	プリンタ内部に用紙くずや異物があります。	プリンタ内部を点検し、取り除いてください。
	イメージドラムカートリッジが正しくセットされていません。	イメージドラムカートリッジの左右を下方向に押して固定してください。
すぐに印刷を開始しない。印刷を開始するのに時間がかかる。	省電力モードから復帰するためにウォーミングアップを行っています。	省電力モードを無効にするとウォーミングアップ時間を短くすることができます。
	イメージドラムカートリッジのクリーニング動作を行っていることがあります。	印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。
	定着器の温度を調節していることがあります。	しばらくお待ちください。
	他のインタフェースからの印刷処理を実行中です。	印刷処理が中断するまでお待ちください。
スタッカカバーが熱い。	トナーを熱で紙に定着しています。	異常ではありません。触れないくらい熱いときは、お客様相談センターへご連絡ください。

用紙送りがおかしい

現　　象	原　　　　因	処　　　　置
紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。	プリンタが傾いています。	安定した水平な場所に設置してください。
	用紙が薄すぎるか厚すぎます。	プリンタに適した用紙を使用してください。
	用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	適切な温度、湿度で保管された用紙をお使いください。
	用紙に折り目やしわや反りがあります。	プリンタに適した用紙を使用してください。反りがある場合は修正してください。
	裏面が印刷された用紙を使用しています。	一度印刷した用紙には印刷できません。新しい用紙をお使いください。
	用紙がそろっていません。	用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。
	用紙カセット、マルチパーパスフィーダに用紙を1枚だけセットしています。	用紙は複数枚でセットしてください。
	用紙カセット、マルチパーパスフィーダに用紙が入ったまま追加しています。	先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
	用紙がまっすぐにセットされていません。	用紙カセットの用紙ストッパと用紙ガイドを用紙に合わせてください。手差しトレイ、マルチパーパスフィーダ（オプション）の手差しガイドを用紙に合わせてください。
	はがきや封筒のセット方向が違っています。	正しくセットしてください。
	はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートを用紙カセットにセットしています。	はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは用紙カセットから印刷できません。手差しトレイまたはマルチパーパスフィーダ（オプション）にセットし、フェイスアップスタッカへ排出してください。
用紙が送られない。	プリンタドライバの［給紙方法］の選択が間違っています。	用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
つまった用紙を取り除いても復旧しない。	用紙を取り除くだけでは復旧しません。	スタッカカバーを開閉してください。
用紙がまるまってしまう。シワが出る。	用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	適切な温度、湿度で保管された用紙をお使いください。
	薄い用紙を使用しています。	プリンタドライバの［用紙厚］で［薄い紙］を選択してください。

注 つまった用紙がとれない場合は、お客様相談センター（162ページ）へご連絡ください。

Windows から印刷できない

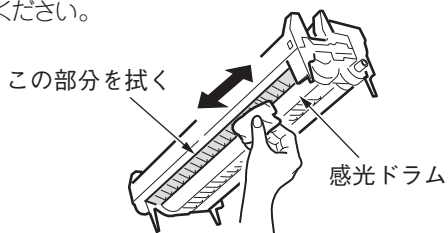
注 アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

現　　象	原　　　因	処　　　置
印刷できない	プリンタの電源がOFFになっています。	プリンタの電源をONにしてください。ONになっている場合は、OFF-ONしてください。
	プリンタケーブルが外れています。	プリンタケーブルを差し込んでください。
	切替器、バッファ、延長ケーブル、USBハブなどを使用しています。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
	プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	プリンタケーブルを接続した出力ポートを指定してください。
	他のインタフェースからの印刷を処理しています。	印刷処理が完了するまでお待ちください。
	プリンタドライバが「通常使うプリンタ」になっていません。	「通常使うプリンタ」にしてください。
	双方向パラレルまたはUSBで動作する他のプリンタドライバがインストールされています。	他のプリンタドライバを削除してみてください。
「アプリケーションエラー」や「一般保護違反」が起こる。	アプリケーションがWindowsのバージョンに合っていません。	アプリケーションをアップデートしてください。
	複数のアプリケーションを同時に起動しているとメモリ不足になります。	使用していないアプリケーションを終了してください。
	印刷ファイルが壊れている可能性があります。	ファイルを修正したり、同じ文書を新しく作成するなどしてください。
	アプリケーションの必要とするメモリが不足しています。	コンピュータのメモリを増設してください。
	ハードディスクの空きが不足しています。	不要なファイルを削除してください。
	プリンタドライバが正しくセットアップされていない可能性があります。	一旦プリンタドライバを削除し、セットアップし直してください。
印刷が遅い。	印刷処理をコンピュータ側でも行っています。	処理速度の速いコンピュータを使用してください。
	プリンタドライバの［解像度］で高解像度を指定しています。	［はやい］を指定してください。
	印刷データが複雑です。	データを簡単にしてください。
印刷部数などが設定どおりに印刷されない。	アプリケーションにより印刷手順が異なります。	プリンタフォルダのプリンタのプロパティで設定してください。
Windowsでステータスモニタが見えない。	ステータスモニタが最小化されています。	タスクバー上のステータスモニタのアイコンをダブルクリックしてください。

Macintosh から印刷できない

注 アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

現　象	原　因	処　置
印刷できない。	プリンタの電源スイッチがOFFになっています。	プリンタの電源スイッチをONにしてください。ONになっている場合はOFF-ONしてください。
	USBケーブルが外れています。	USBケーブルを差し込んでください。
	USBハブを使用しています。	プリンタとMacintoshを直接接続してみてください。
	デスクトッププリンタアイコンに手のマークがついています。	プリントメニューの［プリントキューの開始］を選択してください。
	プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。
メモリエラーになる。	デスクトッププリントモニタのメモリサイズが不足しています。	メモリサイズを大きくしてください。
印刷が遅い。	印刷処理をMacintosh側でも行っています。	処理速度の速いMacintoshを使用してください。
	プリンタドライバの［解像度］で［きれい］、［ふつう］を指定しています。	［はやい］を指定してください。
	印刷データが複雑です。	データを簡単にしてください。
EPSファイルがきれいに印刷されない。	EPS形式のファイルはQuickDraw（MacOSの描画システム）では認識できないため画面解像度（72dpi）で印刷されます。	PICT，TIFFなどのグラフィックス形式に変更してください。

印刷が不鮮明なとき

現　象	原　因	処　置
横方向に黒いスジや点が周期的に入る。	約94mm周期の場合は、イメージドラム（緑の筒の部分）に傷または汚れがついています。	クリーニングページを数回行ってください。イメージドラム(緑の筒の部分)に汚れがついていたら、柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムカートリッジを交換してください。
	約30mm周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	クリーニングページを数回行ってください。
	約62mm周期の場合は、定着器に傷がついています。	お客様相談センターにご連絡ください。
	イメージドラムが光にさらされました。	イメージドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムカートリッジを交換してください。
用紙後端部が点状に汚れる。用紙を重ねると筋状に黒くなる。	イメージドラムカートリッジの底面にトナーが付着しています。	イメージドラムカートリッジの底面(図の部分)を乾いた布やティッシュペーパーで拭いてください。 ※感光ドラムにキズを付けないように注意してください。 この部分を拭く 感光ドラム
白地の部分が薄く汚れる。	用紙が静電気を帯びています。	適切な温度、湿度に保管した用紙をお使いください。
	用紙が厚すぎます。	プリンタに合った用紙をお使いください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。＊
	イメージドラムカートリッジが正しくセットされていません。	イメージドラムカートリッジ左右を下方向に押して固定してください。
文字の周辺がにじむ。	LEDヘッドが汚れています。	LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	プリンタドライバの［印刷濃度］が［濃い］に設定されています。	［薄い］に設定してください。
	スタッカカバーが正しく閉じられていません。	両手でスタッカカバーの左右を押してください。
ハガキ、封筒を印刷すると全体的に薄く汚れる。	ハガキ、封筒に印刷すると、表面あるいは裏面に薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	プリンタの故障ではありません。
	プリンタドライバの［用紙厚］が［薄い紙］に設定されています。	プリンタドライバの［用紙厚］で［より厚い紙］を選択してください。

現象	原因	処置
縦方向に白いスジが入る。	LEDヘッドが汚れています。	LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。＊
	異物がつまっています。	イメージドラムカートリッジを交換してください。
縦方向にかすれる。	LEDヘッドが汚れています。	LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。＊
	用紙がプリンタに適していません。	推奨紙をお使いください。
印刷が薄い。	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	トナーカートリッジを取り付け直してください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。＊
	用紙が湿気を含んでいます。	適切な温度、湿度に保管した用紙をお使いください。
	はがき、封筒の両面に印刷しました。	一度印刷した用紙の裏面には印刷できません。
	用紙がプリンタに適していません。	推奨紙をお使いください。
	プリンタドライバの［印刷濃度］が［薄い］に設定されています。	［濃い］に設定してください。
	プリンタドライバの［トナーセーブ］が［セーブ］に設定されています。	［しない］に設定してください。
黒ベタを印刷すると、部分的にかすれる。	黒ベタ印刷にトナーを十分供給できない場合があります。	黒ベタの割合を減らしてください。
	用紙が湿気を含んでいます。	適切な温度、湿度に保管した用紙をお使いください。
縦方向に黒いスジが入る。	イメージドラムカートリッジに傷がついています。	イメージドラムカートリッジを交換してください。

＊ イメージドラムにトナーカートリッジを取り付けた状態でトナーカートリッジを軽くたたいてください。それでも改善しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、用紙の材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社指定以外の用紙で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前にテストを十分行って支障がないことを確認してから使用してください。

用紙の種類、サイズ、厚さについて

注 用紙の種類, サイズ, 厚さによって給紙方法に制限があったり、印刷時にプリンタドライバで設定する内容が異なります。詳しくは「印刷します」（86ページ）をご覧ください。

<table>
<tr><th>種類</th><th colspan="2">サイズ　単位：mm(インチ)</th><th>厚さ</th></tr>
<tr><td rowspan="9">普通紙</td><td>A4</td><td>210×297</td><td rowspan="9">連量55～90kg(64～105g/m^2)</td></tr>
<tr><td>A5</td><td>148×210</td></tr>
<tr><td>A6</td><td>105×148</td></tr>
<tr><td>B5</td><td>182×257</td></tr>
<tr><td>レター</td><td>215.9×279.4(8.5×11)</td></tr>
<tr><td>リーガル(13インチ)</td><td>215.9×330.2(8.5×13)</td></tr>
<tr><td>リーガル(14インチ)</td><td>215.9×355.6(8.5×14)</td></tr>
<tr><td>エグゼクティブ</td><td>184.15×226.7(7.25×10.5)</td></tr>
<tr><td>フリー</td><td>幅90～216　長さ148～297</td></tr>
<tr><td rowspan="2">はがき</td><td>はがき</td><td>100×148</td><td>官製はがき</td></tr>
<tr><td>往復はがき</td><td>148×200</td><td>官製はがき</td></tr>
<tr><td rowspan="9">封筒</td><td>封筒1(長形3号)</td><td>120×235</td><td rowspan="3">85g/m^{2}の紙を使用したもので、長形封筒はフラップ部が折れていないもの、洋形封筒はフラップ部がきちんと折れているもの</td></tr>
<tr><td>封筒2(長形4号)</td><td>90×205</td></tr>
<tr><td>封筒3(洋形4号)</td><td>105×235</td></tr>
<tr><td>Com-9</td><td>98.4×225.4(3.875×8.875)</td><td rowspan="6">24lbの紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの</td></tr>
<tr><td>Com-10</td><td>104.78×241.3(4.125×9.5)</td></tr>
<tr><td>C5</td><td>162×229</td></tr>
<tr><td>DL</td><td>110×220</td></tr>
<tr><td>Monarch</td><td>98.4×190.5(3.875×7.5)</td></tr>
<tr><td>封筒フリー</td><td>幅90～216　長さ148～297</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ラベル紙</td><td>A4</td><td>210×297</td><td rowspan="2">0.1～0.15mm</td></tr>
<tr><td>レター</td><td>215.9×279.4(8.5×11)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">OHPシート</td><td>A4</td><td>210×297</td><td rowspan="2">0.1～0.11mm</td></tr>
<tr><td>レター</td><td>215.9×279.4(8.5×11)</td></tr>
</table>

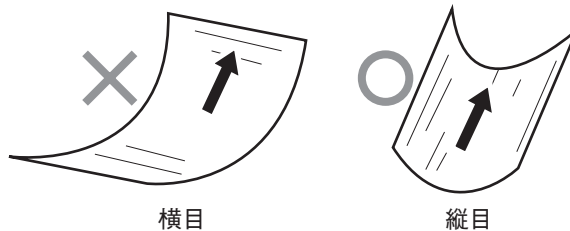
普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙：MLPAPER
- 用紙の厚さが連量55～90kg（64～105g/m²）の用紙
- 電子写真プリンタ用紙（トナーを用いるプリンタで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）
- 電子写真プリンタ再生紙（トナーを用いるプリンタで使用する再生紙です）
  推奨再生紙
  銘柄名 ： やしまR100（丸住製紙製）
  REFOREST 100（日本製紙製）
  再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認の上、使用してください。
- 連量76～90kg（89～105g/m²）の用紙について
  - ・用紙カセットから給紙できません。手差しまたはマルチパーパスフィーダ（オプション）から給紙してください。
  - ・印刷面を上に向けて（フェイスアップ）排出してください。
  - ・用紙の厚さの設定は「厚い紙」または「より厚い紙」に設定してください。
    用紙の厚さの設定をしないと、印刷品質が低下することがあります。
  - ・用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
  - ・トナーの定着が低下することがあります。
  - ・必ず試し印刷をして、支障がないことを確認してください。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙や、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙（用紙走行方向に対し縦目の用紙を使用してください。）

  《横目/縦目の見分け方》
  紙片を切り取り水に浮かべたときのカール方向で判別できます。

- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（210℃）の無い特殊加工をした用紙

- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸や、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙や、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など
- 種類の異なる用紙を継ぎ合わせて作った紙
- 用紙の厚さが上下左右で一定ではない用紙
- 包装紙ののりなど粘着物の付着した用紙

・厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
・用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
・用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 官製はがき、および折っていない官製往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用官製はがき
- 2mm 以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

・印刷後は反りが発生することがあります。
・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。
・必ず手差しまたはマルチパーパスフィーダで給紙し、フェイスアップで排出してください。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式PPC用紙で作られた封筒
- 長形封筒は坪量85g/m² の紙でフラップ部が折れていない封筒
- 洋形封筒は坪量85g/m² の紙でフラップ部がきちんと折れている封筒
- Com-9、Com-10、Monarch、C5、DLは、24lbの紙でフラップ部がきちんと折れている封筒

以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒
- 接着部に粘着剤がはみ出している封筒

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約5mmは印刷品位が低下することがあります。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙：LBP-A693（コクヨ製）
- 用紙サイズはA4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式PPC用のラベル紙
- プリンタの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが0.1～0.15mmのラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙

- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 必ず手差しまたはマルチパーパスフィーダで給紙し、フェイスアップで排出してください。

OHP シート

次の条件に合った OHP シートを使用してください。

- 推奨紙 ： CG3720（3M 製）
- 用紙サイズは A4、レターのみ
- 電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用に作られた OHP シート
- プリンタの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きない OHP シート
- 用紙の厚さが 0.1 ～ 0.11mm の OHP シート

・ 推奨紙以外のカラーPPC用またはカラーレーザプリンタ用OHPシートは使用できません。
・ 印刷後はうねりが発生することがあります。
・ 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・ トナーの定着が低下することがあります。
・ 表面に滑りやすいコーティングをしたOHPシートは滑って吸入できないことがあります。
・ OHPシートは透明なプラスチックでできているため、印刷品質が低下することがあります。
・ 必ず手差しまたはマルチパーパスフィーダで給紙し、フェイスアップで排出してください。

部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの

印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：±2mm、用紙の斜行：±1mm/100mm、画像伸縮：±1mm/100mm
（連量55kg（64g/m²）の場合）

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの
- 用紙特性が白色紙と同じで、電子写真プリンタ用の用紙

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や、紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度 20℃、湿度 50%RH の環境

次のような場所はさけてください

- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生するところ
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

プリンタの仕様

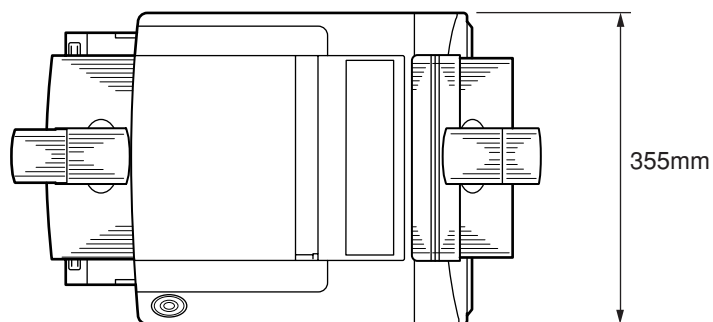
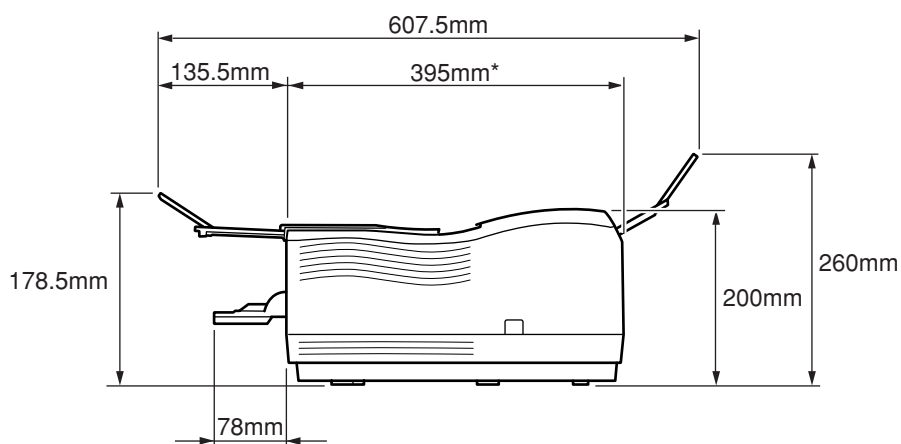
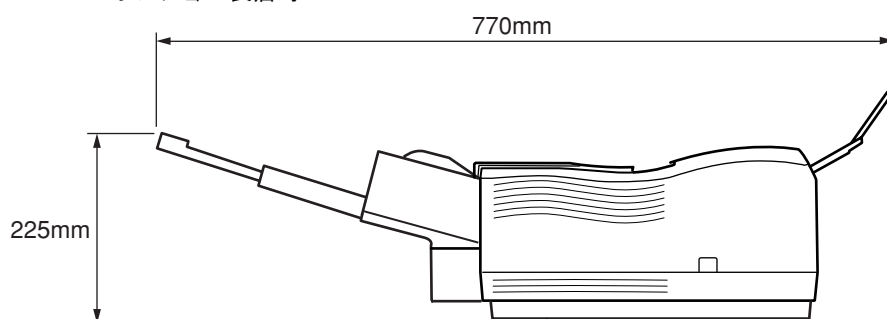
主な仕様

印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	1200×600ドット/インチ
印刷色	黒
CPU	PowerPC 405PS（266MHz）
RAM容量	8MB
対応OS	WindowsXP/Server2003/Me/98/95/2000/NT4.0日本語版、 MacOS8.1～9.2.2/MacOS X Classic環境日本語版、 Mac OS X 10.1～10.3.2日本語版　　詳しくは動作環境をご覧ください。
印刷言語	IPL3
インタフェース	IEEE Std 1284-1994準拠パラレル、USB（フルスピード最大12Mbps）
印刷速度 *1	最大22ページ/分（A4/コピーモード　官製はがき、封筒を除く）
用紙サイズ *2	A4、A5、A6、B5、レター、リーガル13インチ、リーガル14インチ、エグゼクティブ、フリー、 官製はがき、往復はがき、封筒（8種）
用紙種類 *2	普通紙（連量55～90kg）、官製はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、手差しによる1枚給紙 マルチパーパスフィーダ(オプション)による自動給紙
給紙容量	用紙カセット　：普通紙250枚／連量55kg　総厚24mm以下 マルチパーパスフィーダ（オプション）：普通紙100枚／連量55kg、はがき50枚　総厚10mm以下 封筒50枚/85g/m2　総厚30mm以下
排出方法 *2	フェイスアップ（表排出）/フェイスダウン（裏排出）
排出容量	フェイスアップ：約50枚/連量55kg　　フェイスダウン：約150枚/連量55kg
印刷保証範囲	用紙の端から6.35mm以上（封筒などの特殊な用紙は除く）
印刷精度	書き出し位置精度 ±2mm　用紙の斜行 ±1mm/100mm　画像伸縮 ±1mm/100mm（連量55kgの場合）
電源	AC100V±10%、50/60Hz±1Hz
消費電力	動作時　：最大700W、平均370W(25℃) 待機時　：最大700W、平均68W(25℃) 省電力モード時：（オプション未装着時）10W以下　（オプション装着時）　最大12W
突入電流	76A以下(25℃)
使用環境条件	動作時：10～32℃／20～80%RH（最高湿球温度25℃　最高乾球湿球温度差2℃） 停止時：0～43℃／10～90%RH（最高湿球温度26.8℃　最高乾球湿球温度差2℃）
印刷品質保証条件	温度10℃時　湿度30～78%RH、温度32℃時　湿度30～54%RH、 湿度30%RH時　温度10～32℃、湿度80%RH時　温度18～27℃
標準使用条件	平均電源ON時間　：200H/月　　平均印刷枚数　：3,000枚/月
消耗品	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ
装置寿命	5年または18万枚(平均印刷枚数：3,000枚／月)
重　量 *3	約9kg

*1　用紙の種類、サイズ、厚さ、給紙方法により印刷速度は変わります。
*2　用紙の種類、サイズ、厚さにより給紙方法と排出方法に制限があります。
*3　オプション、用紙重量は含みません。

外形寸法

平面図

側面図

オプション装着時

パラレルインタフェース仕様

基本仕様

IEEEstd1284-1994準拠双方向パラレルインタフェース

コネクタ

プリンタ側　36極レセプタクル(メス)
57RE-40360-730B-D29A型
(第一電子製または相当品)

ケーブル側　36極プラグ(オス)
57FE-30360-20N(D8)型
(第一電子製または相当品)

ケーブル

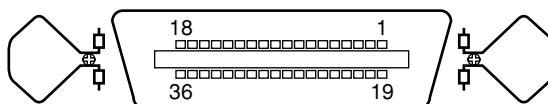
1.8m以下のIEEE std1284-1994適合ケーブルまたは相当品（シールドされているケーブル線を使用してください。）

伝送モード

コンパチブル、ニブル、ECP

インタフェースレベル

ローレベル +0.0～+0.4V
ハイレベル +2.4～+5.0V

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　能
1	nStrobe (HostClk)	TO PRINTER	データを読み込むためのパルスです。 後縁でデータを読み込みます。
2 3 4 5 6 7 8 9	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	TO PRINTER	8ビットのパラレルデータです。ハイレベルが“1”，ローレベルが“0”です。
10	nAck(PtrClk)	FROM PRINTER	データの受信完了を示す信号です。
11	Busy(PtrBusy)	FROM PRINTER	プリンタがデータを受け取れる状態かどうかを示す信号です。 ハイレベルのときはデータを受け取れません。
12	PError(AckDataReq)	FROM PRINTER	ハイレベルのときは、用紙のエラーを示します。
13	Select(Xflag)	FROM PRINTER	パラレルインタフェースが有効な場合、常にハイレベルです。
14	nAutoFd(HostBusy)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。
15	－	－	使用していません。
16	GND	－	信号グランド
17	FG	－	シャーシグランド
18	＋5V	FROM PRINTER	外部へ電源を供給できません。
19～30	GND	－	信号グランド
31	nInit(nInit)	TO PRINTER	ローレベルで、プリンタが初期化されます。
32	nFault(nDataAvail)	FROM PRINTER	プリンタがアラーム状態のときローレベルになります。
33	GND	－	信号グランド
34	－	－	使用していません。
35	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンタ内部で3.3KΩで+5Vにプルアップされています。
36	nSelectIn (IEEE1284 active)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。コンパチブルモード時はローレベルでなければなりません。

- かっこ内はニブルモードの信号名です。
- コンパチブルモードの機能のみ説明しています。
- 米国電気電子技術者協会が規定するIEEE Std 1284-1994のニブルモードをサポートしています。この規格に適合しないコンピュータやケーブルを使用すると、予期しない動作をすることがあります。

USB インタフェース仕様

基本仕様

USB

コネクタ

プリンタ側　B レセプタクル(メス)
アップストリームポート
UBB-4R-D14T-1(日本圧着端子製造株式会社製)相当品

ケーブル側　B プラグ(オス)

ケーブル

2m 以下の USB2.0 仕様のケーブル
(シールドされているケーブル線を使用してください。)

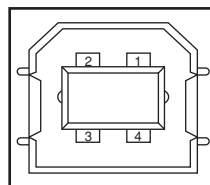
USB2.0仕様でないケーブルを使用した場合、正常に印刷できない場合があります。

伝送モード

フルスピード(最大 12Mbps ± 0.25%)

電力制御

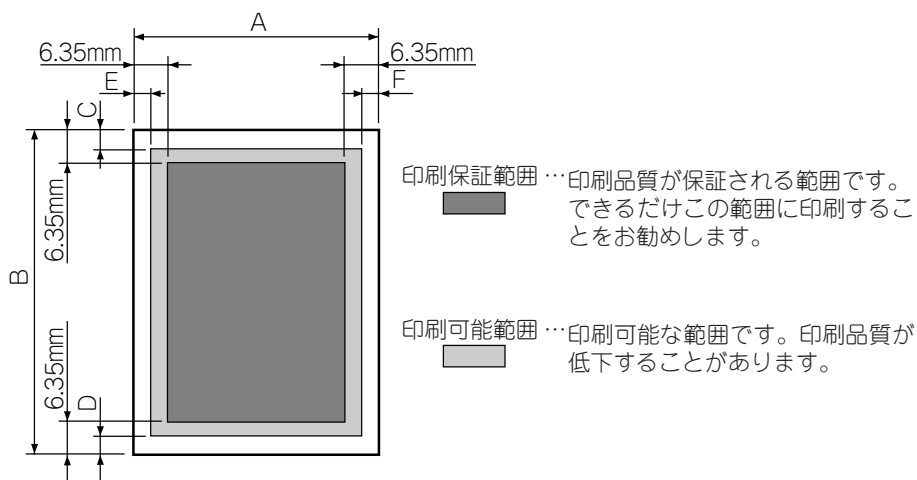
セルフパワーデバイス

コネクタピン配列

インタフェース信号

	R1	機　能
1	Vbus	電源（+5V）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

印刷範囲と印刷精度

プリンタドライバの印刷範囲は次のとおりです。
実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

注 印刷精度は、書き出し位置 ±2mm、用紙の斜行 ±1mm/100mm、画像伸縮 ±1mm/100mm（連量55kg（64g/m²）の場合）です。

単位：mm

用紙サイズ	幅	長さ	上余白	下余白	左余白	右余白
	A	B	C	D	E	F
A4	210	297	4.23	4.23	4.23	4.23
A5	148	210	4.23	4.23	4.23	4.23
A6	105	148	4.23	4.23	4.23	4.23
B5	182	257	4.23	4.23	4.23	4.23
レター	215.9	279.4	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13インチ）	215.9	330.2	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（14インチ）	215.9	355.6	4.23	4.23	4.23	4.23
エグゼクティブ	184.15	266.7	4.23	4.23	4.23	4.23
フリー*1	90～215.9	148～355.6	4.23	4.23	4.23	4.23
はがき	100	148	4.23	4.23	4.23	4.23
往復はがき	148	200	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒1（長形3号）	120	235	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒2（長形4号）	90	205	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒3（洋形4号）	105	235	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-9	98.4	225.4	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-10	104.75	241.3	4.23	4.23	4.23	4.23
DL	110	220	4.23	4.23	4.23	4.23
C5	162	229	4.23	4.23	4.23	4.23
Monarch	98.4	190.5	4.23	4.23	4.23	4.23

*1：マルチパーパスフィーダは、長さ148～297です。

消耗品一覧

これらの消耗品はお近くの販売店またはサービス拠点（170 ページ）でお求めください。

品　名	型　名	内　容
A4用紙	ML PAPER(A4)	500枚包×5包/1箱
B5用紙	ML PAPER(B5)	500枚包×5包/1箱
トナーカートリッジ	TNR-M4A	トナーカートリッジ LEDレンズクリーナ クリーニングペーパ
イメージドラムカートリッジ　※	ID-M4A	イメージドラムカートリッジ
マルチパーパスフィーダ	MLMPF01	マルチパーパスフィーダ

＊ イメージドラムカートリッジ交換時には、トナーカートリッジも交換が必要です。

- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後1年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度 : 0〜35˚C、湿度 : 20〜85%RH範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。
- 用紙の保管方法は、161ページを参照してください。

ユーザサポートサービスについて

保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき、無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。
http://www.okidata.co.jp

プリンタのご相談と修理について

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。

お客様相談センター　　0120-654-632

（携帯電話からは 03-5833-5710）

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00 月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00 土曜日
(但し　祝日を除く)

※ 月曜日～金曜日の 17:30 ～ 20:00 及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは(株)沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

― お問い合わせに回答できない場合について ―

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境についてのアドバイスやコンサルティング
5. プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿年＿＿月

コンピュータ環境

□Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
□Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法

□パラレル　□USB

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿
使用フォント名：＿＿＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

その他

他のアプリケーションからの印刷：□正常　□印刷できない
他のコンピュータからの印刷　：□正常　□印刷できない

消耗品を購入したい

プリンタをお買い上げいただいた販売店、またはお近くのサービス拠点へお電話でご連絡ください。

(株)沖北海道サービス(札幌)	〒060-0031	札幌市中央区北一条東8-2-18(北一条OKIビル)	011-261-3261
(株)沖東北サービス(仙台)	〒980-0802	仙台市青葉区二日町3-10(グランシャリオビル3F)	022-212-5167
(株)沖情報機器サービス(新潟)	〒950-0082	新潟市東万代町1-30 (新潟第一生命戸田建設共同ビル)	025-241-6838
(株)沖関東サービス(秋葉原)	〒111-0052	台東区柳橋2-19-6(秀和柳橋ビル9F)	03-3865-6599
(株)沖北関東サービス(新宿)	〒160-0022	新宿区新宿2-19-1(ビックス新宿ビル3F)	03-3225-3131
(株)沖中部サービス(名古屋)	〒453-0861	名古屋市中村区岩塚本通2-1-2(MSビル5F)	052-413-6510
(株)沖電気カスタマアドテック(金沢)	〒921-8163	金沢市横川7-35-1(大洋不動産ビル7F)	076-242-3300
(株)沖関西サービス(大阪)	〒550-0004	大阪市西区靱本町1-4-12(本町富士ビル)	06-6459-0120
(株)沖中国サービス(広島)	〒731-0138	広島市安佐南区祇園2-9-31	082-871-2601
(株)沖四国サービス(高松)	〒761-8058	高松市勅使町632-4	087-868-3040
(株)沖九州サービス(福岡)	〒815-0035	福岡市南区向野2-9-21	092-512-4197

※各サービス拠点の住所、電話番号は変更される場合がありますので、ご了承ください。
※弊社ホームページでは最新の住所、電話番号を掲載しておりますので、こちらもご覧ください。
http://www.okidata.co.jp

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みのMICROLINEプリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
右の用紙をコピーし、必要事項を記入してFAX、もしくは、弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）
- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ1本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

受付 No.　：
* 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

FAX 0120-107995

沖データ回収センタ　宛

西暦　　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：
ご担当者名　：
ご住所　：
お電話番号　：
回収ご希望日　：　　　年　　月　　日

【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

イメージドラムカートリッジ	：	個
トナーカートリッジ	：	個
定着器オイルローラ	：	個
廃棄トナーボックス	：	個
転写ベルトユニット	：	個
定着器ユニット	：	個
インクリボンカートリッジ	：	個
その他マイクロライン消耗品	：	個

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】
まとめた箱の荷姿で合計　：　個口

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185　又は、フリーダイヤル0120-640991
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

【き】

【く】

【け】

【こ】

【さ】

【し】

【す】

【せ】

【そ】

【た】

【ち】

【つ】

【て】

【と】

オキページプリンタ
MICROLINE 22L
ユーザーズマニュアル
発行日　2004年 9月（第2版）
発行者　株式会社 沖データ
42828401EE

このマニュアルは再生紙を使用しています。